



足利の山なみと中橋

足利市
市制100周年記念誌

■ もくじ

- 1 ■ 市の概要
- 2-3 ■ 市民憲章・市章・市歌
- 4-5 ■ 市制100周年記念誌発行によせて
- 6-8 ■ 姉妹都市・友好都市からのメッセージ
- 10-11 ■ 市制100周年記念事業
- 12-89 ■ 足利市の歴史
- 90-91 ■ 歴代市長・助役(副市長)・収入役・名誉市民
- 92-97 ■ 歴代議長・副議長・市議会議員
- 98-104 ■ 足利市の四季・数字で見る足利市

市の概要

足利市は、大正10年1月1日に市制を施行し、足利町から足利市となりました。当時の人口は、35,632人でした。その後、昭和26年の毛野村合併を嚆矢に昭和28年に山辺町、昭和29年に三重村、山前村、北郷村、名草村、昭和34年に富田村、昭和35年に矢場川村、昭和37年に御厨町、坂西町を合併し、現在の市域を形成しています。市制100年を迎えた令和3年1月1日の人口は、144,488人です。

本市は栃木県の南西部に位置し、東京から北へ80キロメートルの距離にあります。北には緑なす足尾山地の山並みがあり、東西に渡良瀬川が流れ、南には関東平野がひらけています。史跡足利学校や鏝阿寺などの歴史的遺産も多く、『歴史と文化のまち』として知られています。

本市では、昔から織物業が栄え、奈良時代には『かもしかおり』が朝廷に献上されたと伝えられています。戦前は足利銘仙の生産、戦後はトリコットの生産が盛んでした。近年ではアルミや機械金属、プラスチック製品の製造など様々な分野の工業が伸展し、総合的な商工業都市へと変貌を遂げております。また、雇用の創出を促進するため、産業団地の造成にも力を入れています。農業分野では米麦のほか、トマトやいちご、アスパラガス、トルコギキョウなどの生産が盛んです。

交通網では、近年は平成23年に北関東自動車道足利インターが開通し、平成30年にはJR 両毛線にあしかがフラワーパーク駅が開業しました。

市街地整備では、快適で住みよい基盤整備を推進しています。史跡足利学校・鏝阿寺周辺などは歴史的景観形成拠点と位置づけ、足利らしい魅力ある街づくりを進めているほか、渡良瀬川河川敷を利用し、市民の憩いの場としての水辺の空間の創出と健康的な生活を送るための公園整備を進めています。

市有施設においては、昭和40年代、50年代にかけて建設されたものが多く、一斉に更新時期を迎えたため、持続可能な財政運営に向けて『大型公共施設更新に向けた財政指針』を平成31年1月に発表し、徹底した行政改革による歳入の確保と歳出の縮減に努めています。

高齢化率がすでに30%を超えている本市においては、市民一人ひとりが生涯を通じて心身共に健康で暮らせるよう、健康寿命の延伸を目指しています。

足利学校を有する本市は、古くから自学自習の精神が根付いています。『足利市の教育目標』が市民約1万人の参加のもと、昭和56年に作られました。21世紀を見据え、生涯学習の視点に立って作られたこの目標は、先導的な取り組みとして高く評価されました。こうした教育目標のもと、平成18年に新たに開設された生涯学習センターを中心に市内各地で生涯学習が盛んに行われています。

令和4年度からは、これからの100年の礎となる新たなまちづくりの指針、第8次足利市総合計画がスタートします。市民が誇りを持って郷土を愛し、希望に満ちた未来を描けるよう、常に挑戦し続けるまちを目指します。

足利市民憲章

昭和45年5月5日制定

私たちは、自然にめぐまれ、はるかなる昔から文化がひらけていた学問のまち、産業のまち足利市を心から愛し、より美しく、より豊かにするためにこの憲章を定めます。

1 足利市は日本最古の学校のあるまちです。

教養を深め、文化のかおり高いまちをつくり、すぐれた伝統をさらに発展させましょう。

1 足利市は美しいまちです。

めぐまれた自然を愛し、清潔で健康なまちをつくりましょう。

1 足利市は善意のまちです。

理解と信頼をもって、みんなのしあわせのためにお互いに助け合いましょう。

1 足利市は希望にみちたまちです。

明るい家庭をつくり、次代をになうこどもに誇りと希望をもたせましょう。

1 足利市は伸びゆくまちです。

しごとを愛し、みんなの創意で時代の進歩に調和した活気のあるまちをつくりましょう。

II 市章



市章

大正3年(1914)1月14日制定の町章，在大正10年(1921)1月1日建市后被指定为市章。日本最古の書籍《古事記》中出现的倭建命的儿子足鏡別王据说曾治理过足利地区，因此以古鏡神鏡为轮廓，在其中央配以一“足”字。

大正3年1月14日、町章として制定したものを大正10年1月1日の市制施行後も市章としています。

日本最古の書物『古事記』に出てくる倭建命(やまとたけるのみこと)の御子(みこ)、足鏡別王(あしかがみわけのきみ)が足利の地を治めたという言い伝えから、古鏡(神鏡)を輪郭にして中央に『足』を配しています。

City Symbol

The town symbol established on 14 January 1914 was retained as the city symbol when Ashikaga was made into a city on 1 January 1921.

The city symbol comprises the outline of an old mirror with legs, ashi supporting it in the center. The ashi part of the symbol derives from a legend contained in the Kojiki, Japan's oldest book, in which ASHIKAGAMIWAKENOKIMI, one of Yamato Takerunomikoto's children, ruled over the Ashikaga region.

市歌

われらのまちに

作詞 清水次郎

補作詞 市民に親しまれる歌制定委員会

作曲 八洲秀章

平成23年4月1日制定

Moderato

さ わ や か な ひ か り の い と - に お
ら れ ゆ く み ど り の よ あ - け あ
し - か が の か ぜ あ た ら し - く あ
す に む け ひ ろ が る - ゆ め - が い ま
ひ ら く い ま ひ ら く わ れ ら の ま ち に

- 1 さわやかな 光の糸に
織られゆく みどりの夜明け
足利の 風あたらしく
明日に向け ひろがる夢が
いまひらく いまひらく
われらのまちに
- 2 励みゆく ころろにかおり
競い咲く 文化の花よ
渡良瀬の 川いきいきと
あふれわく ちからも若く
いまはずむ いまはずむ
われらのまちに
- 3 ^{いわれ}由緒ある 史跡のさとに
よろこびて 住みゆく誇り
大日の 塔なつかしく
すこやかな ぐらしの歌が
いまひびく いまひびく
われらのまちに

旧市歌

足利市歌

作詞 尾上柴舟

作曲 平岡均之

昭和10年11月16日制定

- 1 至聖の殿堂 稀世の古典
戦塵揚れど 学徒は集ひ
昔は東国 教化の巷
科学の精粹 時代の思潮
機械に意匠に 表現しつつ
今しもわが国 機織の都
足利 足利 わが足利市

- 2 守りて聳つ 両崖山や
抱きて流るる 渡良瀬川や
自然の恵の 集まるところ
煤煙み空を おほひはすれど
曇らぬ心に 親しみ交し
共存共栄 忘れじわれら
足利 足利 わが足利市

市歌は、昭和9年に昭和天皇が本市へ行幸されたのを記念し、翌年に旧市歌『足利市歌』が制定されました。

市制60周年(昭和57年)の際、歌詞の一部が時代にそぐわないなどの意見があり、『市民に親しまれる歌の検討専門委員会』が発足し、市歌の再検討がなされた結果、『足利市歌』が存続となった一方、新たに市民愛唱歌『われらのまちに』が制定されました。

市民手作りの歌を目指した市民愛唱歌は、歌詞および曲を公募とし、計115編もの応募の中から清水次郎氏の歌詞『われらのまちに』が採用されました。

同歌はその後、市民愛唱歌として30年間親しまれ、市民の間にも浸透していたことから、市制90周年を迎えた平成23年4月1日より新市歌となりました。

市制100周年記念誌発行によせて



足利市長

早川 尚秀

Mayor

Ashikaga City

Naohide Hayakawa

足利市は、大正10年1月1日に市制を施行し、このたび、市制施行100周年の記念すべき節目を迎えました。今日の足利市を築いてこられた先人の皆様のご尽力とご労苦に、心より敬意と感謝を申し上げます。

本市は、史跡足利学校や国宝鏝阿寺など多くの歴史的文化遺産を有し、緑豊かな山並みと渡良瀬川の清流は、100年前と変わらず、今でも私たちの心を癒してくれます。

『温故知新』という言葉がありますが、足利市は、先人たちの築いた伝統や足利らしさを重んじながら、進取の精神を忘れず、常に挑戦し、新たな価値を生み出してきたまちです。長い歴史の中で育まれた有望な地域資源を最大限に生かしながら、新しい息吹を吹き込み、良い形で次代へと受け継いでいきたいと考えております。

この素晴らしい足利を心から愛する一人として、また、未来に責任を負う世代の一人として、市民の皆さまとともに、多くの英知と創造性を市政に反映させ、新たな未来に向かって、歩みを進めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

The city of Ashikaga was chartered on January 1, 1921. Now, the city has reached its momentous centennial milestone. The spirits and intentions of our forerunners, who built Ashikaga and helped it prosper, still flow through the city. I respect and appreciate their unceasing effort from the bottom of my heart.

Ashikaga has many historic and cultural assets such as the Ashikaga Gakko, the oldest school in Japan, and Bannaji temple. The landscapes which heal our hearts, the richly green mountains of Ashikaga and the Watarase, the river that flows through the center of the city from west to east, have not changed for a century.

There is an old saying in Japan, "On Ko Chi Shin" which means "learn from the past to enhance the future." Ashikaga city is a place where the people respect traditions established by our forerunners but have a progressive spirit in their minds. Our citizens challenge limits, and have produced new values. They take maximum advantage of the local resources which have been cultivated in our long history to inherit the essence of our ancestors.

As one of the people who loves this beautiful city wholeheartedly, and as someone who is responsible for our future society, I will proceed with the help of our citizens to develop Ashikaga in a way that reflects wisdom and creativity.

足利市于1921年1月1日实施市制，这次喜迎建市100周年。在此，我向为建设足利市做出贡献的先辈们表示崇高的敬意和衷心的感谢。

足利市拥有史迹“足利学校”，国宝“鏝阿寺”等众多历史文化遗产，这里连绵的青山和渡良瀬川的清流，恒古不变地抚慰着我们的心灵。

古人云“温故知新”，足利市是一座既重视继承先辈传统和地方特色，又不忘积极进取，不断挑战，创造新价值的城市。在漫长的历史中足利市形成了具有发展潜力的地方资源优势，我希望能最大限度发挥地方资源优势的同时，为城市发展注入新的活力，以更好的方式将足利市传承给下一代。

我作为一名热爱足利的市民，也作为肩负着未来责任的市长，愿与广大市民一起，将更多的聪明才智和创造性思维运用到市政建设中，共同迈向崭新的未来。请多多给予理解和支持，谢谢大家。



足利市議会議長

栗原 収

Chair
Ashikaga City Assembly
Osamu Kurihara

市制施行100周年という輝かしい節目を迎え、市議会を代表して心からお祝い申し上げます。

ご案内のとおり、緑豊かな自然に囲まれた『歴史と文化と花のまち』足利市は、大正10年1月1日に市制を施行して以来、このたび100周年を迎えました。古くから『織物のまち』として知られ、特産の『足利銘仙』は全国にその名を高めました。近年では、総合的な商工業都市へと飛躍を果たす一方、肥沃な大地を活用した農業や、あしかがフラワーパークの大藤をはじめとする豊かな観光資源、そして、まちを舞台に撮影された映像作品が、その知名度を更に押し上げています。

市民に連綿と受け継がれてきた精神や志が紡いだ輝かしい歴史に接する今、改めて先人たちの努力に思いを致すところであり、衷心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。

この記念すべき年を一つの節目と捉え、二元代表制の一翼を担う市議会は、郷土への誇りを胸に、行政と協力し、互いに尊重するとともに論議を深めながら全力を尽くしてまいります。

結びに、100周年を迎えた足利市の限りない発展を祈念しますとともに、市民の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げあいさついたします。

Ashikaga City turned a brilliant milestone of its municipal centennial. On behalf of the Ashikaga City Assembly, I'm especially pleased to send you my congratulations and best wishes.

As you know, Ashikaga, which is called "the town of history, culture, and flowers" and is surrounded by rich, green nature, celebrated the centennial of its municipal founding on January 1st, 1921. Ashikaga has been known as "the town of textiles" since the olden days. The local specialty of "Ashikaga Meisen," which is silk fabric, was renowned all over Japan. While we are proud of the great steps we've made in becoming a commercial and industrial city, we are also proud of our many touring spots, such as our "Big Wisteria" at Ashikaga Flower Park and the agriculture which makes the most of our fertile ground. Since motion pictures taken in Ashikaga have been screened in movie theaters all over Japan, the notoriety of Ashikaga is increasing.

In learning the brilliant history of Ashikaga, which was built and prospered by the spirits and intentions of our forerunners, I respect and appreciate their unceasing effort from the bottom of my heart.

Taking this commemorative year as a marker, we, the Ashikaga City Assembly, will cooperate with members of the public administration and make our utmost effort to respect one another and expand discourse on various subjects.

Finally, I hope Ashikaga will develop without limit. And may the citizens be healthy and content.

我们满怀喜悦迎接足利市建市100周年，我谨代表市议会表示衷心的祝贺。

众所周知，足利市是一个山清水秀，自然环境优美的城市，也是一个“历史和文化和花的城市”。大正10年(1921年)1月1日建市以来，迎来了100周年。足利市自古以“纺织城市”而闻名，其特产“足利铭仙”在全国家喻户晓。100年的历程，100年的辉煌成就，近年足利市发展成综合型工商业城市的同时，利用肥沃土地资源发展了农业和“足利花园”等丰富的观光资源，以整座城市为舞台的摄影作品，更加提高了本市的知名度。

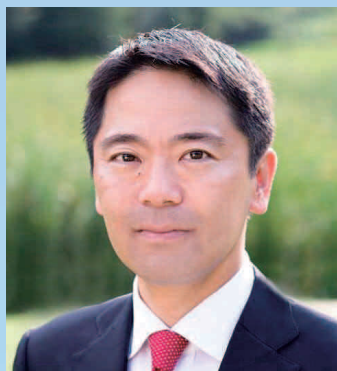
承接以代代相传的精神和大志而编造的辉煌历史的今天，感谢先人们尽心尽力做出的努力，在这里表示崇高的敬意和感谢。

在这值得纪念的新征程之际，市议会肩负“二元代表制”(市议会议员和市长都是由市民直接选举而产生的制度)的一任，胸怀对故乡的荣耀，将与行政务实合作，相互尊重，加深议论，全心全力为市民服务。

最后，祝愿100周岁的足利市明天更美好，祝愿全市人民身体健康，幸福快乐。

姉妹都市・友好都市からのメッセージ

鎌倉市 鎌倉市/日本
Kamakura/Japan



昭和 57(1982)年 4月 締結
Concluded in April 1982

鎌倉市長 松尾 崇



流鏑馬
騎射
Japanese horseback archery

この度は、足利市制施行100周年、誠におめでとうございます。鎌倉市民を代表し、心よりお祝い申し上げます。

足利市と鎌倉市のつながりは、下野国足利荘に本拠を置いた足利義兼が、鎌倉幕府の創設にあたり源頼朝を助けたことにはじまると言われています。報国寺、宝戒寺、浄光明寺や浄妙寺といった足利氏とゆかりの深い寺社を訪れると、今なお、鎌倉幕府創建から脈々と続く足利市とのご縁を肌で感じることができます。

このようなご縁のもとに、昭和57年に足利市と鎌倉市は姉妹都市提携を締結し、行政はもとより幅広い市民団体が文化、経済、観光等の交流を通して友好を深めてまいりました。

この友好関係を次の世代につなげ、足利市と鎌倉市の交流が更に深まることを願うとともに、足利市のますますのご発展と、足利市民の皆様のご多幸を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

Congratulations on the centennial of Ashikaga City's municipalization. On behalf of Kamakura City citizens, I offer you my congratulations from the bottom of my heart.

It is said that the relations between Ashikaga City and Kamakura City started when Yoritomo Minamoto was going to establish the Kamakura government, Yoshikane Ashikaga, who resided in Ashikaga-no-Sho (Ashikaga manor), helped Yoritomo Minamoto establish the government. We have temples deeply related to the Ashikaga clan, such as Hokokuji, Houkaiji, Jokomyoji, and Jomyoji temples. When we visit these temples, we feel a close relationship with Ashikaga, which has been successful for such a great length of time all the way back to the establishment of the Kamakura government in 1192.

Under such historical circumstances, both Ashikaga and Kamakura Cities established the sister-city affiliation in 1982 (in 57 of Showa). Since then, we have deepened our friendly relationship through exchanges between the governments and a wide range of citizens' groups ranging from cultural to economic to sightseeing.

I hope this friendly relationship will be succeeded by the next generation, and I also hope that the exchange between both Ashikaga and Kamakura Cities will deepen further. Lastly, I wish for the development of Ashikaga City and the happiness of the citizens. Congratulations!

Mayor of Kamakura City Takashi Matsuo

衷心的の祝贺足利市建市100周年、我谨代表鎌倉全体市民表示热烈的祝贺并致以诚挚的祝福。

足利市和鎌倉市の缘分是从足利义兼在下野国的足利庄设置根据地，并帮助源頼朝开创鎌倉幕府的时候开始的。

如果您有机会参观报国寺，宝戒寺，浄光明寺和浄妙寺等跟足利氏有关的寺庙，您就会亲身体会到从鎌倉幕府创建时期开始传承下来的两市之间的渊源。


由此，在昭和57年(1982年)足利市和鎌倉市締結姊妹城市，从此在行政，文化，经济，观光等领域加深了深厚友谊。我衷心期望两市友好关系代代相传，加深交流，并祝愿足利市繁荣富强，市民幸福吉祥。

鎌倉市長 松尾 崇

濟寧市 中華人民共和國 山東省
山東省 濟寧市/中華人民共和國
Jining Shandong/China



昭和 59(1984)年 9 月締結
Concluded in September 1984

濟寧市人民政府市長 



三孔(孔廟, 孔府, 孔林)
三孔(孔廟、孔府、孔林)
Temple and Cemetery of Confucius the
Kong Family Mansion

值此足利市建市 100 周年之际, 我谨代表济宁市人民政府和“孔孟之乡”890 万人民, 向足利市政府和足利市市民致以热烈的祝贺和诚挚的问候!

足利市是济宁市第一个国际友好城市, 两市缔结友好关系 37 年来, 一直保持密切交往, 各领域友好交流与合作取得丰硕成果, 共同为中日友好作出了积极贡献。

青山一道同云雨, 明月何曾是两乡。致敬百年足利市, 新起点新征程, 我们愿与足利市一道, 共同谱写新时代友城合作发展新篇章!

祝愿足利市繁荣昌盛、人民幸福! 祝愿济宁市与足利市友谊天长地久!

足利市が市制100周年を迎えるにあたり、私は濟寧市人民政府と『孔子と孟子の故郷』890万市民を代表して、足利市と市民の皆様にご心からお祝い申し上げます。

足利市は、濟寧市が国外で初めて友好関係を結んだまちです。両市は友好都市関係を締結してから37年にわたり、常に親密な交流を重ね、各分野での交流実績と協力関係は大きな成果をあげ、両市のみならず中国と日本の友好関係にも大きな貢献をしてきたものと考えます。

『青山一道同雲雨 明月何曾是兩鄉』(風雨を共に乗り越えてきた親友が、遠く離れた地から同じ月を眺めている) 私は、足利市制100周年に際し心から敬意を表するとともに、これを両市交流の新たな起点とし、新時代に向けさらに発展した友好関係を築くための第一歩にしたいと思っております。

結びに、足利市のますますのご繁栄、市民の皆様のご多幸、そして足利市と濟寧市の友好交流が未永く続くことをお祈り申し上げます。

濟寧市人民政府市長 于 永生

On behalf of The People's Government of Jining municipality and the 8.9 million citizens of "the Hometown of Confucius and Mencius," I congratulate Ashikaga City and its citizens for the centennial of Ashikaga City's founding.

Ashikaga is the first international city with which Jining has established a friendship-city relationship. In the 37 years since establishing the friendship-city relationship, through exchange and cooperation, we have produced significant results in many fields, bringing contributions to relations not just between our cities but also between China and Japan as a whole.

"qing shan yi dao tong yun yu, ming yue he ceng shi liang xiang." (Having weathered hardship, old friends share the same feelings from different places under the same moon.) I heartily congratulate the centennial of Ashikaga City, and I would like to designate it as a new starting point for our cities' exchange. I hope the centennial will be the first step to a new era of developed relations between our cities.

Finally, I wish for the prosperity of Ashikaga City, the happiness of Ashikaga's citizens, and the long-lasting friendship between Ashikaga and Jining.

Mayor of Jining Municipal People's Government Yu Yongsheng

姉妹都市・友好都市からのメッセージ

スプリングフィールド市



アメリカ合衆国 イリノイ州
伊利诺伊州 斯普林菲尔德市/美国
Springfield Illinois/U.S.A

平成2(1990)年10月締結
Concluded in October 1990


Jim Langfelder
Mayor



Old State Capitol in Springfield, Illinois
イリノイ州旧州議事堂 伊利诺伊州议会大厦遗址

As Mayor of the City of Springfield, Illinois, United States, I am honored to wish Ashikaga, Tochigi, Japan a Happy 100th Birthday. I am also proud to share with you well wishes on behalf of the residents of Springfield and our City Council. Our two sister cities have built a legacy of friendship and partnership for 30 years. Today, we celebrate this momentous occasion with you, marking the anniversary of Ashikaga's founding. Springfield's most famous resident, President Abraham Lincoln said, "Determine that the thing can and shall be done, and then we shall find the way." Even though we cannot be together in person, it is important to reflect and commemorate this milestone for your great city. I know every Mayor faces highlights and successes during their time in office, as well as having to make difficult decisions. However, the people who live and work in each community are the ones who make every city unique and a wonderful place to call home. It is the people who challenge Mayors like myself and Mayor Hayakawa to continue to do our best. Ashikaga is celebrating 100 years because of each one of you and those who came before you. This milestone is also a celebration for you.

I am grateful and humbled for the sister city relations between our historically great cities. Springfield celebrates with you today, and we wish you another 100 years of health, wealth, growth and prosperity, Congratulations!

アメリカ合衆国イリノイ州スプリングフィールド市長として、スプリングフィールド市民と市議会を代表し、栃木県足利市の市制100周年をお祝い申し上げます。足利市とスプリングフィールド市は30年にわたり、お互いの友情とパートナーシップを受け継ぎ、我々の遺産として築き上げて参りました。私たちは市制施行を記念する大切な行事に、足利市の皆様とともにお祝い致します。スプリングフィールド市の最も有名な市民であるエイブラハム・リンカーン大統領はかつて、「できると決断せよ。方法などは後から考えればいいのだ。」と言いました。今はお互いに会うことはできませんが、偉大なる足利市の市制100周年という節目をお祝いする気持ちこそが大切だと考えています。市長たるもの、難しい決断をしなければならないこともあるとともに、輝かしい出来事や成功も経験することができます。その出来事や成功を成し遂げ、『ふるさと』と呼ぶにふさわしいまちを創り上げているのは、それぞれのまちに住み、働いている人々です。そのような人々こそが、早川市長や私が全力を振り絞る原動力となるのです。足利市は先人たちや今現在住んでいる皆様がいるからこそ、今100周年を祝うことができます。この100周年の節目は、市民の皆様にとっても大切な祝いであるのです。

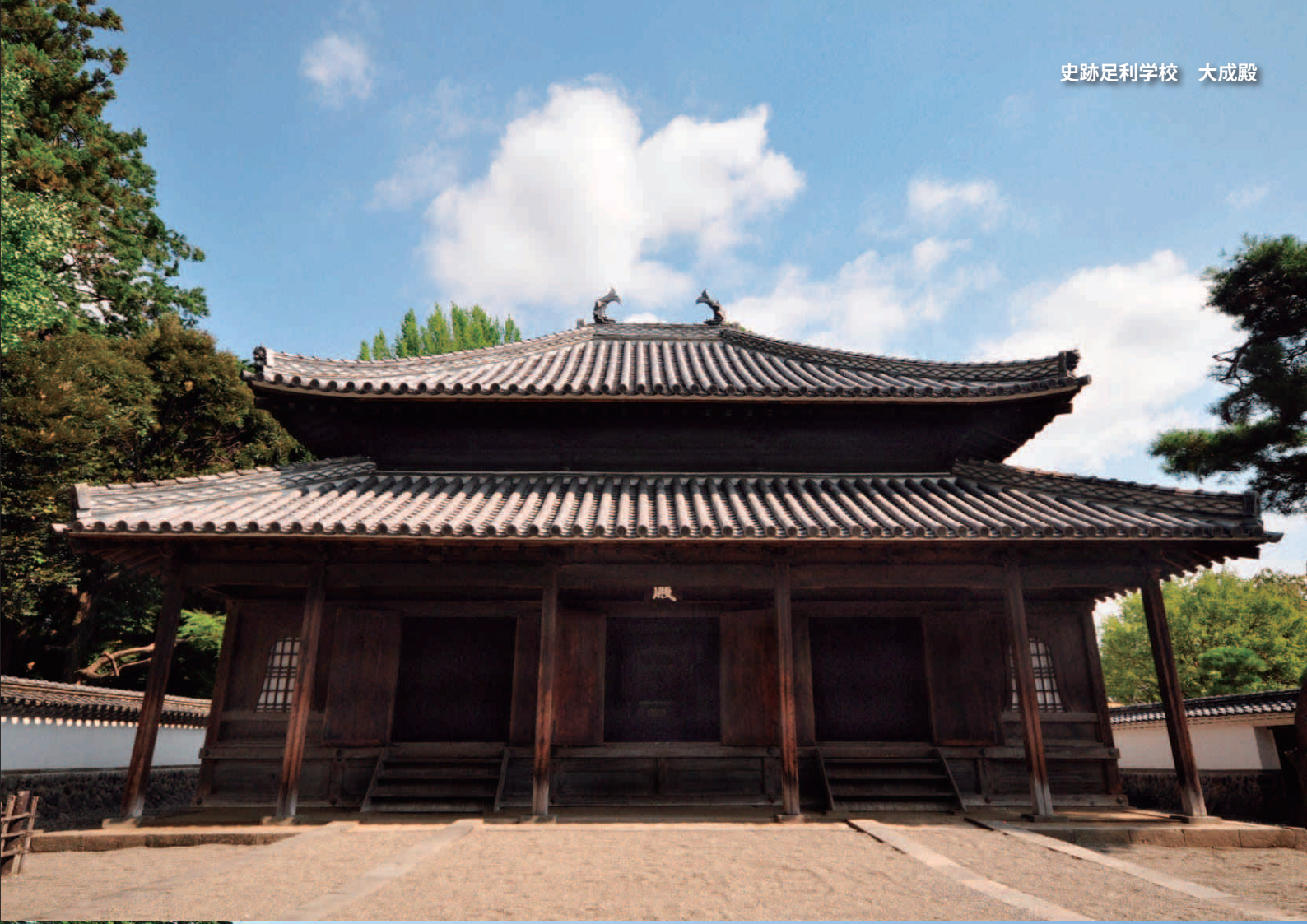
私は足利市とスプリングフィールド市が姉妹都市であることを光栄に思います。スプリングフィールド市民一同、皆様と一緒に市制100周年をお祝いし、さらなる100年が活力に満ち、成長と繁栄を致しますことを祈念申し上げます。おめでとうございます。

スプリングフィールド市長 ジム ラングフェルダー

在足利市庆祝建市 100 周年之际，我谨代表斯普林菲尔德市的全体市民以及市议会表示热烈祝贺并致以最诚挚的祝福。斯普林菲尔德市和足利市结为友好城市已有 30 年。今天，让我们共同见证这一重要历史时刻。斯普林菲尔德市最有名的市民 - 亚伯拉罕·林肯总统曾说过“只要决定事情能够且必将完成，就一定能够找到方法。”我们虽不能直面相见，但非常重视足利市的庆祝活动。每个市长都在自己的办公室既要面对精彩的时刻和成功，又要做出困难的决定。在每个地区生活，工作的人们让每个城市变得即精彩又有特色，并称它为家乡。就如我和早川市长一样挑战市长所面对的任务，尽心尽力为市民做贡献。因为有您这样的人和前辈们的努力，足利市才能够迎来 100 周年生日，这座里程碑也有您的一份功劳。

我非常欣慰能够看到具有历史渊源的两市友好关系能够持续到现在。今天，斯普林菲尔德市与您共同庆祝 100 周岁生日，祝愿足利市今后 100 年也繁荣昌盛，市民们幸福安康。

斯普林菲尔德市长 吉姆 兰费尔德



市制100周年記念事業

■ 新たに制定一市の木・花・鳥

昭和49年の足利市役所新庁舎落成を記念して制定された、市の木『かえで』、市の花『つつじ』は長らく親しまれてきました。この度、市制100周年を記念し自然を大切に守り育て次の100年へと引き継いでいくため、市民の皆さまのご意見を募集し、新たな市の木・花・鳥を制定しました。



II その他

- こども宇宙プロジェクト事業 ———— 幼稚園や保育所・園、小・中学校の子どもたちの集合写真を撮影し、その写真で市の景観やロゴマークなどをデザインしたモザイクアートを制作。
～みんなの夢を宇宙へ～
制作した作品は、市内で展示を行い、その後ロケットに乗って宇宙へと打ち上げる。
- 100年企業表彰 ———— 本市とともに歩み、永年にわたり産業振興等に大きく寄与された企業の功績をたたえ表彰。
- 高校生議会 ———— 選挙権年齢が18歳となったことを踏まえ、次世代を担う高校生に選挙や政治への参加をより身近に感じてもらうため、市内の高等学校に通う高校生が議員となり、模擬議会を開催。
- タイムカプセル2031 ———— 未就学児の保護者や小・中学生を対象に未来へのメッセージを募集し、10年間保管した後、郵送。
- 特別展 戦国武将 足利長尾の武と美 — 「このまちに住んでよかった」「歴史と文化を大切にす
～その命脈は永遠に～
まちの気風を継承したい」と多くの市民に感じてもらい、豊かな文化と奥深い歴史を持つ本市の魅力を広く全国へ発信するため、市立美術館で本市ゆかりの文化財特別展を開催。
- NHK公開番組『のど自慢』の誘致 ———— 新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。

市制100周年記念事業実行委員会

足利商工会議所	会頭	相馬 稔	足利市社会福祉協議会	会長	岩田 昭
足利青年会議所	理事長	小林 友和	足利市女性団体連絡協議会	会長	小林 静子
足利市自治会長連絡協議会	副会長	萩原 晴夫	足利市青少年育成会連絡協議会	会長	古川 克美
足利市農業協同組合	組合長	増田 高	足利大学	学長	荘司 和男
足利文化協会	会長	久保田 健一	足利市議会	議長	栗原 収
足利市体育協会	会長	會澤 政宏	足利市教育委員会	教育長	須藤 秀幸
足利市観光協会	会長	早川 慶治郎	足利市	市長	早川 尚秀

(順不同)

足利市の歴史

1921年(大正10年)

- 1月
 - ・市制を施行。足利公園で市制施行祝賀会を行った。
- 3月
 - ・足利学校跡が国の史跡に指定された。
 - ・12日から3日間、第1回市議会議員の選挙を行った。
 - ・市議会が成立した。
- 4月
 - ・第4回市議会で市長候補者を選任した。
 - ・県立足利中学校(現足利高校)が開校した。
- 5月
 - ・史跡『足利学校』の管理者に足利市が指定された。
- 7月
 - ・職業紹介法の施行に伴い、従来民間で取り扱っていた紹介事務を市が扱うことになった。
- 10月
 - ・青年団連合会が成立した。
 - ・市教育会が結成された。
- 11月
 - ・足利市儀礼改善会を組織した。これは冠婚葬祭の儀礼を改善して冗費を節約し、その分を市公共事業に寄付されるように呼びかけたもの。
- 12月
 - ・市庁舎が落成した。

1922年(大正11年)

- 1月
 - ・大字名を廃止するとともに、小字名を改称した。
- 2月
 - ・都市計画調査委員会を設置した。
- 3月
 - ・旧『足利氏宅跡』が国の史跡に指定された。
 - ・初の市営住宅を本城、西宮町に5棟ずつ建設した。
- 4月
 - ・市庁舎落成祝賀式を実施した。
 - ・市職業紹介所設立について、県の認可があった。
- 8月
 - ・市制施行誌を発行した。
- 9月
 - ・足利市報第1号を発行した。
- 10月
 - ・市少年団を結成した。
- 11月

- ・史跡『足利氏宅跡』の管理者に足利市が指定された。
- ・市農会主催による産業共進会が開かれた。

1923年(大正12年)

- 3月
 - ・市小学校教育基金造成会事業を開始した。
- 4月
 - ・足利商業連合会が設立された。
- 5月
 - ・足利公園改良計画を本多静六博士に委嘱した。
- 9月
 - ◆関東大震災が起こった。
 - ・県議会議員の選挙が行われた。

1924年(大正13年)

- 4月
 - ・相生小が開校した。
 - ・西宮町に県立繊維工業試験場が設置された。
- 5月
 - ・水道実地調査のため米元技師を招へいし、嘱託とした。
- 6月
 - ・『足利市史』の資料収集を機会に、大規模な資料展示会を開いた。
- 7月
 - ◆メートル法が実施された。
- 9月
 - ・足利市出身の司法大臣、横田千之助氏の就任祝賀会を開いた。
 - ・足利郵便局が2等局に昇格した。

1925年(大正14年)

- 1月
 - 京都、大阪、名古屋への長距離電話が開通した。
 - ・袋川水門が完成した。
- 3月
 - ・第2回市議会議員の選挙(級別)が行われた。
 - ・足利実践女学校(のちの足利短期大学附属高校)が開校した。
- 8月
 - ・足利市上水道敷設案を発表、予算を示し実現に第一歩をしるした。
 - ・足利市役所で県下初の小作調停裁判が実施された。



▲大正10年・市制施行時の記念写真。



▲大正12年・御厨町役場新築記念時の福居足利通り。



◀大正12年の関東大震災による被災地・東京方面へ、食糧物資の運搬などによる救援活動が行われた。

▶大正13年ごろの織物工場。



◀市制施行祝賀に参加した学生の旗行列。

10月

- ・第1次耕地整理事業(有楽町)が終了した。

11月

- ・市立伝染病院が落成した。

12月

- ・足利内地織物業者が2カ月の休機を決議した。

1926年(大正15年、昭和元年)

2月

- ・渡良瀬川上流改修運動が始まった。

7月

- ・各小学校に青年訓練所を設置した。

9月

- ・足利市消防組常備部を設置した。

10月

- ・工業試験場の内部設備の充実を記念し、同場内で『栃木県蚕糸織物共進会』が開かれ、21日の褒賞授与式には閑院宮載仁親王殿下と藤沢商工大臣が来足した。

12月

- ・田崎草雲の旧屋『白石山房』が蓮岱館から市に寄付された。

◆大正天皇崩御、年号が大正から昭和に変わる。

1927年(昭和2年)

3月

- ・都市計画法第2条による指定を受けた。

6月

- ・助戸小の新築落成式が挙行された。

10月

- ・東武鉄道が全線電化し、初めて足利市に電車が来た。
- ・在満日本人慰安のため、市代表として大貫助役が渡満した。

◆この年、足利の模様銘仙がデビューした。

1928年(昭和3年)

3月

- ・相生小が新築落成した。
- ・市街地建築物法が足利市に適用された。

4月

- ・上水道敷設案を市議会で承認した。

9月

- ・足利市社会事業協会が発足した。
- ・在満日本人慰安のため、市代表として丸山収入役が

渡満した。

- ・足利市連合女子青年団が発足した。

12月

- ・『足利市史』を発刊した。

1929年(昭和4年)

2月

- ・柳原小の大講堂が落成した。

3月

- ・第3回市議会議員選挙が行われた。

5月

- ・上水道起工式を水源地で開いた。
- ・火災報知機の使用を開始した。

6月

- ・足利市および三重村、山辺村ならびに毛野村のうち岩井、勤農、北猿田、山川、常見の地域が都市計画区域の指定を受けた。
- ・水道配水池の工事に着手した。

7月

- ・足利小唄(作詞・永井白眉、作曲・中山晋平)を藤間久枝さんが振り付けして発表会を開いた。

9月

- ・市会、知事に渡良瀬橋の架替拡張意見書を提出した。

10月

◆世界恐慌が始まった。

1930年(昭和5年)

1月

- ・東武鉄道株式会社が市に中橋の架橋をすすめた。

6月

- ・足利市の街灯が不景気のため廃止された。

9月

- ・第1回足利競馬を開催した。

10月

- ・北部(東西砂原後町)の耕地整理事業が完了した。

11月

- ・中橋通りの拡張に着手した。

1931年(昭和6年)

4月

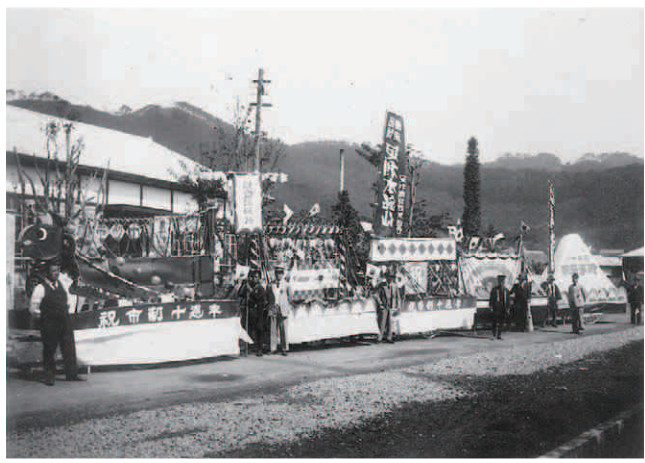
- ・上水道の給水を開始した。(普及率43.8%)

5月

- ・市制施行10周年記念式を挙行政した。

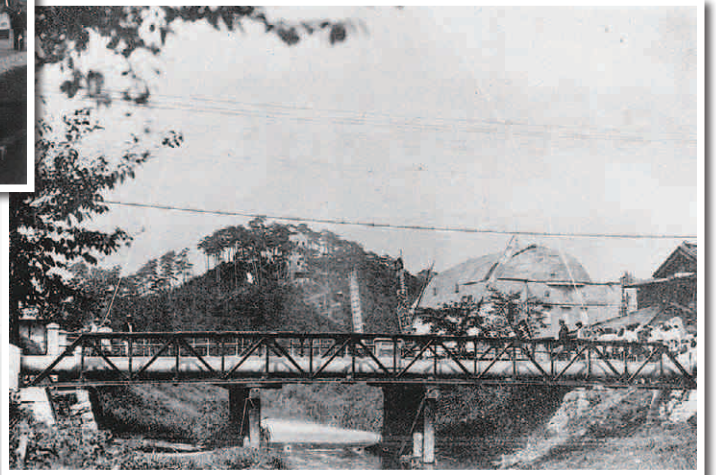


▲昭和初期の頃の市街地。



◀昭和6年5月17日・市制施行10周年記念式。
市役所東の道路上に山車が並んだ。

▼昭和5年ごろ・富永公園南側
で行われた消火栓放水試験。



◀昭和9年4月・足利市実業学校の開校展。

6月

・社会事業協会が、織姫山中腹にサイレンを設置した。

7月

・市無料宿泊所を設置した。

8月

・と場を市営とした。

9月

◆満州事変が勃発した。

◆この年、足利の様銘銘仙が飛躍的に発展した。

1932年(昭和7年)

1月

・社団法人『足利友愛義団』が40年の歴史を閉じて解散した。

6月

・柳原校の西北総2階建て校舎と相生校第4校舎が完成した。

9月

・足利市体育会が発足した。

10月

・東小の東側および北部の校舎が完成した。

11月

・通四丁目に県下初の商業組合が設立された。

1933年(昭和8年)

1月

・両毛線足利駅が新築落成した。

2月

・国際連盟問題で緊急市民大会が開催された。

3月

・第4回市会議員選挙が行われた。

4月

・国宝鑱阿寺大御堂の大修理に着手した。

6月

・両毛駅拡張のため、昭和土地区画整理事業が開始された。

1934年(昭和9年)

1月

・足利市立実業学校の地鎮祭を行った。

3月

・渡良瀬川改修促進について、内務大臣および貴衆両院議員に請願書を提出した。

4月

・各小学校名変更、高等小学校が廃止され、実業学校が開校された。

5月

・中橋の起工式が行われた。

7月

・織姫神社の地鎮祭が行われた。

・衛生会館の上棟式が行われた。

9月

・鑱阿寺の大御堂大改修工事が完了した。

・渡良瀬橋が竣工した。

11月

・昭和天皇が本市に行幸され、水道配水池および県立足利工業学校をご視察された。

・実業学校開校記念式が行われた。

1935年(昭和10年)

1月

・公益質屋『足利屋』が開業した。

4月

・青年訓練所が廃止されて青年学校となった。

10月

・都市計画風致地区を決定した。

11月

・足利市歌と足利市旗を制定した。

1936年(昭和11年)

2月

・衆議院議員の総選挙が行われ、足利市は棄権率8.9パーセントで全国一の投票率を示した。

5月

・市制施行15周年、水道敷設5周年記念式典を挙行政した。

8月

・中橋が竣工し、開通式を行った。

11月

・中橋の完成に伴い、南町に上水道が通水した。

1937年(昭和12年)

3月

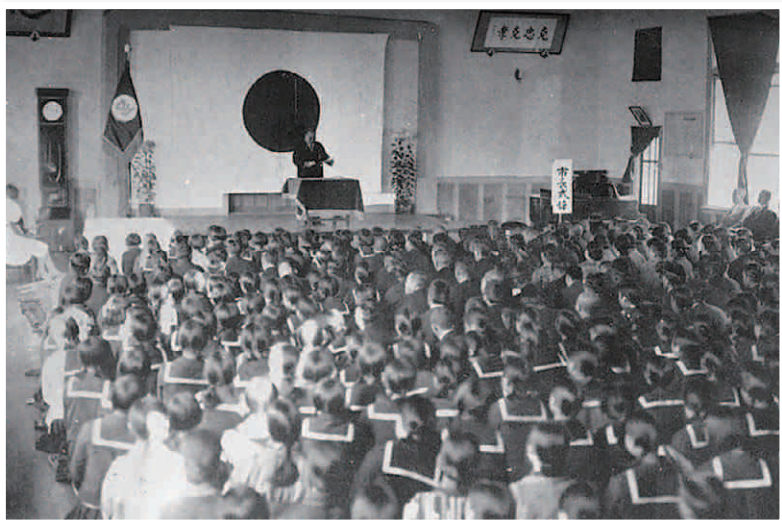
・第5回市議会議員選挙が行われた。

5月

・織姫神社が完成し、遷宮大祭が行われた。

・鑱阿寺の一切経堂修復が完了した。

▶昭和10年11月・西小講堂で市歌と市旗の制定式が行われた。



◀昭和8年ごろ・織物の整理風景。

▼昭和11年・現在の中橋が完成した。



◀昭和9年3月・松田湯ノ沢林道が竣工。
当時は荷馬車が多く使用されていた。

7月

◆日中戦争が始まった。

8月

・足利郵便局が、速達郵便の取り扱いを開始した。

1938年(昭和13年)

4月

・足利市実業学校を足利商工学校と改称した。
・両崖山ハイキングコースが開設された。

7月

・市営職業紹介所が国営となった。

9月

・関東地方一帯を襲った台風で大洪水となり、足利学校や鑿阿寺境内も泥海と化した。全市の損害額は150万円といわれている。

・名草巨石群が国の天然記念物として指定を受けた。

11月

・足利学校中興500年祭を行った。

1939年(昭和14年)

4月

・市警防団(6箇分団)を組織した。

6月

・衛生会館の健康相談所が県立足利保健所となった。

9月

・国防同盟会が廃止され、市内住民の全世帯主で構成する銃後奉公会が発足した。

・足利銘仙の生産が全国一となった。

・名草巨石群が国の天然記念物に指定された。

1940年(昭和15年)

2月

・足利市が『教化都市』に指定された。

10月

・大政翼賛会本部が組織された。

・足利商工会議所が設立された。

11月

・紀元2600年記念式典を柳原国民学校講堂で挙行了した。

・母子寮が落成した。

12月

・町内会組織を新体制に応じたものにするため、町内会規程を公布した。

1941年(昭和16年)

2月

・職業紹介所が国民職業指導所と改められた。

3月

・総合運動場建設について認可があった。

4月

◆全国の小学校が国民学校と改称された。

・各小学校に青少年団が編成された。

・伊勢町十念寺の河原にあった塵芥焼却場を東砂原後町の新築炭化処理場に移した。

5月

・市制施行20周年記念式を挙行了した。

・消防ポンプ自動車を第三、第四、第五分団に配置した。

7月

・大町、助戸町、伊勢町など、主として袋川沿いの町内が水害に遭った。(床上浸水850戸)

8月

・渡良瀬川中橋下の河原で市民ラジオ体操大会を行った。

・消防ポンプ自動車を第一、第二、第六分団に配置した。

11月

・渡良瀬川改修(毛野～桐生)工事の起工式が行われた。

12月

◆太平洋戦争が始まった。

1942年(昭和17年)

1月

・繊維製品の配給消費統制規則が公布された。

2月

・市翼賛壮年団が結成された。

・総合運動場建設地鎮祭が行われた。

・旧柳原小の校舎を移転・改築し、教化会館を設置した。

4月

・市に警防課を新設した。

7月

・柳原小のプールが完成した。

8月

・織姫山中腹のサイレンを山頂に移転し、社会事業協会からこれを市に寄付した。

1943年(昭和18年)

1月

・地域拡張期成同盟を結成し、隣接町村に合併を呼びかけた。



◀▼昭和13年9月1日、関東地方を襲った台風のため、市内は大洪水となり大きな被害をうけた。



▼昭和15年ごろの福居八木町通り。



◀▲昭和16年12月8日、太平洋戦争が起こった。同時に、銃後(戦場の後方)は食糧が自給自足となり、小学生まで麦踏みや脱穀に動員された。

3月

・商工会議所法の廃止に伴い、商工会議所が事実上消滅した。

5月

・市立青年学校を開設した。
・大日北西角から柳原小までの道路拡張工事が竣工した。

9月

・第1回市民皆泳錬成大会を開いた。

1944年(昭和19年)

3月

・実業青年学校を廃止して、市立工業学校(5年制)を設置した。

1945年(昭和20年)

2月

・百頭町が空襲に遭い、約30名が犠牲となった。

5月

・防空法に基づき、市街地の疎開(第1次)を実施した。
○織姫神社大門通り ○現在の昭和通り
・国民義勇隊が組織され、同時に大政翼賛会足利支部、翼賛壮年団、大日本婦人会支部、青少年団などはすべて発展的に解消し、国民義勇隊に一本化された。

8月

・第2次疎開を実施したが、終戦したため中止された。
・空襲を受け、本城二丁目に焼夷弾が落下し、わずかながら被害を出した。

◆太平洋戦争が終結した。

・国民義勇隊が解散した。

9月

・市の警防課および兵事課を廃止した。

10月

・袋川氾濫のため、総合運動場付近および相生町方面に浸水があった。

1946年(昭和21年)

4月

◆女性が参政権獲得後、最初の衆議院議員総選挙が行われた。

・市立工業学校を廃止し、市立商工学校を開校した。

7月

・市制施行25周年記念式典を行った。

10月

◆生活保護法が施行された。

・商工会議所が新たに設立された。

11月

◆新憲法が発布された。

・選挙管理委員会を設置した。

・足利振興祭を行った。

1947年(昭和22年)

4月

・第一回市長公選が行われた。

5月

◆地方自治法が施行された。

8月

・陸上競技場が第3種競技場に公認された。

9月

・昭和天皇が本市に行幸された。

・カスリーン台風により、渡良瀬川、袋川の堤防が決壊し、大被害を受けた。市内の各所が泥海と化し、約2カ月間は商工業活動が止まった。(死者・行方不明319人、流出家屋372戸、床上浸水11,976戸)

11月

・警防団を解体し、消防団を組織した。

◆この年、トリコット生産が盛んになった。

1948年(昭和23年)

3月

・山辺町と協議して、組合方式による自治体警察署を設置した。

4月

・学校教育法の施行に伴い、県立として足利高校、足利工業高校、足利女子高校、市立として足利商業高校、私立として月見ヶ丘高校が開校した。

8月

・足利市体育会が足利市体育協会と改組した。

10月

・市営陸上競技場が完成した。

12月

・地方自治法に基づき、市に監査委員会を設置した。

1949年(昭和24年)

1月

・第1回成人式を挙行した。

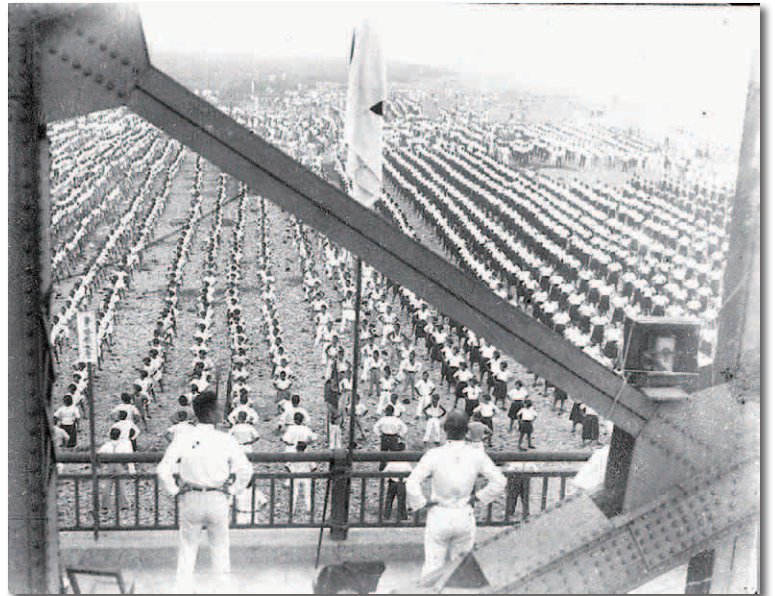


▲昭和20年・男浅間から見下ろした市街地。

▼昭和17年4月・大政翼賛会の選挙が行われた。
当時、一億一心という言葉が盛んに使われていた。



▶昭和26年当時の市議会議場。



▲昭和16年ごろ・渡良瀬川河川敷で行われた市民ラジオ体操。
当時は毎年行われていた。



2月

◆電信、電話関係部門が郵便局から分離した。

3月

・市勢の伸張を図るため『足利市勢振興委員会』を設置した。

4月

・市立商業学校を県立足利高等学校に編入し、校舎を第二中校舎とした。

・第三中の新校舎が落成した。

6月

・消防本部と消防署を設置した。

7月

・未亡人の団体である『白梅会』が結成された。

・足利赤十字病院が発足した。

8月

・戦争で中止されていた名物の七夕まつりや花火大会が12年ぶりに復活した。

◆シャウブ税制勧告が行われた。

1950年(昭和25年)

3月

・第1回市営競馬を開催した。

4月

・教化会館を足利公民館と改称した。

7月

・第一中の校舎1棟が落成した。

10月

・市制施行30年記念式典を挙行了した。

・昭和土地区画整理事業が竣工した。

12月

・新設の庁内電話が開通した。

・毛野村の合併を決議した。

・助戸十念寺土地区画整理事業を開始した。

1951年(昭和26年)

3月

・毛野村を合併した。

・袋川改修工事の竣工式を行った。

4月

・市長、市議同時選挙を行った。

・知事、県議同時選挙を行った。

5月

・新市議による初市会が流会した。

9月

・第一中の校舎1棟が落成した。

◆日米講和条約に調印した。

10月

・市営庭球場が完成した。

1952年(昭和27年)

3月

・市広報紙『あしかがみ』を発刊した。

・市営アパート第1号が助戸大橋町に完成した(三階建て18戸)。

4月

◆日米講和条約が発効した。

5月

・日米講和条約発効記念式を東小で行った。

・新庁舎(現本庁舎別館)開庁記念式を行った。

7月

◆住民登録が施行された。

10月

・初の教育委員選挙が行われた。

11月

・市教育委員会が発足した。

12月

・市営によるし尿の汲み取りを開始した。

1953年(昭和28年)

1月

・山辺町の合併を決議した。

2月

・市営競輪を初めて開催した。

4月

・山辺町を合併した。

・市に収税課、戸籍課を新設した。

5月

・日赤病院の落成記念式が行われた。

1954年(昭和29年)

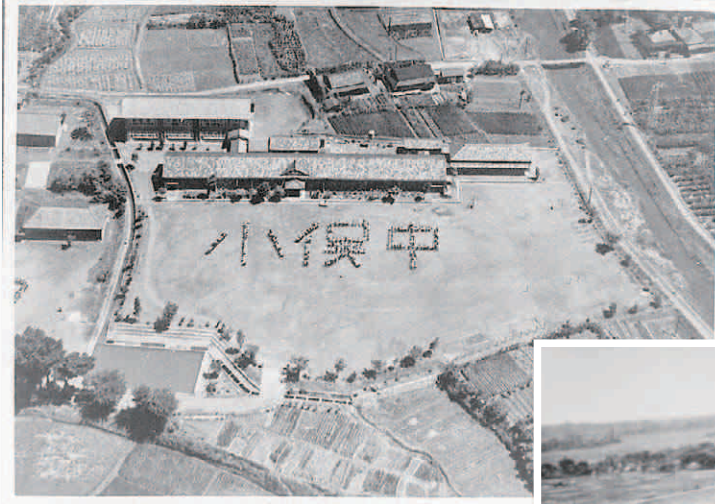
3月

・助戸十念寺土地区画整理事業が竣工した。

4月

◆電話が自動式となった。

・行政町名に千歳町、常盤町等が誕生した。



◀昭和28年10月・小俣中学校(現小俣小学校)。

▼昭和30年・借宿町付近。



◀昭和24年・里矢場町曲田で行われた草競馬。
商品は、タンスや米俵などだった。

▼昭和29年ごろ・通二丁目付近の七夕。



◀昭和30年5月・通四丁目付近。

7月

- ・自治体警察が廃止された。

8月

- ・三重、山前の両村を合併した。

10月

- ・養老院福寿荘の開院式が行われた。
- ・西足利駅が開設された。

11月

- ・北郷、名草の両村を合併した。

1955年(昭和30年)

3月

- ・織姫公民館(通四丁目)が落成した。
- ・第一中の特別教室が焼失した。
- ・山辺小の教室1棟が焼失した。

5月

- ・市営硬式野球場が完成した。

7月

- ・秘書室を新設した。
- ・千歳小の増築校舎が落成した。

8月

- ・緑町配水池増設工事の地鎮祭を挙行了した。

10月

◆国勢調査が行われた。

12月

- ・納税組合連合協議会が発足した。
- ・救急車を配備して、救急業務を開始した。

1956年(昭和31年)

2月

- ・官公衛長月曜会が設立された。

3月

- ・足利郵便局が全焼した。
- ・北郷局電話が足利局に編入された。

6月

- ・新生活運動協議会が発足した。
- ・焼失した第一中の特別教室が落成した。

7月

- ・県南4市対抗競技会が行われた。

8月

- ・緑町配水池の増設工事が完成した。

9月

- ・養護施設『泗水学園』の起工式を行った。

10月

◆教育委員制度が公選制から任命制に変わった。

- ・山川処理場の消化槽起工式が行われた。

11月

- ・織姫山から名草巨石群までの山林が足利県立自然公園の指定を受けた。
- ・市に国民健康保険事務室を開設した。
- ・富田、矢場川村合併問題の大陳情団が出県した。

12月

- ・行政町名に久松町、芳町、花園町、弥生町、真砂町、末広町、富士見町が誕生した。
- ・自治庁振興課長が合併問題の現地調査に来足した。

1957年(昭和32年)

2月

- ・足利地方にしては珍しい降雪があった。

3月

- ・足利市消防団が国家消防本部より表彰を受けた。
- ・山辺中の特別教室が落成した。

4月

- ・各支所を廃し、出張所とした。

5月

- ・養護施設『泗水学園』が開園した。
- ・原水爆禁止協議会足利支部が結成された。

7月

◆国民健康保険を開始した。

- ・農業委員会が一本に結合された。
- ・西出張所の開所式を行った。
- ・農業委員会選挙が行われた。

8月

- ・県内初の地区労働会館が開館した。

9月

- ・山川処理場の消化槽が運転を開始した。
- ・名草財産区有林監視所(巨石荘)が落成した。

10月

- ・トリコット会館が建設された。

11月

- ・富田、矢場村の合併が同時議決された。
- ・根本建設大臣が緑橋、岩井山の視察に来足した。

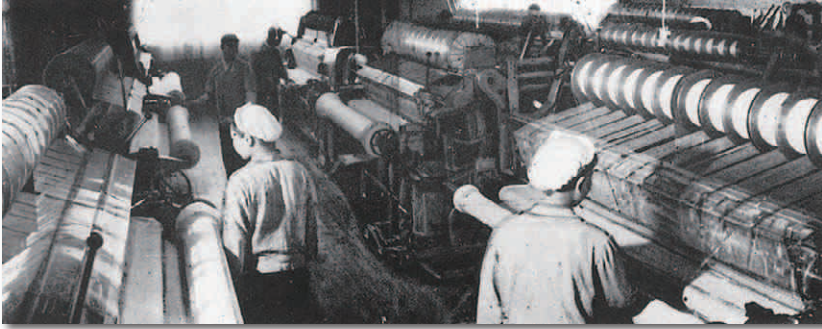
12月

- ・自治会長が一堂に会し、自治振興懇談会を開いた。



◀昭和31年5月・現在の南町緑地南側にあった牡丹園。

▼昭和32年3月・足利市消防団が国家消防本部より表彰を受けた。



▲昭和33年ごろの織物工場。



▲昭和30年5月・五十部町富士見橋付近。



▲昭和31年・渡良瀬橋付近の堤防。



▶昭和30年代の屋台。

1958年(昭和33年)

1月

- ・足利の新歌謡選定のため、西条八十氏が来足した。

2月

◆足利、桐生間の電話が直通になった。

3月

- ・水道庁舎の起工式を行った。
- ・上水道第1次拡張事業が完了した。

6月

- ・両毛線電化促進協議会が発足した。
- ・南極観測船『宗谷』航海長の山本氏が来足した。

7月

- ・御厨町に対し、合併を申し入れた。

9月

- ・矢場川村合併問題について、総理大臣処分が発表された。

11月

- ・織姫公民館が文部大臣表彰を受けた。
- ・山川し尿処理場が完成した。

12月

- ・助戸北部土地改良が完成した。
- ・総合運動場拡張期成同盟が発足した。
- ・水道庁舎が完成した。

1959年(昭和34年)

1月

◆新国民健康保険法が施行された。

3月

- ・第二中の体育館が落成した。
- ・足利新歌謡『あしかが音頭』『あしかがごよみ』の発表会が行われた。

4月

- ・富田村を合併した。
- ・三重中と山前中を統合し、西中とした。

5月

- ・足利公園に野外ステージが完成した。

7月

- ・足利トリコット工業団地が朝倉町に決定された。

8月

- ・常備消防署富田分遣所が落成した。

9月

- ・青少年育成協力会結成大会が開かれた。

10月

- ・渡良瀬川岩井地区改修対策委員会が発足した。

- ・養老院建設にあたり、敷地の提供など多大の貢献をされた吉田ヨネさんの記念碑除幕式を行った。

- ・矢場川村合併問題について、中央の合併調整委員小島憲氏、加藤於菟丸氏、野々山重治氏の3氏が現地調査のため来足した。

- ・利根川治水同盟大会が開かれた。

11月

- ・足利地区住民の声を県政に反映させるため、初の県政座談会が開かれた。

12月

- ・自治会長連絡協議会が発足した。
- ・青少年相談所を開設した。

◆足利～東京間の電話が手動即時通話になった。

1960年(昭和35年)

1月

- ・藤坂峠改修促進同盟が発足した。

2月

- ・郷土出身力士、八染関の十両優勝祝賀会が開かれた。
- ・千歳小、北郷小、毛野小の講堂が落成した。

3月

◆国民年金(福祉年金)の支払いを開始した。

- ・総合運動場の拡張工事が始まった。
- ・矢場川合併調整委員会(自治省)が調停案を提示した。
- ・相生小プールの起工式を行った。

4月

- ・毛野、北郷公民館の起工式を行った。
- ・県道富田跨線橋が開通した。

6月

◆日米新安全保障条約が発効した。

- ・トリコット工業団地の造成に着手した。

7月

- ・矢場川村を分村合併した。
- ・相生小のプールが完成した。
- ・例年8月7日に開催していた花火大会を7月7日に行った。

- ・山辺公民館が落成した。

- ・公文書の横書きを実施した。

- ・市長が北欧視察のために出発した。

8月

- ・ボーイスカウト県大会が本市で開かれた。

- ・北郷公民館が落成した。



◀昭和33年11月・完成した山川し尿処理場。



▲昭和34年ごろの両毛線足利駅。



◀昭和34年9月、足利市青少年保護育成協力が結成され、育成会が各町内につくられた。写真は、昭和38年に結成された足利市青少年育成協議会の設立総会。

▶昭和35年ごろの福寿荘。当時は養老院と称していた。



▼昭和35年の織物会館。現在の織物会館は、昭和43年3月に開館した。



▶昭和35年ごろの足利警察署。



・ローマオリンピック重量挙げ選手・木暮茂夫さんの
壮行会を実施した。

・市長が海外視察を終えて帰足した。

9月

・第一中と第二中の増築校舎が落成した。

・関東8都県陸上競技大会が本市総合グラウンドで行
われた。

・毛野公民館が落成した。

10月

・県民体育祭で足利市が初優勝した。

・織姫跨線橋の起工式が行われた。

・トリコット工業団地の整地が完了した。

11月

・朝倉土地区画整理事業を開始した。

・市営競馬を宇都宮競馬場で開催した。

1961年(昭和36年)

3月

◆足利、富田局の電話が即時通話になった。

・上水道第2次拡張事業が完了した。

・渡良瀬川岩井地区の改修のための用地買収契約を終
了し、工事实施が確定した。

4月

◆旧ソ連が有人宇宙船の打ち上げに成功した。

・山辺中の体育館が落成した。

・毛野南部第一土地区画整理事業を開始した。

5月

・市制40周年記念式典を挙行了した。

・消防分団が改組され、11分団となった。

・西中の校舎が落成した。

7月

・足利土地開発協会が発足した。

・西小のプールが竣工した。

・総合運動場プールが完成した。

・消防署山辺分遣所が開所した。

・関東8都県対抗の庭球大会が行われた。

10月

・総合運動場の完成祝賀体育祭が開催された。

・御厨分遣所、坂西分遣所を開所した。

1962年(昭和37年)

1月

・三重公民館が落成した。

・市道五十部山下線の起工式を挙行了した。

2月

・矢場川地区で県政座談会が開かれた。

・御厨および坂西町合併協議会が開かれた。

◆米国が人間衛星船の打ち上げに成功した。

3月

・交通安全都市を宣言した。

・広報協議会が解散した。

4月

・市が機構改革を実施し、部制をしいた。

・富田小の改築工事が完成した。

・滝の宮住宅団地の建設が始まった。

5月

・鑿阿寺の鐘楼改修完成祝いが行われた。

・交通安全都市推進大会を大日苑で開催した。

・養老院の拡張工事完成式が行われた。

・日本体操祭足利大会が総合運動場で開かれた。

6月

・足利市議会、御厨町議会が御厨町の足利市への合併
を議決した。

・市内にピンポン玉大のひょうが降り、農作物が大き
な被害を受けた。

7月

・市道五十部山下線が開通した。

8月

・坂西町が足利市への合併を議決した。

9月

・柳原共同給食調理場が完成した。

10月

・御厨町と坂西町を合併した。

・有楽町公園の一角に戦没者追悼霊苑が完成した。

11月

・御厨、坂西両町の合併記念式を月見ヶ丘会館で開催
した。

◆電話が東京と即時通話になった。

・トリコット住宅団地第一期工事が完成した。

1963年(昭和38年)

・織姫跨線橋が開通した。

◆電話が宇都宮と自動即時通話となった。

3月

・渡良瀬川岩井分水路起工式が行われた。

・滝の宮、上渋垂、五十部西山、福富に市営住宅108



◀昭和36年・市制40年記念行事のひとつ、
子供こしパレード(トリコット会館前)。

▼昭和37年7月に開通した通称・西中通学道路。



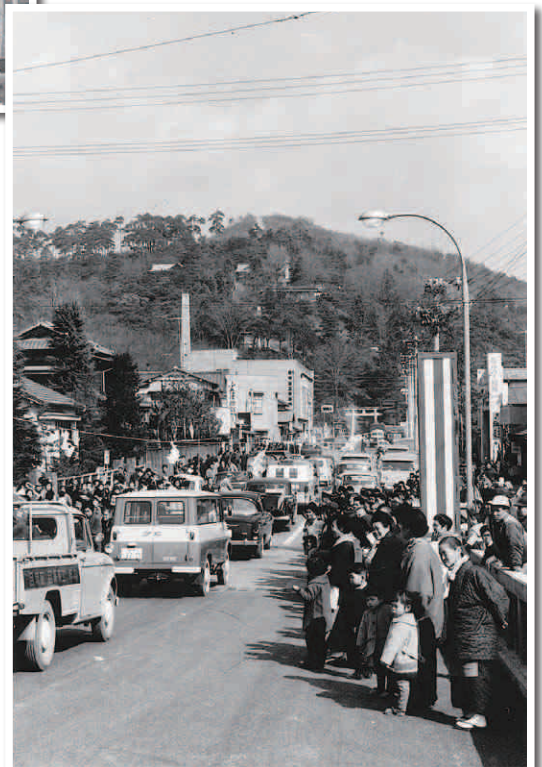
▼昭和37年・中橋通りの朝のラッシュ風景。



▲昭和37年・岩井の渡し舟



▲昭和37年の葉鹿町



▶昭和38年2月・織姫跨線橋の開通式

戸が建設された。

- ・足利駅前土地区画整理事業を開始した。

4月

- ・足利、佐野と畜場組合が発足した。
- ・県道水戸前橋線が1級国道50号となった。
- ・県立足利商業高等学校(現足利清風高校)が開校した。
- ・御厨母子センターが開所した。

5月

- ・朝倉土地区画整理事業が竣工した。
- ・毛野中の体育館が完成した。
- ・高瀬、市場地区の住民代表が市に正式に合併を申し込んだ。

6月

- ・ライシャワー駐日米大使が来足し、足利学校と鑿阿寺を見学された。

7月

- ・足利市街地開発組合が設立された。
- ・県南職業訓練所が完成した。
- ・厚生大臣より保健文化賞を受賞した。

◆太田局とダイヤル直通が開始された。

- ・高校野球県大会で足利工業高校が優勝し、甲子園への出場が決定した。

9月

- ・保健文化都市宣言をした。
- ・山川処理場の増設工事が完成した。

10月

- ・国民健康保険が世帯主7割給付を実施した。

◆日本が初めて原子力発電に成功した

◆ケネディ米大統領がテキサス州ダラス市で暗殺された。

◆日米間でテレビ中継放送が成功した

12月

- ・市民会館建設委員会が発足した。

1964年(昭和39年)

2月

- ・9市競輪組合の設立が認可された。

3月

- ・市内の15農協が3農協に結合された。
- ・大月小が新築落成した。
- ・有楽公園が完成した。

4月

◆日本がOECD経済協力開発機構に加入し、本格的な開放経済体制に入った。

6月

◆新潟地方に大地震が発生し、新潟市などが大被害を受けた。

- ・木村市長が全国市長会副会長に当選した。
- ・1都6県の水防演習が渡良瀬河畔で行われた。

8月

- ・大橋町の浦山重明さんが技能オリンピックで銀メダルを獲得した。

9月

- ・山辺浄水場が完成した。
- ・9月27日を市保健福祉デーと制定した。

10月

- ・御厨、坂西支所を廃止し、出張所とした。
- ・名草財産区10周年記念式が行われた。

◆東海道新幹線が営業を開始した。

◆第18回オリンピック大会が10日から24日まで東京で開催された。

11月

- ・公共下水道の工事を開始した。
- ・首都圏審議会から市街地開発地域に指定された。

1965年(昭和40年)

2月

- ・市民会館建設の地鎮祭を挙行了した。

◆日韓基本条約に仮調印した。

3月

- ・八木節が市の無形文化財に指定された。
- ・両毛食肉処理場が完成した。

4月

- ・暴力追放市民総決起大会を大日苑で開催した。

7月

- ・老人福祉センターが開所した。
- ・上水道第2水源、大前浄水場の通水式を行った。

9月

- ・市と国鉄共済の足利市民号が出発した。

10月

- ・西部ごみ焼却場が完成した。
- ・第1次振興計画を策定した。

11月

- ・両毛線電化工事の起工式が行われた。
- ・三和地区の電話が6局として足利市に編入された。

▶昭和38年6月・ライシャワー駐日米大使が来足した。



▼昭和39年3月に開通した渡良瀬橋沿いの歩道橋工事。



▼昭和40年4月4日・暴力追放市民総決起大会。



▲昭和39年ごろ・通二丁目交差点付近、高島屋前。

▶昭和40年11月・足利局が全国即時通話網に編入され、足利市長と札幌市長の間で記念通話が行われた。



1966年(昭和41年)

1月

- ・トリコット工業団地第1次造成計画が完了した。
- ・市営巴町駐車場が開業した。
- ・市内の一部地域が宅地造成規制区域に指定された。
- ・行政町名に宮北町が誕生した。

2月

- ・田中橋の建設が始まった。

3月

- ・田中町にトリコット文化センターが完成した。
- ・梁田保育所が完成した。

4月

- ・南公民館が落成した。
- ・三和中を坂西中に統合した。
- ・文化財愛護モデル地区に指定された。
- ・市民会館の上棟式が行われた。
- ・市役所に小型コンピューターを導入した。

5月

- ・野球協会結成20周年祝賀会が行われた。
- ・春日住宅団地の造成に着手した。

6月

- ・葉鹿町出身の金子正明さんが世界アマチュアレスリング大会で優勝した。
- ・台風4号のため大きな被害を受けた(雨量163ミリメートル、床上浸水98戸、床下浸水1,478戸、損害額2,200万円)

7月

- ・岩井橋が開通した。
- ・文化財愛護青少年隊発会式が大日苑で行われた。

8月

- ・足利工業高校定時制野球部が全国優勝した。
- ・市道吾妻線の改修が自衛隊により行われた。

9月

- ・市民会館が完成した。
- ・市議会が議員の定数を減らす条例を可決した。
- ・台風26号により大被害を受けた(風速30メートル、雨量152ミリメートル、重症3名、軽傷者6名、家屋の倒壊52戸、半壊41戸、床上浸水76戸、損害額2億3,200万円)
- ・田崎草雲70年法要が長林寺で行われた。

10月

- ・国民健康保険10周年記念式典を市民会館で開催した。
- ・自治会長連絡協議会の主催で、町内自治振興大会が

開催された。

- ・邑楽し尿処理場建設問題で、筑波千原田地区民が西邑楽組合の強行着工を実力阻止した。
- ・堀込滝の宮住宅団地の全計画が完了した。

11月

- ・国道50号バイパス期成同盟会が発足した。

12月

- ・毛野住宅団地の造成が開始された。

1967年(昭和42年)

1月

- ・西電話交換局『62局』が開局した。
- ・田中東部土地区画整理事業を開始した。

2月

- ・足利銀行本店が宇都宮に移転した。
- ・第2分団の詰所が落成した。
- ・坂西中の増築校舎が落成した。

3月

- ・愛宕台中の体育館が落成した。
- ・行政町名の勸農町を廃止し、新たに寿町、若草町が誕生した。
- ・毛野南部第一土地区画整理事業が竣工した。

4月

- ・小俣第二小が開校した。
- ・小俣こども館が開館した。
- ・足利工業大学(現足利大学)が開校した。

5月

- ・県内初の乳児保育所・若葉愛育園が開所した。
- ・草雲美術館の地鎮祭が行われた。

6月

- ・献穀米田植式が島田町、田沼政治氏方で行われた。

7月

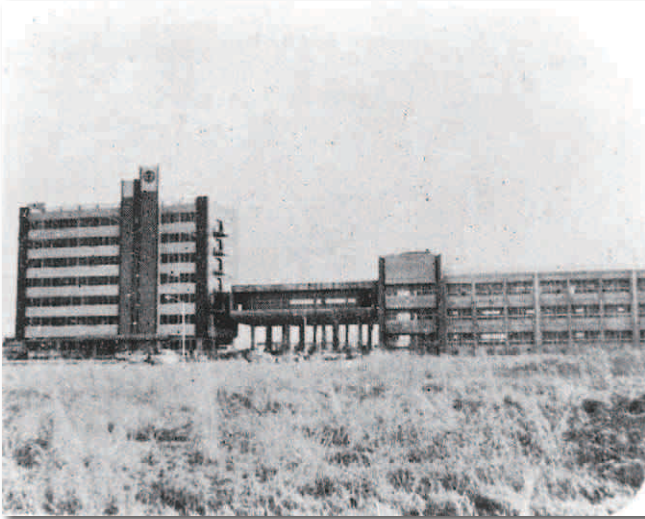
- ・中央商店街防災街区の造成が始まった。
- ・勤労青少年ホームが開館した。
- ・御厨小のプールが完成した。
- ・富田中と矢場川小のプールが完成した。

8月

- ・第5回関東7県対抗陸上競技大会が総合グラウンドで開催された。
- ・足利市内の電話が全部ダイヤル化し、相生局『4』、富田局『9』が開局した。

9月

- ・市民相談室を開設した。



◀昭和42年4月・私立足利工業大学が開校した。

▼昭和42年7月・勤労青少年ホーム開館。



▼昭和42年11月・皇太子殿下(現上皇陛下)が産業視察のためおいでになった。



▲勤労青少年ホームのラウンジ。



▲昭和41年9月・市民会館が落成した。

◀昭和40～50年代の移動図書館。

- ・ 献穀米の刈取式が行われた。
- ・ 公募による市政移動教室が開かれた。
- ・ 木工団地共同工場が御厨工業団地内に建設された。
- ・ 前市長木村浅七氏が名誉市民に推挙された。

10月

- ・ 市民交通傷害保険制度を実施した。
- ・ 御厨義民百年祭が行われた。
- ・ 消防署山辺分遣所の庁舎が落成した。

11月

- ・ 岩井分水路が完成した。
- ・ 葉鹿町出身の金子正明さんがアマチュアレスリング世界選手権大会で2年連続優勝した。
- ・ 地方自治法施行20周年記念式典で足利市と前市長木村浅七氏が自治大臣から表彰された。
- ・ 皇太子殿下(現上皇陛下)が産業視察のため来足された。
- ・ 防災街区造成、大型店舗化のトップを切って市で初のデパート、さくらやが通三丁目に開店した。市で初めてエスカレーターも導入した。
- ・ 自治大臣表彰祝賀、地方自治法施行20周年記念足利市自治振興大会を市民会館大ホールで開催した。
- ・ 電話交換局『7局』(無人交換局)が開局した。

1968年(昭和43年)

1月

- ・ 袋川跡地に公園や駐車場の造成を始めた。

2月

- ・ 工場火災、青酸カリ流出事件が起こった。

3月

- ・ 足利市共同職業訓練所が完成した。
- ・ 上水道第3次拡張事業と工業用水道第1期建設工事が完了した。
- ・ 足利織物会館が開館した。
- ・ 敬老年金制度が新設された。

4月

- ・ 足利市農業共済組合と御厨農業共済組合が合併した。
- ・ 市の行政機構を改革し、それに併せて参事、主幹、主査制度を実施した。
- ・ 助戸小、山辺小の改築工事が完成した。
- ・ 名草診療場が開所した。
- ・ 馬打林道が完成した。
- ・ 三和公民館が完成した。

5月

- ・ 草雲美術館が落成した。

6月

◆小笠原諸島が23年ぶりに返還された。

7月

- ・ 商工会議所が通四丁目から有楽町へ移転した。

8月

- ・ 初の町内座談会を開いた。

10月

- ・ 両毛線が全線電化し、東足利・西足利・三重・葉鹿の各無人駅が廃止された。
- ・ 葉鹿町出身の金子正明さんがメキシコオリンピック・レスリングフェザー級で金メダルを獲得した。
- ・ 市民交通傷害保険制度を県交通災害共済制度へ切りかえた。

- ・ 足利市体育協会20周年記念式が行われた。

◆明治百年記念式典が日本武道館で行われた。

11月

- ・ 自治体消防20周年記念式典が市民会館で行われた。
- ・ 初の足利市勤労者表彰が行われた。

12月

- ・ 足利駅前広場が完成した。

1969年(昭和44年)

2月

- ・ 協和中の体育館が完成した。
- ・ 両毛地域開発推進協議会が結成された。

3月

- ・ 大正町の消防本部庁舎が完成した。
- ・ 足利警察署庁舎(現市役所教育庁舎)が完成した。
- ・ 織姫排水路が完成した。
- ・ 東橋公園が完成した。
- ・ 西足利駅跡地に栄町児童公園が完成した。

4月

- ・ 昼間の二部定時制の県立足利女子高校西分校(昭和47年に県立西高校となる)が開校した。

5月

- ・ 足利バイパス(現国道50号)建設促進協議会が発足した。
- ・ 草雲美術館が開館した。
- ・ 西部学校給食共同調理場が完成し、市内の全小・中学校の完全給食が実現した。
- ・ 足利バイパス建設予定地の測量が始まった。
- ・ 初の消費生活モニターを委嘱した。

7月

- ・ 交通安全モデル地区(10町内)を指定し、町内ぐるみ



▲昭和44年10月・足利市自治会長連絡協議会結成10周年記念式典が行われた。

▼昭和43年7月・一部架け替え工事中の葉鹿橋。



◀昭和43年10月1日・両毛線が線増、電化された。

▶昭和43年11月・葉鹿町出身の金子正明選手がメキシコオリンピック、レスリングフェザー級で優勝し、市内パレードが行われた。



◀昭和44年・有料だったころの田中橋。

の交通事故防止を進めた。

・栃木県総合防災訓練が渡良瀬川中橋下流右岸を中心に行われた。

◆米国宇宙船アポロ11号が月面着陸に成功した。

8月

・五十部町の運動場兼競馬場が完成した。
・東山トンネルの工事が始まった。

9月

・第7分団の詰所(山下町)が完成した。
・雇用促進住宅が新宿町に完成した。

10月

・遺児手当の支給が実施された。
・足利市自治会長連絡協議会の結成10周年記念式典が開催された。

11月

・青少年育成会創立10周年記念式典が開催された。
・新都市計画法の公聴会が織物会館で開かれた。
・三和簡易水道の起工式が行われた。
・足利赤十字病院の新館が完成した。
・鉄工団地の起工式が行われた。

1970年(昭和45年)

1月

・田中橋が県下初の有料橋として開通した(昭和51年4月から無料となった)。

2月

・織姫公園の起工式が行われた。
・春日住宅団地の造成が完了した。
・坂西中の体育館が完成した。

3月

・西小と月谷分校の改築校舎、三重小の講堂兼体育館が完成した。
・山川こども館が完成した。
・梁田公民館が完成した。

4月

・東山トンネルが開通した。
・みなみ保育所が開所した。
・西小の校舎が完成した。

5月

・市制50周年記念式典を行った。
・市民憲章を制定した。
・『若者の町宣言』を行い、ヤングヤング大行進や若者の町の愛唱歌の募集など、各種行事が実施された。

7月

・錦町の住宅団地造成に着手した。

8月

・公害対策本部を設置した。
・行政町名に福富新町が誕生した。

9月

・近代足利市史編さん委員会が発足した。
・電話の市内局番が2ケタになった。

10月

・交通指導員を初委嘱した。

11月

・天王浄水場が完成した。
・第19分団の詰所(松田町)が完成した。
・第1回消費生活展が開かれた。

12月

・三和簡易水道が完成した。
・消防本部にはしご付き消防ポンプ自動車を配置した。

1971年(昭和46年)

1月

・羽刈工業団地の造成が終了した。

3月

・第2次振興計画を策定した。
・御厨小と第二中の校舎が完成した。
・大月小の講堂兼体育館が完成した。
・久保田工業団地の造成が完了した。
・毛野第2住宅団地の造成が開始された。
・葉鹿保育所が新築移転した。
・荒金工業団地の造成が終了した。
・足利駅南土地区画整理事業を開始した。

4月

・昭和通りに市内初の横断地下道が作られた。
・行政町名に伊勢一丁目～三丁目が誕生した。

5月

・10年年金の支給が開始された。
・初の技能奨励賞の贈呈式が行われた。
・足利駅前土地区画整理事業が竣工した。

7月

・五十部運動公園のプールがオープンした。
・軟式野球場のナイター設備が完成した。
・協和中のプールが完成した。

8月

◆ニクソン・ドルショックが起こる。



◀▼昭和46年5月・9年間にわたる駅前土地区画整理事業が竣工した。



▼昭和45年6月・大月助戸工業団地の造成が完了した(写真は昭和50年)。



▲昭和45年当時の市議会。この頃の議場は現在の本庁舎別館にあった。



◀昭和46年・本市を代表する産業のひとつ、トリコットの縫製風景。

▶昭和46年4月・市内で初めての地下道が昭和通りにつくられた。



9月

- ・小俣公民館が完成した。

10月

- ・国に先がけ、老人医療費助成制度を新設した。
- ・田中東部土地区画整理事業が竣工した。

12月

- ・中央商店街防災建築街造成工事が完了した。
- ・名草中の校舎が完成した。
- ・野田団地の造成が開始された。

1972年(昭和47年)

2月

- ◆冬季オリンピックが札幌で開催された。

3月

- ・足利学校の学校門復元工事が完成した。
- ・御厨小、毛野小、第二中の校舎が完成した。
- ・筑波小の講堂兼体育館が完成した。
- ・久野公民館が完成した。
- ・東部学校給食共同調理場が完成した。
- ・勤労青少年体育センターが完成した。
- ・第9分団の詰所(名草中町)が完成した。
- ・通七丁目切り通しの拡幅工事が完成した。
- ・上水道第4次拡張工事が完了した。

4月

- ・消防署南分署を開設した。
- ・機動係を新設した。
- ・八幡こども館が開館した。
- ・朝倉跨線橋が開通した。

6月

- ・老人ホーム『福寿荘』の改築工事が完成した。

7月

- ・住民登録人口が16万人を超えた。
- ・小俣小と坂西中のプールが完成した。
- ・足利バイパスの新設工事の起工式が行われた。

9月

- ・八坂工業団地の造成が完了した。

10月

- ・乳児医療費の無料化を実施した。
- ・毛野第2住宅団地の造成が完了した。

11月

- ・新松田川橋が開通した。

12月

- ・市役所新庁舎の起工式を行った。

- ・江川利保土地区画整理事業が開始された。

1973年(昭和48年)

1月

- ・毛野小の校舎が完成した。
- ・山辺東部土地区画整理事業を開始した。

2月

- ・三重小の校舎が完成した。
- ・問屋団地の第1期工事が完成した。

3月

- ・御厨小の講堂兼体育館が完成した。
- ・錦町に交通教育センターが完成した。
- ・御厨公民館が完成した。
- ・野田団地の造成が完了した。

4月

- ・南小が開校した。
- ・両毛地区広域市町村圏事務組合が設立された。
- ・市政テレホンガイドを開設した。

5月

- ・栃木放送足利放送局が開局した。
- ・初の市政モニターを委嘱した。

7月

- ・大月小のプールが完成した。
- ・第1回市政に関する提言集会が開かれた。

9月

- ・初の郷土芸能大会が行われた。
- ・鑿阿寺楼門、太鼓橋の修復工事が完了した。

10月

- ・織姫公園の一部を開園した。
- ・人生記念植樹の第1回植樹式を行った。
- ・下水道の終末処理場(のちの水処理センター)の起工式を行った。
- ・御厨工業団地の造成が完了した。

- ◆ドルショックで株価が暴落した。

11月

- ・久野保育所が開所した。

12月

- ・足利学校聖廟の修復工事が完成した。
- ・第14分団の詰所(久保田町)が完成した。

1974年(昭和49年)

3月

- ・北郷小、南小、三和小の校舎が完成した。



◀昭和47年1月・自動車排出ガス公害に対応するため、排出ガス測定装置が織姫公民館前に設置された。

▶昭和48年10月・御厨工業団地の造成が完了した。手前は問屋団地(写真は昭和50年)。



◀昭和47年4月・開通した朝倉跨線橋。



▲昭和46年7月・五十部運動公園にプールを開設した。



◀昭和49年8月・老人福祉バス『長寿号』が運行を開始した。

- ・久野小の講堂兼体育館が完成した。
- ・福居保育所が完成した。
- ・筑波公民館が完成した。
- ・毛野南部第2土地区画整理事業を開始した。

4月

- ・新庁舎の開庁式を行った。
- ・市の機構改革で6部34課となった。
- ・市役所に電送ファクスが新設された。
- ・上水道第5次拡張事業を開始した。
- ・印鑑登録証明制度を実施した。併せて地区公民館を充実し、出張所を連絡所に改めた。
- ・行政町名に間屋町が誕生した。
- ・行政町名に毛野新町一丁目～四丁目が誕生した。

6月

- ・初のオリエンテーリング大会が行われた。

7月

- ・山前小の校舎が完成した。
- ・南小のプール、小俣第二小と北郷小、月谷分校にミニプールが完成した。

8月

- ・老人福祉バス『長寿号』が運行を開始した。

9月

- ・市民会館別館が完成した。
- ・名誉市民木村浅七氏をたたえるため、市役所正面玄関に顕徳像が建てられた。
- ・市の木に『かえで』市の花に『つつじ』を制定した。
- ・教育庁舎(現本庁舎別館)の改造工事が完成した。
- ・総合運動場に弓道場が完成した。
- ・新庁舎の落成式を行った。

- ・市内初の自転車専用レーンが設置された。

11月

- ・足利バイパスの一部が仮開通した。

1975年(昭和50年)

1月

- ・三重小の校舎と、南小の講堂兼体育館が完成した。
- ・水道庁舎の改造工事が完成した。
- ・経済変動緊急対策会議を新設した。
- ・西部ごみ焼却場の建設に着手した。

2月

- ・錦町住宅団地が完成した。(11棟272戸)
- ・東部清掃事業所に総合脱臭装置が新設された。

3月

- ・小俣小、山前小、柳原小の校舎が完成した。
- ・きた保育所が完成した。
- ・山前公民館が完成した。
- ・近代的な母子寮が完成した。

4月

- ・消防署西分署を開設した。
- ・栃木放送で『足利市民の時間』の放送を開始した。

5月

- ・西幸楽荘が完成した。

6月

- ・浩宮さま(現天皇陛下)が地理研究会の春の見学会で足利市においてになった。
- ・柳原小、毛野中、北郷中のプールが完成した。

7月

- ・県消費生活センター県南支所がオープンした。

◆沖縄国際海洋博が開催された。

8月

- ・行道山浄因寺境内が県の名勝に指定された。

9月

- ・足利市緑化推進協議会が発足した。

11月

- ・栗田美術館が開館した。

12月

- ・足利バイパスが暫定2車線で全線開通した。
- ・柳原歩道橋が完成した。
- ・葉鹿熊野土地区画整理事業が開始された。

1976年(昭和51年)

1月

- ・梁田小の講堂兼体育館が完成した。
- ・毛野第1団地の造成が完了した。

2月

- ・西中の校舎が完成した。

3月

- ・柳原小、相生小、小俣小の校舎が完成した。
- ・千歳町団地が完成した。(2棟40戸)
- ・市民生活環境基準を策定した。
- ・柳原小の講堂兼体育館が完成した。
- ・泗水学園の園舎が完成した。

4月

- ・県立足利南高校が開校した。
- ・田中橋が無料になった。
- ・織姫公園が完成した。

▼昭和50年2月・錦町市営住宅団地の造成が完了した。



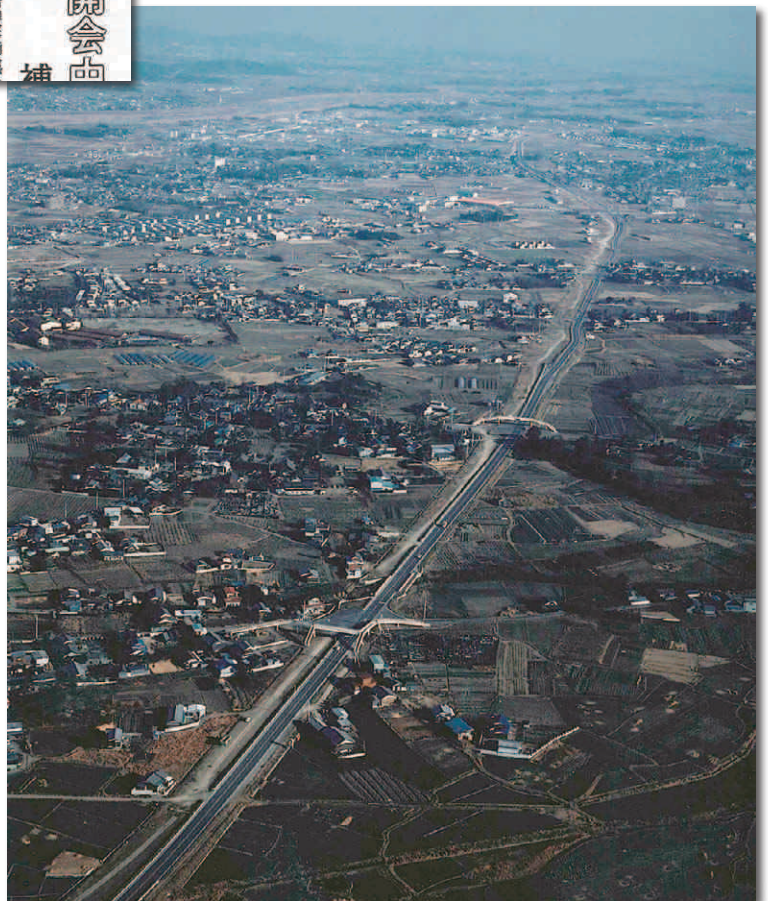
▲昭和51年11月より指定袋によるごみの収集が開始された。

◀昭和49年10月1日号のあしかがみ。



▼昭和50年12月・新国道50号(足利バイパス)が暫定2車線で全線開通した。

▼昭和51年9月・急増するごみに対応するため、西部清掃事業所が大前町に完成した。当時、ごみ焼却の余熱を利用したお湯が、隣接する西幸楽荘に供給されていた。



- ・三重保育所が開所した。
- ・しんまち保育園が開所した。
- ・香典返し辞退運動が実施された。

5月

- ・夜間救急診療所が開設された。
- ・大月小の校舎が完成した。
- ・知事を囲んで県政を語る会が開かれた。
- ・都市総合交通規制が実施された。

6月

- ・第3次足利市振興計画(基本構想)を策定した。

8月

- ・野外趣味活動施設『足利サンフィールド』がオープンした。

9月

- ・西部ごみ焼却場焼却炉の改修が完成した。

10月

- ・母子家庭医療費の無料化を実施した。
- ・ごみ非常事態宣言を行った。

11月

- ・指定袋によるごみ収集を開始した。
- ・斎場が完成した。
- ・都市緑化モデル事業に着手した。
- ・第16分団の詰所(葉鹿町)が完成した。
- ・赤松台住宅団地造成が開始された。

12月

- ・市民体育館の起工式を行った。

1977年(昭和52年)

1月

- ・山前小、三和小の講堂兼体育館が完成した。

2月

- ・公設地方卸売市場が開場した。
- ・行政町名に小俣南町が誕生した。

3月

- ・市内の3農協が合併し、1農協となった。
- ・柳原小、御厨小、相生小、毛野中の校舎が完成した。
- ・大月・助戸工業団地の造成が完了した。
- ・小俣町に白髭浄水場が完成した。

4月

- ・市役所に市民資料室が開設された。
- ・足利バイパスが国道50号となり、これまでの国道50号が県道桐生岩舟線になった。
- ・大前保育所が開所した。

- ・市道大月大沼田線が開通した。

- ・伊勢町跨道橋が開通した。

5月

- ・巴町駐車場が立体化した。
- ・市道町田水源池線が開通した。

6月

- ・健康相談110番を開設した。

7月

- ・第1下水処理場(水処理センター)が供用を開始した。
- ・阿字ヶ浦に『足利市海の家』を開設した。

8月

- ・第35回国民体育大会足利市準備委員会が発足した。

9月

- ・朝倉運動場が完成した。

10月

- ・東武鉄道高架事業が開始された。

11月

- ・地方自治法30年記念行事が行われた。

12月

- ・渡良瀬運動公園が完成した。
- ・田中西部土地区画整理事業を開始した。

1978年(昭和53年)

2月

- ・名草中に体育館(市立で13番目)が完成した。

3月

- ・市営新山団地が完成した。(9棟210戸)
- ・赤松台住宅団地の造成が完了した。
- ・南部第2学校給食共同調理場が完成した。
- ・相生小の増改築工事が完成した。

4月

- ・山辺中、松田小の校舎が完成した。
- ・毛野浄水場が完成した。
- ・赤松台浄化センターがオープンした。

4月

- ・小俣公民館南分館がオープンした。
- ・名草保育所(市立14番目)を開所した。
- ・毛野南小(26番目)が開校した。
- ・城の腰駐車場(旧袋川上)が開設された。
- ・行政町名に赤松台一丁目、赤松台二丁目誕生した。

5月

- ・第35回国体『栃の葉国体』足利市実行委員会が発足した。
- ・市民体育館が完成し、記念行事として日中交歓卓球



◀昭和53年3月に造成を完了した新山市営住宅団地。

▼昭和53年5月、市民体育館が落成した。



▶昭和53年7月・全足利が全国都市対抗野球大会(後楽園)に初出場し、約4千人の市民がスタンドから声援を送った。



▼昭和52年開通当時の市道大月大沼田線。通称自衛隊道路。



▶昭和53年11月の赤松台住宅団地。

大会(足利大会)が開催された。

- ・筑波小が完成した。

6月

・関東高校レスリング大会(国体リハーサル大会)が開催された。

- ・足利市産業展が開催された。

7月

- ・日中友好足利市各界代表团(第1回)が訪中した。
- ・全足利が全国都市対抗野球大会に初出場した。

8月

- ・サイクリング道路『袋川自転車道』が開通した。
- ・特色あるまちづくり推進研究会が発足した。

10月

- ・第13分団の詰所(小曾根町)が完成した。

1979年(昭和54年)

1月

- ・三笠通り駐車場が完成した。

2月

- ・松田小の講堂兼体育館が完成した。
- ・八幡町に市営住宅(1棟30戸)が建設された。
- ・『栃の葉国体』足利市民運動推進協議会が発足した。

3月

- ・矢場川小、葉鹿小(1期分)、山辺中の校舎が完成した。
- ・富田中の移転新築校舎が完成した。
- ・板倉保育所の移転改築工事が完成した。
- ・身障者福祉バス『あおぞら号』の運行が開始された。
- ・毛野南小の講堂兼体育館が完成した。
- ・足利市街地開発組合が解散した。

4月

- ・火災報知機が廃止された。
- ・わたらせ保育所(市立15番目)が開所した。
- ・足利短期大学が開校した。
- ・『伝統的文化都市環境保存地区整備事業』の都市に指定された。

5月

- ・勤労身障者スポーツセンターがオープンした。
- ・初の『市民と市長の対話の日』が設けられた。

7月

- ・日中友好足利市各界代表团が訪中した。
- ・関東1都6県の連合水防演習が行われた。

8月

- ・富田中に体育館が完成し、市内全中学校への設置が

完了した。

10月

- ・米飯給食を開始した。
- ・南部第3学校給食共同調理場が完成した。
- ・西暦2000年を目標にした『緑のマスタープラン』づくりのための研修会を開催した。

11月

- ・あずま地下道が開通した。
- ・利保橋が開通した。

1980年(昭和55年)

1月

- ・福富町の市営住宅が完成した。
- ・全日本総合団体卓球選手権大会(国体リハーサル大会)が開催された。

2月

- ・葉鹿小(2期分)が完成した。

3月

- ・松田保育所の増改築工事が完了した。
- ・林業振興センター(巨石荘)が完成した。
- ・山辺中の校舎が完成した。
- ・三重公民館移転改築工事が完了した。
- ・助戸小の校舎が完成した。

4月

- ・総合福祉センターが開館した。
- ・大橋小(市立27番目)が開校した。
- ・県知事の認許可事務の一部が市に委譲された。
- ・市道三重小俣線が開通した。
- ・小俣第二小の校舎が完成した。
- ・日中友好足利市各界代表团が訪中した。
- ・伊勢地下道が開通した。
- ・川崎橋が開通した。
- ・県立足利図書館が開館した。

5月

- ・市民総ぐるみクリーン運動が開始された。
- ・足利市ボランティア連絡協議会が結成された。

6月

- ・両毛駅前線(グランド通り)を整備、拡幅した。

7月

- ・東武鉄道高架線が開通した。
- ・足利駅南土地区画整理事業が竣工した。
- ・『栃の葉国体』100日前市民のつどいが開催された。
- ・渡良瀬川にこどもつり場が開場した。

▶昭和55年4月・新松田川橋から小俣公民館の南まで直進する、市道三重小俣線が開通した。



▼高架になる前の足利市駅。



◀昭和55年7月・延長2.98キロの東武鉄道高架線が開通した。



▼昭和55年10月・栃の葉国体が開催され、本市ではラグビー、卓球、レスリングが行われた。

▼昭和54年11月・足利駅南土地区画整理事業の一環として、足利駅の東、伊勢町四丁目地内に、両毛線の下を南北に結ぶ『あずま地下道』が開通した。



・渡良瀬川左岸の新しい堤防護岸(階段式)工事が一部が完成した。

8月

・第1回足利市長杯選抜ソフトボール大会が開催された。
・山前プール(西部清掃事業所内)が完成した。

9月

・伝統的文化都市環境保存地区整備事業(鑿阿寺外周と足利学校入口付近)が行われた。

10月

・第35回国民体育大会『栃木国体“栃の葉国体”』が開催され、足利市でラグビー、卓球、レスリングの3種目が行われた。

・足利駅南口が開設された。
・足利駅前自転車駐車場が開場した。
・市民体育館前の地下道が開通した。
・『栃の葉国体』炬火(ひらくあしたの火)の採火式が足利学校で行われた。

・秩父宮妃殿下が国体視察においでになった。
・消防訓練塔が完成した。

11月

・研修センター(現市民プラザ別館)が開館した。

1981年(昭和56年)

1月

・『足利市の教育目標』を策定した。

2月

・足利市総合会館(市民プラザ)の一部(総合会館・勤労婦人・勤労福祉の各センター)が開館した。
・勤労者文化祭を開催した。
・江川利保土地区画整理事業が竣工した。

3月

・南部ごみ焼却場の建設に着手した。
・千歳町に市営住宅が完成した。
・北郷小月谷分校が完成した。
・行政町名に江川町一丁目～三丁目、利保町一丁目誕生した。

4月

・機構改革を行い、市の組織を10部48課とした。
・『市民の消費生活をまもる条例』が公布された。
・保健センターが開館した。
・南幸楽荘が開館した。

5月

・市制施行60周年記念式典を行った。

・市有施設の『一日施設長』を市民に委嘱した。

・足利競馬場内にポニーランドを開設した。

・大日苑の外濠に子供たちがひ鯉や錦鯉を放流した。

・国体記念市民運動推進協議会が発足した。

・足利市日中友好協会の事務所が、水道庁舎内に開設された。

9月

・足利市民文化賞を創設した。
・足利市産業振興貢献企業表彰制度を新設した。
・織姫公民館が通六丁目に完成した。

11月

・第1回尊氏公まつりが行われた。
・借宿緑地が完成した。

12月

・(財)足利市民文化財団が設立された。
・ブルガリア人民共和国副首相が来足した。

1982年(昭和57年)

1月

・(社)シルバー人材センターが設立された。
・足利市駅南側にバスターミナルが完成した。
・(財)足利市民文化財団の事業が開始された。

2月

・新居善太郎氏が名誉市民に推挙された。

3月

・東小が永楽町に移転した。
・両毛線足利駅前にパーキングメーターが設置された。
・御厨公民館にふるさと資料館が完成した。
・毛野公民館が完成した。
・水道創設50周年の記念式典を行った。
・国道50号に植木野高架橋、只上高架橋が完成した。
・南部浄水場が完成した。

4月

・名誉市民故木村浅七氏の市民葬が行われた。
・鎌倉市と姉妹都市を締結した。
・公益質屋が廃止された。

6月

・県下初の教育訪中団の結団式が行われた。
◆東北新幹線が開業した。

8月

・観光用に利用する自転車を商店などに設置した。

9月

・足利市教育訪中団を派遣した。



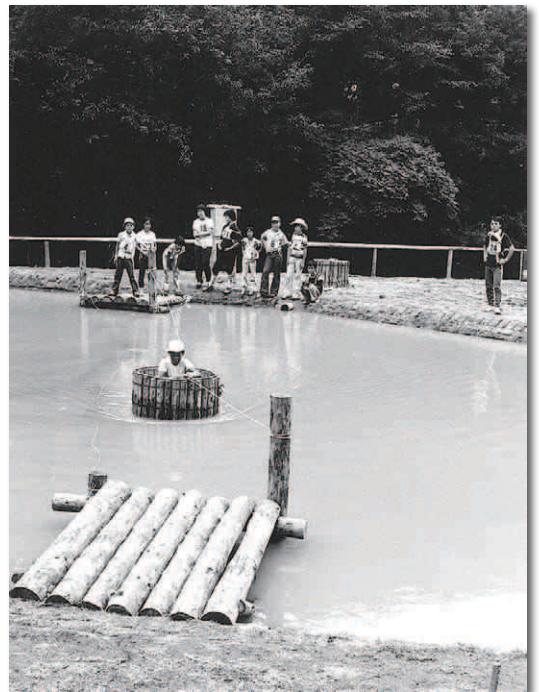
◀昭和54年当時の通二丁目スクランブル
交差点の様子。

▶昭和55年・ヤングヤング大行進。

▼昭和55年・市内で開催された国体の
ラグビーの様子。



▼昭和40～50年代・子どもたちで賑わう足利
サンフィールド。



- ・県南流通センターが完成した。
- 10月
- ・葉鹿熊野土地区画整理事業が竣工した。
- ・ボランティア通訳登録制度が創設された。
- ・都市緑化基金賞を受賞した。
- ・行政町名に葉鹿町一丁目、葉鹿二丁目が生じた。

- 11月
- ・市民プラザの文化ホールが開館した。
- ・中国友好まつりが開催された。
- ・市民愛唱歌『われらのまちに』を制定した(平成23年4月から市歌)。

- 12月
- ・緑化推進都市を宣言した。

1983年(昭和58年)

- 1月
- ・足利市建築文化賞を創設した。
- 2月
- ◆老人保健法が施行された。
- ・聴覚が不自由な人に、電話ミニファクスが設置された。
- ・第11分団の詰所(里矢場町)が完成した。
- 3月
- ・西小の特別教室棟が完成した。
- ・水処理センターの第二系列工事が完了した。
- ・国道50号に八木高架橋が完成した。
- ・葉鹿公民館が完成した。
- ・緑橋右岸西部土地区画整理事業を開始した。
- 4月
- ・(財)足利市緑化推進協議会が設立された。
- ・ねたきり老人介護者援護事業がスタートした。
- ・福祉タクシー制度が新設された。
- ・有料の家庭奉仕員の派遣を始めた。
- ・北郷中と名草中を統合して北中が開校した。
- 6月
- ・南部清掃工場(現南部クリーンセンター)が稼働し、6年9カ月ぶりにごみ非常事態宣言が解除された。
- ・両毛5市水道災害相互応援協定の調印式が行われた。
- ・資源ごみ集団回収事業の奨励金制度がスタートした。
- 7月
- ・セミナーハウス(旧名草中)が開館した。
- ・初の外国人の英語指導助手が来足した。
- 8月
- ・両毛5市市長会議(第1回)が開催された。

◆金融機関が土曜休業になった。

- ・東武足利市駅構内に観光物産展示場が設置された。
- ・足利市に在住する外国人が国民健康保険に加入できるように条例を改正した。

- 10月
- ・足利市行政改革推進調査会が設置された。
- ・足利市農業研修センターが完成した。

1984年(昭和59年)

- 1月
- ・足利市建築文化賞の表彰式(第1回)を行った。
- ・第19分団(小俣)の詰所(小俣町)が完成した。
- 2月
- ・名誉市民故新居善太郎氏の追悼式が行われた。
- ・江川利保第二土地区画整理事業が開始された。
- ・日本リーグ・バレーボール男子足利大会が行われた。
- 3月
- ・小俣駅前に自転車駐車が完成した。
- 4月
- ・西幸楽荘が新装開館した。
- 5月
- ・大岩町に『少年の砦』を開いた。
- 6月
- ・両毛5市教育長会議(第1回)が開催された。
- ・『広報あしかがみ』創刊800号記念広報展を開催した。
- 7月
- ・じゃぶじゃぶ池が仮オープンした。

◆'84栃木博が開催された

- 8月
- ・緑橋左岸土地区画整理事業を開始した。
- 9月
- ・中国山東省済寧市と友好都市を締結した。
- ・栃木総合防災訓練が渡良瀬川で行われた。
- 10月
- ・元足利市長故長竹寅治氏の合同葬が行われた。
- ・市民スポーツ賞の表彰式(第1回)が行われた。
- 11月
- ・うるおいのあるまちづくり優良地方公共団体として、自治大臣から表彰された。
- ・協和中の移転新築工事が完成した。
- ・市街地再開発ビル『フェースA』が完成した。
- 12月
- ・鏝阿寺経堂が国の重要文化財に指定された。

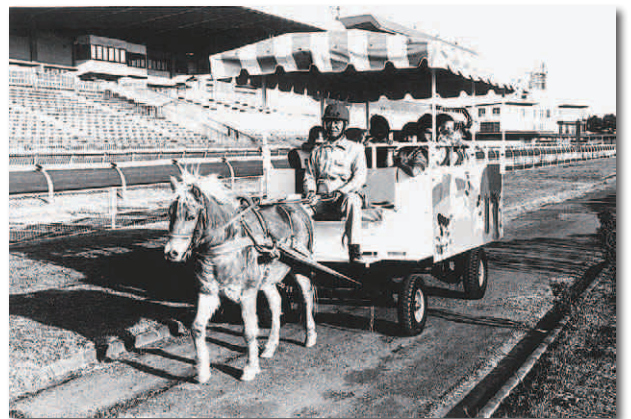


◀昭和40～50年代・当時流行していたゲートボール。

▼昭和50～60年代のヤングヤング大行進。



▲▶昭和50年代後半・競馬場の場外売場と競馬場内馬車。



▲昭和60年代・足利市駅周辺整備の様子。

▼昭和50年代後半・足利商業高校の卒業式。



1985年(昭和60年)

2月

- ・足利学校前に観光駐車場が開場した。

3月

- ・コミュニティー道路(本城一・二丁目)が完成した。
- ・東武足利市駅の北口広場が完成した。
- ・名草公民館が完成した。

◆つくば科学万博が開催された。

4月

- ・大日大門通りの石畳改修工事が完成した。
- ・県立足利中央養護学校が大月町に開校した。
- ・県立足利西高校が大前町に開校した。
- ・ボランティア活動指導者等賠償責任保険が創設された。

◆NTT、日本たばこ産業(株)が民営化でスタートした。

5月

- ・(財)足利市緑化推進協会が内閣総理大臣賞を受賞した。

6月

- ・新嘗祭献穀行事が西場町の保足氏方で行われた。
- ・月谷町に一般廃棄物最終処分場が完成した。

7月

- ・災害に備えて両毛5市の水道配水管が接続された。

9月

- ・農業研修センターに運動場広場が完成した。
- ・名草中町配水場が完成した。
- ・国際青年年を記念して、シンポジウムなどが開かれた。

10月

- ・足利薪能が始まった。
- ・坂西中に初の格技場が完成した。
- ・『足利氏の歴史展』が県立博物館で開催された。
- ・足利市婦人問題懇話会が発足した。
- ・県南流通センターに貨物自動車ターミナルが開かれた。
- ・中橋通り東沿道型土地区画整理事業を開始した。

11月

- ・山下町に地域福祉会館(隣保館)を開いた。
- ・国の『まちづくり特別対策事業』に足利生き生きタウン事業が決まった。

12月

- ・足利市第4次振興計画を策定した。

1986年(昭和61年)

1月

- ・助戸公民館本館を開館した。
- ・斎場に受付棟が完成した。

3月

- ・『婦人のための足利市総合計画』が策定された。
- ・第5分団の詰所(田中町)が完成した。

4月

- ・栃木県南地域地場産業振興センターが開館した。

5月

- ・自治大臣表彰『うるおいのあるまちづくり』受賞を記念し、東武足利市駅北口広場にブロンズ像『茉莉花』が設置された。

- ・田崎草雲宅の画室、茶室が改修された。

◆東京サミットが開催された

8月

- ・足利競馬場に無料休憩所が完成した。
- ・台風10号で道路冠水や床上浸水などの被害が出た。

10月

- ・寺岡町と佐野市を結ぶ寺並橋が開通した。
- ・ナショナルトラスト全国大会が開催された。

11月

- ・全国足利氏ゆかりの会(41団体)が設立された。
- ・足利市青年のつどい(第1回)が開催された。

1987年(昭和62年)

1月

- ・足利七福神めぐりが48年ぶりに再現された。

3月

- ・足利競馬場南に五十部堤防線が開通した。
- ・足利市と田沼町の共同負担による公営バスが、東武足利市駅～(入名草)～飛駒間で運行を開始した。
- ・助戸公民館に、旧木村織物工場の建物を利用したホール棟と織物記念館が開館した。
- ・西部ごみ焼却場が休止となった。
- ・北郷公民館が利保町に移築され、開館した。
- ・国道50号の堀込高架橋が開通した。
- ・樺崎工業団地の造成が完了した。

4月

- ・鎌倉市との姉妹都市締結5周年を記念して、特別列車『鎌倉訪問足利市民号』が運行された。

◆国鉄が分割民営化された

5月

- ・県道桐生岩舟線(伊勢町一～通三丁目)に、路上駐車方式のパーキングチケットが設置された。

7月

- ・総合運動場内の市営プールが改修された。



◀昭和60年・月谷町に一般廃棄物最終処分場が完成した。

▶昭和60年代・鑿阿寺の南側で開かれたインポートバザールの様子。



◀昭和60年代のじゃぶじゃぶ池



◀昭和61年5月・足利市駅北口女神像除幕式



▲じゃぶじゃぶ池となりのサイクルランド。

9月

・田崎草雲の90回忌法要と記念特別展が開催された。

11月

・名誉市民故新居善太郎氏の頌徳像が、織姫山山頂に建てられた。

12月

・自動血圧計が、市役所市民ホールと保健センターに設置された。

1988年(昭和63年)

3月

・小俣町と松田町を結ぶ『猪子トンネル』が開通した。

・デイ・サービスが清明苑(大月町)で開始された。

・岩井分水路に『サイクルランド』を開いた。

・足利競馬場にローラースケート場が完成した。

4月

・寝たきり老人などの介護者への激励金支給が始まった。

・中小企業で働く人を対象に北関東初の『足利市勤労者福祉共済会』が発足した。

・渡良瀬河川公園中橋緑地の多目的広場、催し物広場が一部使用開始となった。

・県消費生活センター県南支所の業務が市に移管され、トリコット会館内に消費生活センターが開所した。

・小俣上野田土地区画整理事業が開始された。

5月

・通一・三丁目に『からくり時計』が設置された。

・総合運動場の硬式野球場が改修された。

・JR足利駅の開業100年を祝い市民の集いが行われた。

・両毛5市などで組織する『両毛地域東武鉄道沿線開発推進協議会』が発足した。

・オーストラリア・ブリスベンボーイズカレッジチームが来足し、市内の高校選抜とラグビー親善試合を行った。

7月

・市に『情報化推進協議会』『大学誘致・充実促進協議会』が設置された。

9月

◆食と緑の博覧会『イトピアとちぎ'88』が開催された。

10月

・情報公開制度がスタートした。

・健康・体力づくり事業で、総務庁長官賞を受賞した。

・第10分団の詰所(駒場町)が完成した。

11月

・『福寿橋』の工事安全祈願式が行われた。

・寺岡町に富田高架橋が開通した。

・足利市社会事業協会の設立60周年記念式典が行われた。

12月

・史跡足利学校跡の建物復元工事が始まった。

1989年(昭和64年、平成元年)

1月

◆天皇崩御に伴い、年号が昭和から平成に変わった。

・通一・二丁目の『誇れる街づくり事業』(上半期分)が完成した。

・成人式が各地区ごとに開催された。

・山前小に学校食堂が完成した。

3月

・葉鹿跨線橋が開通した。

・足利尊氏ゆかりの『白糸威妻取大鎧』の複製が完成した。

・南幸楽荘に高齢者多目的スポーツ施設が完成した。

・富田公民館が完成した。

・特別養護老人ホーム麗日荘(田中町)に、デイサービスセンターが開館した。

・ニューメディアフェアが開催された。

4月

◆消費税が導入された。

・土曜閉庁(毎月第2・第4)が始まった。

・消費生活センターがトリコット会館からフェースA内に移転した。

・市民武道館の建設に着手した。

・草雲美術館開館20周年記念式典が行われた。

5月

・市制70周年記念事業実行委員会が設置された。

6月

・北関東自動車道のルートが公表され、菅田町にインターチェンジの設置が決まった。

・ふるさと創生事業として、市民公募をもとに『尊氏像・孔子像』の設置が決まった。

7月

・『足利学校・ばん阿寺参道の街なみ修景』が、国の手づくり郷土賞を受賞した。

・痴呆性老人デイ・ホームわかばが小俣町に開設した。

・迫間湿地シンポジウムが開催された。

9月

・消防緊急情報システムの運用を開始した。

10月

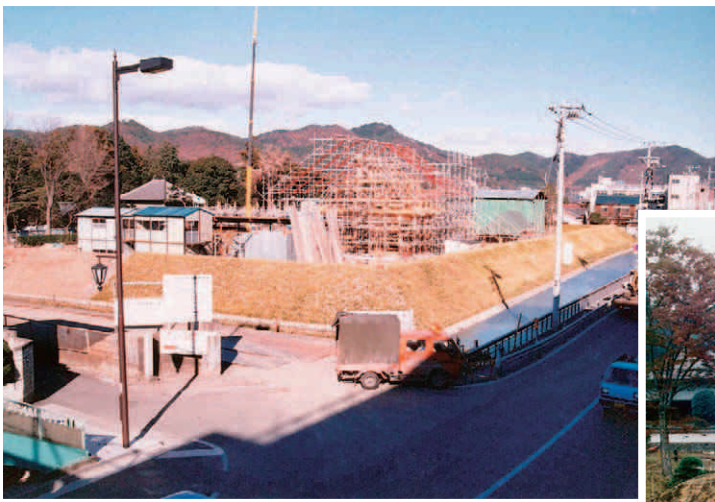
・旧木村輸出織物工場(現助戸公民館の一部)が県の有

▼平成元年・イトーヨーカ堂での火災訓練。



▲平成元年・足利さわやか健康マラソン大会

▶平成元年・足利まつりで賑わう通二丁目付近の様子。



◀▼復元中の足利学校。



形文化財に指定された。

- ・教育委員長に初の女性が就任した。
- ・樺崎八幡宮本殿(樺崎町)が修復された。

11月

- ・済寧市(中国)との友好都市締結5周年を記念し、雑技芸術団の公演や孔府料理賞味会、物産展が開催された。

◆東西ドイツの壁が取り壊された。

12月

- ・(仮称)足利ゴルフ練習場の工事安全祈願祭が行われた。

1990年(平成2年)

1月

- ・渡良瀬橋の改修工事が始まった。
- ・越床トンネルの新設など、国道293号の整備に向けて調査が始まった。

2月

- ・市制70周年記念事業のイメージマスコットに『あゆみくん』が決まった。

3月

- ・平和都市を宣言した。
- ・第12分団の詰所(島田町)が完成した。

4月

- ・市民武道館が完成した。
- ・足利公設卸売市場内に、県内初の『花き市場』がオープンした。
- ・東武足利市駅構内に足利観光案内所を開設した。

5月

- ・市制70年記念式典を行った。

6月

- ・南公民館を廃止し、矢場川公民館を開館した。
- ・市制70年を記念して、中橋と鑢阿寺楼門のライトアップを開始した。
- ・地場産センターで開催したイベント『夢広場あしかが'90』で、産業展を開催した。
- ・リフト付きタクシーの運行を開始した。

7月

- ・市制70年・水道創設60年を記念して水道モニュメント・冷水機5機を市内に設置した。
- ・渡良瀬河川公園中橋緑地が、国の『手づくり郷土賞』を受賞した。

9月

- ・NHK大河ドラマ『太平記』のオープンセットが完成し、撮影が始まった。

- ・ゆとり都市を宣言した。

10月

- ・川崎ゴルフ練習場が開場した。
- ・アメリカ合衆国イリノイ州スプリングフィールド市と姉妹都市を締結した。
- ・生涯学習奨励賞を創設した。
- ・『太平記』オープンセットの一般公開を開始した。

11月

- ・足利学校中興550年を記念して、『上杉憲実公顕彰碑』を建立した。

12月

- ・史跡足利学校の復元工事が完成、一般公開を開始した。
- ・大日東土地区画整理事業を開始した。

1991年(平成3年)

1月

- ・市民投票で足利百景を選定した(1位は足利花火大会)。
- ・山辺東部土地区画整理事業が竣工した。

◆湾岸戦争がはじまった。

2月

- ・東武鉄道が伊勢崎線に新型車両(200系)を配備した。

3月

- ・第4次足利振興計画中期基本計画を策定した。
- ・八坂第二工業団地の造成が完了した。
- ・ふるさと創生事業で尊氏公像と孔子像を設置した。
- ・第1分団の詰所(緑町一丁目)が完成した。

4月

- ・渡良瀬河川敷に足利渡良瀬ゴルフ場が完成した。

6月

- ・平成5年に開かれる全国高等学校総合体育大会の足利市準備委員会が設立された。

7月

◆歩道の段差解消など、体の不自由な方やお年寄りにやさしいまちづくりが始まった。

8月

- ・通二丁目で『中橋ハイツ』の建設工事が始まった。
- ・毛野東部工業団地の造成が完了した。

9月

- ・中学生12人を姉妹都市のアメリカ・スプリングフィールド市へ派遣した。
- ・国民健康保険の加入者で1年間医療機関にかからなかった世帯を健康優良家庭として表彰した。



▲平成2年4月・武道館が完成した。



▲平成2年5月・足利市駅構内に設置された観光案内所。



◀平成2年10月・川崎ゴルフ場オープン。

▶平成3年4月・織姫山から望む街並み。



◀平成4年4月・レンゲ畑で遊ぶ子どもたち。

10月

- ・小俣上野田土地区画整理事業が竣工した。
- ・市民公募による初の足利市民友好訪米団を派遣した。

12月

- ・太平記オープンセットの公開が終了した(入場者102万人)。

◆ソビエト連邦が解体した。

1992年(平成4年)

3月

- ・第8分団の詰所(利保町)が完成した。

4月

- ・市民課などの窓口を低いカウンターに改善した。
- ・新緑橋が完成した。
- ・65歳以上の方に『いきいきパスポート』を発行した。
- ・鎌倉市と姉妹都市締結10周年を迎えた。

6月

- ・外国人相談(スペイン語、ポルトガル語など)を開始した。

7月

- ・足利市国際交流協会が発足した。
- ・市役所の土曜閉庁が始まった。

8月

- ・両毛地区広域都市圏総合整備推進協議会が設立された。
- ・足利市ごみ問題懇談会が、ごみの減量・資源化のあり方について提言した。

10月

- ・行政町名に八幡町一丁目～三丁目、朝倉町二丁目・三丁目が誕生した。
- ・工事中の松田川ダムで定礎式が行われた。
- ・体力づくり優秀組織として、足利市が内閣総理大臣賞を受賞した。

12月

- ・足利市坂西団地水処理センターが完成した。

1993年(平成5年)

1月

- ・足利の観光拠点として『太平記館』が開館した。
- ・足利の夕景を歌った歌手・森高千里さんの『渡良瀬橋』がヒットし、全国的に有名になった。

◆EUが発足した。

2月

- ・松田町に簡易保険総合レクリエーションセンターの

設置が決定された。

3月

- ・国道50号の4車線化が完成した。
- ・中川浄水場が完成した。

4月

- ・斎場に式場棟と待合棟を増設した。
- ・三和公民館が完成した。

6月

- ・公害防止に重点をおいた東部クリーンセンターが完成した。
- ・ごみの減量化・再資源化の推進のため、廃棄物減量等推進員制度を創設した。

7月

- ・花火大会が会場を田中橋下流に移して行われた。

8月

- ・全国高等学校総合体育大会でレスリング・男子バレーボールが足利市を会場に行われた。
- ・世界の名器といわれるピアノ『ベーゼンドルファー』を市民プラザに設置した。
- ・八柵東部土地区画整理事業が開始された。

9月

- ・美術館つきの住宅『中橋ハイツ』が完成し、入居を開始した。
- ・高齢者向け公営住宅『シルバーハウジング』の建設が始まった。
- ・中学生と市長との対話『ヤングサミット』を行った。

10月

- ・消防本部に地震計を設置した。

11月

- ・毛野東部工業団地に足利金属団地が完成し、操業が始まった。
- ・史跡足利学校所蔵品の特別展示を行った。

12月

- ・納税推進都市を宣言した。
- ・第14分団の詰所(久保田町)が完成した。

1994年(平成6年)

1月

- ・市立美術館のシンボルに近代フランス彫刻界の巨匠・マイヨールの『着衣のポモナ』を設置した(市民文化財団が寄贈)。

2月

- ・足利環状線に新梶川橋が開通した。

▼NHK大河ドラマ『太平記』の撮影風景と一般公開の様子。▼



▲平成4年7月・通二丁目の七夕飾り。



◀平成5年・コンピューター授業の様子。

・山川町JR両毛線立体交差が完成した。

3月

・福寿大橋と高橋大橋が開通した。

4月

・市立美術館が開館、開館記念特別展を行った。

・田中町の雇用促進住宅の建設が始まった。

5月

・国道293号で、越床トンネルの貫通式が行われた。

7月

・北幸楽荘の建設が始まった。

8月

・125年ぶりに足利学校の庠主に中村元さんが就任した。

・『市長への手紙』を開設した。

・助戸公民館で日曜窓口サービスを開始した。

・山辺西部第一土地区画整理事業を開始した。

9月

・済寧市(中国)と友好都市締結10周年を迎え、記念植樹などが行われた。

10月

・平成6年度都市景観大賞の都市景観100選(建設大臣賞)に『足利学校、鏝阿寺周辺地区』が選定された。

・水処理センターに汚泥焼却施設が完成した。

11月

・ひとりぐらし老人のための『緊急通報システム』が始まった。

12月

・いきいきハイツ江川の入居が始まった。

・消防本部に高規格救急車を配置した。

・第18分団の詰所(松田町)が完成した。

1995年(平成7年)

1月

◆阪神・淡路大震災が起こった。

2月

・渡良瀬川横断公共下水道幹線が完成し、通水式を行った。

・小学校に空き缶圧縮機を設置した。

・緑橋右岸西部土地区画整理事業が竣工した。

3月

・公共下水道が南部の一部地域に供用を開始した。

・総合運動場の整備基本計画をまとめた。

4月

・両毛広域都市圏で公共施設の相互利用を開始した。

6月

・交通安全都市を宣言した。

7月

・行政町名に借宿町一丁目が誕生した。

・15年ぶりに緑陰図書館が復活した。

9月

・やすらぎハウス(北幸楽荘)が完成した。

・保育所と児童館を併設した梁田児童センターがオープンした。

・(仮)渡良瀬ウォーターパークの整備計画をまとめた。

10月

・生活路線バスの運行を開始した。

・第10回国民文化祭・とちぎ95が開催された。

・堀里ニュータウンの宅地分譲を開始した。

・姉妹都市締結5周年を記念して『スプリングフィールド市ジャズ訪日団』が来訪した。

11月

・松田川ダムが完成した。

・全国孔子廟サミットが開催された。

12月

・第5次足利市振興計画『ニュー足利創造プラン』を策定した。

・中橋通り東沿道型土地区画整理事業が竣工した。

・第19分団(松田)の詰所(松田町)が完成した。

1996年(平成8年)

4月

・空き缶等のポイ捨て防止に関する条例を施行した。

・足利市と佐野市を結ぶ越床トンネルが開通した。

・半透明か透明のごみ袋の使用が義務付けられた。

・足利市エンゼルプラン(緊急保育対策等5カ年事業計画)をまとめた。

・市民ホールコンサートを開始した。

・小中学生を対象に、文化施設と体育施設の無料化を実施した。

・北郷小月谷分校を廃止した。

7月

・まつだ湖畔キャンプ場を開場した。

・簡易保健総合レクリエーションセンター建設予定地に温泉が湧出した。

8月

・第1回両毛地区中学生サミットを開催した。

10月

・ごみの分別方法を3種5分別から5種12分別に変更



◀平成7年・小学校空き缶圧縮機貸与式。



▲平成7年・生活路線バスと乗降客。



◀平成8年・開通した越床トンネル。

▼平成8年10月・天皇后(現上皇皇后)両陛下とベルギー国王皇太子が来足した。



▼平成8年・松田町に設置されていた温泉スタンド。



▶平成8年・現在も太平記館で行われている観光八木節の実演の様子。



した。

・天皇皇后(現上皇皇后)両陛下がベルギーのアルベール2世国王(当時)夫妻・皇太子殿下(現国王陛下)とともに訪問された。

・足利学校で曝書が行われた。

11月

・美術館南地下道が開通した。
・足利学校で初めての『楷の木コンサート』を開催した。
・葉鹿橋左岸土地区画整理事業が開始された。

12月

・環境都市を宣言した。
・第6分団の詰所(五十部町)が完成した。

1997年(平成9年)

1月

・山辺中に武道館が完成した。
・あがた工業団地の造成が完了した。

2月

・八柵東部土地区画整理事業が竣工した。

3月

・簡易保健総合レクリエーションセンター建設予定地に温泉スタンドを設置した。

・上松田地区水道未普及地域解消事業が完了し、全市域が給水可能となった。

・シルバー人材センター活動施設が完成した。

・田中西部土地区画整理事業が竣工した。

4月

・小俣小と小俣第二小を統合した。
・足利市行政手続条例を施行した。
・織姫公園レストラン棟をリニューアルオープンした。

6月

・市長へのファクス通信が始まった。
・足利学校を会場に、漢字能力検定試験が開始された。

7月

・両毛5市災害応援協定を締結した。
・松田川ダムふれあい広場を開場した。

8月

・姉妹都市締結15周年を記念して、わたらせ・サマーフェスタに鎌倉市の市民ジャズグループが出演した。

9月

・足利市公式ホームページを開設した。

10月

・住民票等自動交付機を設置した。

・西部複合施設(足利西プラザ)の建設が始まった。

・山川ふれあいセンターが完成した。

・古沢巖ヴァイオリンの夜 in 足利学校を開催した。

12月

・第15分団の詰所(福富町)が完成した。

1998年(平成10年)

1月

・足利学校を会場に百人一首大会を開催した。

2月

◆長野冬期オリンピックが開催された。

3月

・足利市都市景観形成基本計画を策定した。
・行政町名に利保二丁目・三丁目、江川町四丁目、田島町一丁目誕生した。

・毛野南部第2土地区画整理事業が竣工した。

4月

・旧小俣第二小をふるさと学習・資料館とした。

5月

・大月小に屋内運動場が完成した。
・北関東自動車道全線事業化記念中心杭打ち式が行われた。

6月

・行政町名に常見町一丁目～三丁目誕生した。

7月

・足利渡良瀬ウオーターパークをプレオープンした。

8月

・まつだ湖に噴水が完成した。

9月

・田崎草雲没後100年記念事業を行った。
・西幸楽荘と多目的スポーツ施設が完成した。

10月

・足利ケーブルテレビ(現わたらせテレビ)が開局した。
・山辺西部第二土地区画整理事業を開始した。

12月

・江川利保第二土地区画整理事業が竣工した。
・第2分団の詰所(助戸三丁目)が完成した。

1999年(平成11年)

1月

・総合窓口化に向けて、市民課窓口業務を拡大した。

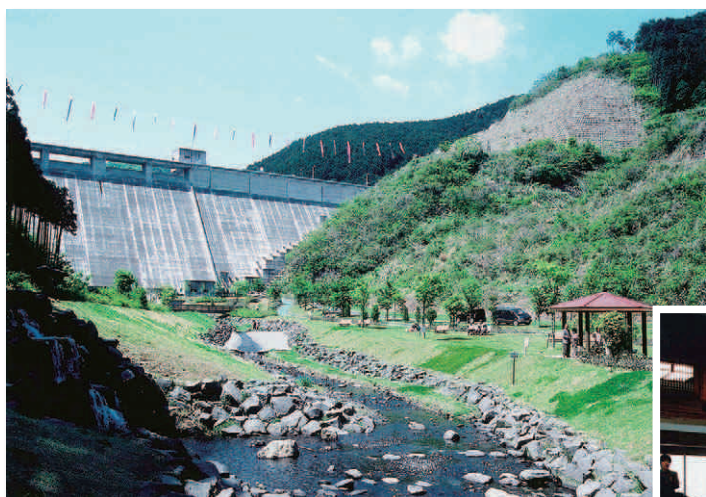
2月

・市立美術館開館5周年記念『ロダン展』を実施した。

▶平成10年7月・渡良瀬ウォーターパーク



▲平成10年1月・雪化粧の足利学校



▲平成11年撮影・松田川ダムふれあい広場



▲平成11年4月・総合運動場ウォーキングコース



▶平成11年11月・百人一首かるた

3月

- ・地域振興券を発行した。
- ・福祉都市を宣言した。
- ・足利学校応援団が設置された。
- ・中部クリーンセンターを廃止した。
- ・陸上競技場を第2種競技場として全面改修した。

4月

- ・みなみ保育所を新しく開所した。

5月

- ・草雲美術館30周年記念展を開催した。

7月

- ・小俣最終処分場が完成した。
- ・足利渡良瀬ウオーターパークを開場した。
- ・毛野中の屋内運動場が完成した。

8月

- ・旧警察署を教育庁舎として、市役所の事務室の一部を移転した。
- ・栃木県と足利市の総合防災訓練が行われた。

10月

- ・東幸楽荘の建設工事が始まった。

12月

- ・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結15周年記念式典・祝賀会を開催した。

2000年(平成12年)

2月

- ・市民から募集した足利市制80周年記念キャッチコピーが『新世紀 拓く足利 夢・未来』に決定した。

3月

- ・渡良瀬グリーンプラザが完成した。
- ・高齢者福祉施策をまとめた『足利市ゴールドプラン21』を策定した。
- ・足利市環境基本計画を策定した。
- ・久野公民館を新しく開館した。
- ・第3分団の詰所(八柵町)が完成した。

4月

- ・介護保険制度がスタートした。
- ・通学区域再編成により小学校8校(柳原、東、相生、大橋、助戸、千歳、三和、松田)を廃止し、新に5校(けやき、青葉、東山、桜、坂西北)が誕生した。

◆チャイルドシートの着用が義務付けられた。

- ・スプリングフィールド市との姉妹都市締結10周年を記念して『スプリングフィールド市展』を開催した。

- ・平成13年度に実施する市制80周年記念事業(8事業)を選定した。

5月

- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結10周年を記念し、祝賀会と両市内の大学の姉妹校締結調印式を行った。

6月

- ・歴史都市を宣言した。

7月

- ・市民公募により足利市制80周年イメージマスコット『アッシーパル』が決定した。

9月

- ・東幸楽荘を開場した。

◆全国都市緑化とちぎフェアが宇都宮市と壬生町で開催された。

10月

- ・シドニー五輪で銀メダルを受賞した女子ソフトボールチームで活躍した白鷗大学足利高校出身の4選手に、足利市スポーツ特別賞を贈呈した。

2001年(平成13年)

1月

- ・史跡足利学校庠主に前田専學さんが就任した。
- ・ニュー足利創造プラン(第5次足利市振興計画)基本構想を見直し、後期基本計画を策定した。
- ・樺崎寺跡が国指定史跡となった。

2月

- ・毎週木・金曜日に窓口業務を午後7時まで延長した。
- ・第17分団の詰所(小俣町)が完成した。

3月

- ・両毛地区市町村圏事務組合が解散した。

4月

- ・河南消防署が開署した。
- ・通学区域再編成により西小を廃止した。

6月

- ・『日本最古の学校・足利学校 心の学校全国絵手紙展』を開催した。
- ・前市長 故・早川一夫氏の市葬が行われた。

10月

- ・市民大学あしかが学校を開校した。
- ・80周年記念事業として桜の植樹を行った。
- ・市民の意見を反映させる市民会議が発足、活動を開始した。



◀平成15年3月・にしこども館

▶平成15年3月・足利まちなか遊学館



◀平成15年4月・毛野小学校



▶平成15年8月・第19回全日本還暦軟式野球大会の開会式の様子。



▼平成12年10月・足利市スポーツ特別賞授賞式。



・公募議員による『市制80周年記念事業足利市女性議会』を開催した。

11月

・市制施行80周年記念式典を開催した。

2002年(平成14年)

1月

・足利市国際交流協会が総務大臣賞を受賞した。

2月

・市立美術館で『相田みつを展』を実施した。

・緑橋左岸土地区画整理事業が竣工した。

・富田中に特別教室棟が完成した。

3月

・御厨公民館が新しく完成した。

・東武足利市駅北口に『風車のモニュメント』が完成した。

・第4分団の詰所(八幡町三丁目)が完成した。

4月

・男女共同参画センターを開所した。

・社会福祉協議会と社会事業協会が合併した。

5月

・織姫相生小学校通り(北仲通り)改修工事が竣工した。

・日本女子ソフトボール1部リーグが本市で開催された。

・梁田小の屋内運動場が完成した。

・足利市シルバー人材センター設立20周年記念式典が開催された。

6月

・企業誘致1万社リストアップ作戦が始まった。

・日本一の三名所バスラッピングが完成した。

7月

・地域振興整備公団足利開発所が開設された。

・市立美術館足利ゆかりの作家支援事業制度が始まった。

・台風6号の影響で出たごみの一斉清掃を行った。

・足利市初の女性農業委員が選出された。

・生き街工房αが通二丁目に開かれた。

8月

・足利市と鎌倉市の姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。

・住民基本台帳ネットワークシステムが稼働した。

・足利県立自然公園と三名所が遊歩百選に選ばれた。

10月

・個人情報保護制度を開始した。

・デザインの日記念事業が本市で開催された。

11月

・総合型地域スポーツクラブ第1号として三重スポーツクラブが設立された。

・市民活動センターが開所した。

・足利学校職員の着物での対応が始まった。

2003年(平成15年)

1月

・市の南部を走る生活路線バス『みなみ号』が運行を開始した。

2月

・ISO9001の認証を取得した。

・富田中の新校舎と特別教室棟が完成した。

・高校生デュオ『いっしょ』が足利市文化特別賞を受賞した。

3月

・春日市営住宅1号棟が完成した。

・東武足利市駅前と市役所前に河川情報表示版が設置された。

・足利市インキュベーションオフィスA-BOXの入居が始まった。

・足利市営競馬が53年の歴史に幕を閉じた。

・足利まちなか遊学館が開館した。

・小俣公民館・にしこども館の複合施設が完成した。

・新しい葉鹿橋が完成し、開通式を行った。

4月

・市立美術館に郷土作家コーナーを新設した。

5月

・小学校で音楽教室出前講座を開催した。

8月

・足利学校の参観者が300万人に突破した。

・パブリック・コメント第1号を募集した。

・全国高校生ボランティア・リーダーズ・サミット2003が開催された。

・『足利英会話教育特区』の認定を受けた。

9月

・全日本還暦軟式野球大会が開催された。

・旧東小の温水プールを一般開放した。

2004年(平成16年)

1月

・意見提案制度(パブリックコメント)を活用した初めての条例が施行された。



◀平成15年・あしが競馬が終了した。

▶平成15年・史跡足利学校の参観者が300万人となった。



◀平成14年8月・足利市鎌倉市姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。



▶平成16年3月・太平記館がリニューアルオープンした。



◀平成16年11月・西部複合施設にウォーキングコースが完成した。

2月

・安心して子育てができるように、あしかがファミリー・サポート・センターが組織された。

3月

・太平記館がリニューアルオープンした。
・葉鹿橋左岸土地区画整理事業により、新町名『葉鹿南町』ができた。
・大久保分校が130年の歴史に幕を閉じ、閉校した。

4月

・新しくなった毛野小で授業が始まった。
・英会話教育特区認定を受け、小学校のモデル校で英会話学習が始まった。

5月

・中心市街地空き店舗対策事業により、音楽・生活文化教室が開かれた。
・あしかが歴史街道ウォークが開催された。

6月

・あしかが産学官連携推進センターが設立された。
・高齢者元気アップ事業が始まった。

8月

・足利工業大学、上智大学と『生涯学習によるまちづくりに関する覚書』を締結した。

9月

・草雲美術館35周年を記念して『田崎草雲と下野の文人画』特別展が開催された。
・市立美術館開館10周年記念『足利学校展』を開催した。

10月

・葉鹿橋左岸土地区画整理事業が竣工した。
・新潟県中越地震が発生し、本市から水道部の給水車と消防隊員などが救援に向かった。

11月

・西部複合施設にウォーキングコースが完成した。
・市立美術館開館10周年を記念して、『鏝阿寺の宝物展』が開催された。
・観光情報などを紹介する足利市メールマガジンの配信を開始した。
・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結20周年記念式典・祝賀会を開催した。

2005年(平成17年)

2月

・大日西土地区画整理事業を開始した。

3月

・天然のミネラル分を豊富に含んだ『足利の自然水』の販売が始まった。

4月

・小学校の英会話学習が市内全校で始まった。
・中央消防署東分署が開署した。

5月

・中央土地区画整理事業を開始した。
・商工会議所が通三丁目の旧足利銀行足利支店に移転した。

7月

・とうこうコミュニティーセンターが開所した。

9月

・市立美術館で『足利銘仙の黄金時代展』を開催した。
・足利尊氏公生誕700年記念事業『足利薪能』で、尊氏公時代の芸能『田楽風流』が上演された。
・足利尊氏公生誕700年を記念し、演劇工房DON-DE Nによる歴史ドラマ『義兼』が上演された。

10月

・葉鹿保育所と板倉保育所を統合廃止し、新たににし保育所を開設した。

11月

・足利尊氏公生誕700年を記念し、足利氏ゆかりの地ウォークラリー、足利氏ゆかりの地パネルディスカッション・記念講演会、足利そば祭りなどのイベントを開催した。

2006年(平成18年)

1月

・姉妹都市締結15周年を記念して、『足利市日本料理紹介訪米団』がスプリングフィールド市を訪問した。

2月

・市街地活性化の拠点として、足利商工会議所の友愛会館が開館した。
・戸籍事務の電算化を開始した。

3月

・第5次行政改革大綱を作成した。
・足利尊氏公生誕700年記念事業として臨済宗相国寺派・江上泰山さんの特別講演会を開催した。
・西久保田工業団地の造成が完了した。

・足利インター・ビジネスパークの造成が完了した。

4月

・第6次足利市総合計画『あしかが輝きプラン』を策定した。



◀平成17年5月・通三丁目に移転した足利商工会議所。

▼平成17年4月・山辺公民館ホール棟が完成した。



▼平成17年4月・山前公民館が移転・完成した。



▲平成17年4月・にし保育所が完成した。



▲平成18年4月・北の郷農産物直売所がオープンした。

▼平成17年11月・第1回足利そば祭りを開催した。



◀▼平成18年7月・トマトフェスティバルを開催した。



- ・指定管理者による市有施設の運営が始まった。
- ・Eメールでの消防防災情報の提供サービスを始めた。
- ・火災・救急・救助などに迅速に対応する『高機能消防指令センター』の運用が始まった。
- ・新たな介護予防サービスを提供する『地域包括支援センター』を開設した。
- ・樺崎町に『北の郷農産物直売所』が開かれた。

5月

- ・体験型観光施設として『藏風土』が開館した。
- ・いちごの収穫体験ができる『いちごフェスティバル』を開催した。
- ・2000本安打を達成した足利工業高校出身の石井琢朗さん(当時横浜ベイスターズ)に『足利市スポーツ特別賞』を贈った。

6月

- ・旧相生小を改修し、生涯学習センターを開設した。

7月

- ・トマトの収穫体験ができる『トマトフェスティバル』を開催した。
- ・藤本観音山古墳が国指定史跡となった。

8月

- ・本市で全日本クラブ野球選手権が開催され、創部50周年を迎えた全足利クラブが出場した。

10月

- ・『五代目堀込源太会』が18年度民謡民舞全国大会で初出場・初優勝を飾った。

2007年(平成19年)

1月

- ・七丁目交番が通四丁目に移転し『織姫交番』となった。
- ・『大阪国際女子マラソン』で、山辺中出身の原裕美子さん(当時京セラ)が2時間23分48秒で優勝した。

2月

- ・足利産トマトといちごの需要拡大を図るため、東京都卸売市場葛西市場でトップセールスを行った。

3月

- ・地産地消の推進をめざし『第1回農林業まつり』を開催した。
- ・差し押さえ品のインターネット公売を開始した。
- ・『災害対応特殊屈折はしご車』を導入した。
- ・第7分団の詰所(山下町)が完成した。

4月

- ・足利商業高校と足利西高校が統合して、県立足利清

風高校が開校した。

- ・副市長制が導入され、助役・収入役が廃止された。
- ・小児夜間救急診療が足利赤十字病院内で開始された。
- ・市内全小・中学校で、論語の素読を授業に取り入れた。
- ・『渡良瀬橋』の歌碑が建立された。
- ・鎌倉市と姉妹都市締結25周年を迎えた。

5月

- ・市内観光スポットを巡る2種類の無料回遊バス『ひよこバス』『ぐるワンバス』が運行された。

8月

- ・市職員全員による市税の訪問徴収を開始した。
- ・足利市公設地方卸売市場開設30周年記念式典を開催した。

9月

- ・世界遺産登録の暫定リスト入りを目指し、『足利学校と足利氏の遺産』を文化庁に申請した。
- ・遊休農地の有効活用などを図るため『市民農園』を開設した。

10月

- ・『全国足利氏ゆかりの会』の陳情などにより京都時代祭に初めて『室町時代列』が登場した。

11月

- ・30回目を迎えた『足利尊氏公マラソン大会』が開催された。
- ・『釋奠』が、市から史跡足利学校釋奠保存委員会に移管され行われた。

12月

- ・大月町のサンヨー電機工場跡地に『あしかがハーヴェストプレイス』がオープンした(平成26年6月から『アシコタウンあしかが』)。

2008年(平成20年)

2月

- ・県道飛駒・足利線『名草下バイパス』が開通した。
- ・県道松田・葉鹿線『板倉バイパス』が全線開通した。

4月

- ・燃やせるごみの減量化に向けごみ袋の有料指定袋制を導入した。
- ・廃食用油から作られるバイオディーゼル燃料で走る給食配送車を1台導入した。

5月

- ・『足利・名草ふるさと自然塾運営協議会』が正式に発足し、各種事業を展開した。



◀平成19年の足利インタービジネスパーク。

▼渡良瀬橋歌碑。



▲平成19年3月・第1回農林業まつりの様子。

▼平成20年8月・白鷗大足利高校が甲子園に出場した。



▼平成20年7月・松田川ダムのエコアート。



・国史跡樺崎寺跡の保存整備第1期工事が完了し、3つの建物の基壇遺構を整備した。

・足利市地域福祉計画を策定した。

6月

・本市から流出した運慶作『木像大日如来坐像』が東京国立博物館で一般公開された。

7月

・ドイツ人アーティストのクラウス・ダオヴェン氏による松田川ダムの巨大なエコアートが完成した。

8月

・ふるさと足利応援寄付金がスタートした。

・白鷗大足利高校が甲子園に出場した。(足利工業高校以来21年ぶり)

・北京五輪に白鷗大足利高校出身の染谷美佳さん(ソフトボール・金メダル)と協和中出身の杉町マハウさん(400mハードル・ブラジル代表)が出場した。

10月

・国道293号線拡幅に伴い、児童養護施設『泗水学園』が移転した。

2009年(平成21年)

5月

・栗田美術館とあしかがフラワーパークの連絡を向上させる『市道大久保町87号線(迫間地下道)』が開通した。

6月

・足利学校の参観者が400万人を突破した。

・『足利事件』で釈放された菅谷利和さんが市役所を訪問した。

・新足利赤十字病院の建設工事が始まった。

7月

・国指定重要文化財の鑱阿寺本堂の75年ぶりの大修理が行われた。

8月

・『全国小学生ABCバトミントン大会』(小学3・4年生の部)で青葉小4年生の高橋明日香さんが優勝した。

9月

・世界的オカリナ奏者・宗次郎さんによる『癒しの鑱阿寺コンサート』が開催された。

10月

・市役所窓口を平日夜7時まで延長した。

・市の事業について必要性があるかどうかなどを公開の場で議論する『事業仕分け』を実施した。

・『第22回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレ

クみやざき2009)』(ゲートボール)で足利新和会が初優勝した。

・『世界ジュニア柔道選手権』(フランス・パリ)44キロ級で白鷗大足利高校の蓬田智佳さんが優勝した。

・友好都市締結25周年を記念して『日中友好足利市民訪中団』が済寧市へ訪問し、記念式典に参加した。

11月

・足利尊氏公マラソン大会に原裕美子さんが参加した。

・地元企業・学校などが参加した足利5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)学校が出発式が開催された。

・皇居外苑で行われた『天皇陛下即位二十年をお祝いする国民歳典』に足利八木節連合会が栃木県代表として参加した。

12月

・渡良瀬河川敷でバルーン・フェスタが開催された。

2010年(平成22年)

1月

・市役所庁舎内および市有施設などの飲料自動販売機設置の入札を実施した。

2月

・家庭用廃食用油の拠点回収を開始した。

3月

・足利学校で初めて『全国論語素読の集い』を開催し、『論語のまち・足利』を全国に発信した。

・ごみ収集運搬業者の選定に一般競争入札を導入した。

4月

・指定ごみ袋を値下げした。

・足利市観光大使に落語家・三遊亭歌橘さん、タレント・勝俣州和さんを任命した。

・市内の繊維メーカー『セイホウ』の製造した靴下が、宇宙飛行士・山崎直子さんとともに宇宙に行った。

・こども医療費の助成対象を中学3年生まで拡大した。

5月

・築150年と言われる市内の民家を移築・復元した『名草ふるさと交流館』が開館した。

6月

・市役所庁舎内を全面禁煙にした。

7月

・記録的猛暑が続いたため、市有施設で『打ち水大作戦』を実施した。

・市イメージキャラクター『たかうじ君』が誕生した。



◀平成22年2月・家庭用廃食用油の拠点回収を開始した。



▶平成22年5月・おいわアスレチックフェスの様子。



▲平成22年5月・浅間山からの展望。日本赤十字病院の建設中の様子がうかがえる。



▲平成23年4月・上空から撮影したまちなみ。



▲平成22年9月・史跡足利学校の曝書。

▼平成23年9月・草雲美術館とヒガンバナ。



◀平成22年11月・もみじ谷。

▼平成22年11月・栗田美術館で開かれた足利グルメグランプリ。



8月

- ・萌えキャラ『足利ひめたま』が誕生した。
- ・市公式ツイッターの運用を開始した。
- ・市内の豊富なハイキングコースを紹介した『足利市ハイキングマップ』を作成・配布した。

9月

- ・市内でロケが行われた映画『君に届け』が一斉公開された。
- ・小学6年生の女子児童に、子宮頸がん予防接種費全額補助を開始した。

10月

- ・パスポート(旅券)の申請窓口が市役所に開設された。
- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。

11月

- ・足利秋まつりで『足利グルメグランプリ』を開催した。

2011年(平成23年)

1月

- ・市制施行90周年を迎えた。
- ・『第6次足利市行政改革大綱実施計画』を策定した。

3月

◆11日、東日本大震災が発生した。

- ・北関東開通フェスタが震災の影響で中止となった。
- ・北関東自動車道足利インターが開通し、これにより全線開通となった。
- ・福島県からの震災避難民を名草セミナーハウスと北幸楽荘へ受け入れた(約130名)。

4月

- ・第一中、愛宕台中、富田中を小規模特認校とし、土曜日授業を開始した。
- ・『広報あしかがみ』を月1回の発行に変更した。
- ・市制90周年を機に、これまでの愛唱歌『われらのまちに』を市歌に変更した。
- ・水道給水開始80周年を迎えた。
- ・足利市観光大使に本市出身のタレント・手島優さんを委嘱した。
- ・市制90周年記念事業として『足利文芸賞』を募集した。

5月

◆北海道泊原発3号機が運転を停止し、国内の原発50基がすべて運転を停止した。

- ・世界的バイオリニストの五嶋みどりさんが南小で演奏会を開催し、演奏指導も行った。

- ・名草ふるさと交流館を拠点に『里山フェスタ』、『里山ウオーク』が開催された。

- ・市歌継承式及び5Sキックオフを開催した。

- ・震災の影響で延期となっていた『第2回全国論語素読の集い』が足利学校で開催された。

7月

- ・新足利赤十字病院が開院した。これに伴い足利市休日夜間急患診療所・足利市薬局施設が併設された。

- ・コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)内に行政サービスセンターを開所した。

- ・生活路線バスの実証運行を開始した。

8月

- ・市議会議場で青少年議会(高校生議会)が開催された。
- ・NHK巡回ラジオ体操大会が陸上競技場で開催された。
- ・第27回全国小学生陸上交流大会男子400メートルリレーで栃木県代表の足利陸上教室チームが優勝し日本一に輝いた。

10月

- ・生涯学習センターに放送大学栃木学習センター足利学舎が開設された。

- ・NHKのど自慢足利大会が市民会館大ホールで開催された。

- ・市制90周年記念足利市生涯学習振興大会・論語に親しむ会が開催された。

11月

- ・第3回『全国論語素読の集い』が開催された。

- ・市制90周年記念式典を開催し、これに併せて『足利文芸賞』の受賞者を発表した。

12月

- ・国際ソロプチミストと足利ベンチャークラブの寄付による旧足利市歌を刻んだ歌碑が市役所前に設置された。

- ・大分県日田市長が孔子廟を視察した。

- ・足利学校の参観者を8年後の2019年度までに倍増する『足利学校参観者倍増計画』を策定した。

2012年(平成24年)

1月

- ・市立美術館で『没後20年 足利が生んだ心の詩人 相田みつを特別展』を開催した。

2月

- ・足利学校が、一般社団法人世界孔子協会から『孔子教育賞』を受賞した。



◀▼平成23年・新足利赤十字病院



▶平成23年・北関東自動車道足利インターチェンジ付近の上空からの様子。



▼平成23年8月・ラジオ体操



▼平成23年10月・のど自慢大会



▲平成23年4月・織姫公園の藤

3月

- ・論語の普及と『論語のまち足利』を全国に発信するため、『足利学校・全国論語研究会』を設立した。
- ・第9分団の詰所(名草中町)が完成した。

4月

- ・鎌倉市と姉妹都市締結30周年を迎えた。
- ・足利学校に市外の方を案内すると参観料を割引く『足利学校市民総コンシェルジュ運動』を開始した。
- ・電力需給問題に対する地方からの取り組みとして、『創電』『節電』『蓄電』からなる『足利市民総発電所構想』を開始した。

5月

- ・道の駅候補地を瑞穂野町地内に選定した。
- ・日本で25年ぶりの金環日食を市内でも観測した。
- ・東京スカイツリーが開業した。併設する商業施設・東京ソラマチに栃木県アンテナ店『とちまるショップ』がオープンし、足利市の名産品も店頭に並んだ。
- ・中橋北交差点に大型土のうを積むなど、渡良瀬川溢水を想定した初の実践的な訓練を実施した。

6月

- ・フィンランド駐日大使が足利学校、鏝阿寺を視察した。
- ・旧競馬場跡地の芝生植え付け作業をボランティアで実施、2日間で1千人が参加した。

7月

- ・市条例により工業団地などの緑地面積率を大幅に緩和し、新たな工業用地を創出した。
- ・セブンイレブンで住民票などの証明書発行サービスを開始した。
- ・『足利市民総発電所構想』の一環として、太陽光発電事業者への市有施設の屋根貸し事業の公募を開始した。
- ・県道足利館林線野田バイパスが開通した。
- ・ロンドン五輪開幕。足利工業高校出身の齋川哲克さんがレスリング・グレコローマンスタイル96キログ級に出場した。
- ・市内初のパークゴルフ場が渡良瀬川河川敷借宿緑地(中川町)にオープンした。

8月

- ・友好都市を締結している済寧市(中国)の小学生45人が市内に滞在。市内の小学生と交流を深めた。
- ・姉妹都市締結30周年を記念して、わたらせ・サマー・フェスタに鎌倉市の市民ジャズグループが出演した。
- ・第1回論語検定(論語吟味)を開催した。
- ・足利市経済活性化諮問会議が経済活性化に向けて

230項目を提言した。

9月

- ・陸前高田市の小学生の修学旅行を受け入れ、農業体験や論語の素読体験などを実施した。

10月

- ・栃木県立博物館で特別企画展『足利尊氏—その生涯とゆかりの名宝—』を開催した。また、市内でも関連行事を実施した。
- ・民間の観光に携わる方たちで構成する『足利観光誘客戦略会議』が提言書を提出した。
- ・足利おおいわいこいの広場(旧足利サンフィールド)が閉場した。

11月

- ・第1回世界5Sサミットが開催された。
- ・第35回『足利尊氏公マラソン大会』に過去最多の5,439人が参加し、健脚を競った。
- ・市教委が市内中学校の制服の統一化を校長会やPTA連合会に提案した。

12月

- ・情報技術(IT)を活用した環境配慮型都市『スマートシティ』の実現を目指して、総合特区申請を目指す地域協議会を設立した。
- ・緑町の八雲神社が火災により全焼した。
- ・栃木県安足土木事務所がイノシシ除けの実験のためにヒガンバナを板倉町内の松田川堤防に植栽した。
- ・京都市で開催された全国高校駅伝競走大会で白鷗大学足利高校が歴代最高の6位に入賞した。
- ・本市選出の茂木敏充代議士が第二次安倍内閣の経済産業大臣として3度目の入閣を果たした。

2013年(平成25年)

1月

- ・足利学校で元旦論語素読会を開催した。
- ・両毛7市が連携し東京スカイツリーを見学する臨時列車を運行し、東武足利市駅で出発式を行った。

3月

- ・中学校の制服見直し問題で市教委が変更時期は各校の判断に任せることを表明した。
- ・太平記館がリニューアルオープンした。
- ・『渡良瀬橋』で知られる歌手の森高千里さんが一日市長を務め、市内の観光名所を訪問した他、市民会館で2日間コンサートをを行った。
- ・梁田小の新校舎が完成した。

▼平成24年8月・済寧市の小学生が来足した
ときの様子。



▼平成24年11月・5Sサミット。



◀▼平成25年9月・防災訓練の様子。



▼▶平成25年8月鑿阿寺本堂が国宝に指定され、それを記念してシンポジウムやラテン&ジャズコンサートを開催した。



4月

- ・旧西小の校舎を改修した『さいこうふれあいセンター』を開所した。
- ・東武足利市駅構内に観光交流館(愛称：あし・ナビ)がオープンした。
- ・松田保育所をにし保育所に統合した。
- ・市民会館専属のプロフェッショナル芸術団体(ミュージカル、室内オーケストラ、オペラ)が発足した。
- ・秋篠宮妃紀子さまが市立美術館にお成りになり、開催中の企画展を鑑賞された。

6月

- ・競馬場跡地芝生広場で、6カ国30チームの子どもたちがサッカーで交流を深める『ぼくらのワールドカップ in 足利』が開催された。

7月

- ・競馬場跡地芝生広場が供用を開始した。日除け施設には、霧(ミスト)を噴出して暑さを和らげる装置や、太陽光発電装置(メガソーラー)が設置された。
- ・全国的な猛暑日が続いた。(足利市のこの夏の最高気温は38.6℃)

8月

- ・鑿阿寺本堂が国宝に指定され、これを記念してシンポジウム、ラテン&ジャズコンサートを開催した。

9月

- ・防災の日に合わせて、県と市が合同で実践的な総合防災訓練を実施した。

10月

- ・市立美術館で足利学校の所蔵する国宝『文選』を特別展示した。
- ・海外からも講師を招き、『世界遺産登録推進国際シンポジウム』を開催した。
- ・鑿阿寺本堂の国宝指定を受け募集したキャッチコピーが『あなたも歴史の旅人に 国宝鑿阿寺』に決定した。
- ・大型で強い台風26号の影響で、降り始めから24時間の雨量が、市内の宇都宮气象台 足利観測所で180ミリを記録した。
- ・第66回秋季関東地区高校野球大会で白鷗大足利高校が初優勝した。栃木県勢による関東大会制覇は12年ぶり。

11月

- ・鑿阿寺本堂国宝指定記念観光情報誌『るるぶ特別編集 足利』を発行した。
- ・アジア最大規模の撮影スタジオ誘致を核とする『映像のまち』構想を発表した。

12月

- ・市内の空き店舗や倉庫などを活用し子ども向け屋内遊戯施設を誘致することを発表した。
- ・あしかがフラワーパークの夜景が『第1回全国イルミネーションアワードイルミネーション部門』で第2位に選ばれた。
- ・足利銀行の持ち株会社足利ホールディングスが10年ぶりに東証1部に上場した。

2014年(平成26年)

1月

- ・文化財防火デーに合わせ、国宝となった鑿阿寺本堂で初の放水訓練を実施した。
- ・白鷗大学足利高校が春の選抜高校野球大会に初出場することが決定した。

2月

- ・2週連続で記録的な大雪に見舞われ、市内の農作物やビニールハウスなどの農業施設約100棟に被害が発生し、被害総額は1億円を超えた。

3月

- ・東日本大震災から3年を迎えた11日、大型台風の直撃を想定した災害対策本部のシミュレーション訓練を市役所で実施した。
- ・市内に建設された巨大オープンセットで映画『バンクーバーの朝日』が撮影された。
- ・食物アレルギーの子どもに代替食を提供する専門調理室を設けた、新しい学校給食共同調理場が今福町に完成した。

- ・原案を市内の学校から募り、市内の小中高生が足利の街を舞台に演じた、まち映画『神様、仏様、オヤジ様』が完成し、市民プラザで上映会を開催した。
- ・移転した中央消防署西分署が完成した。

4月

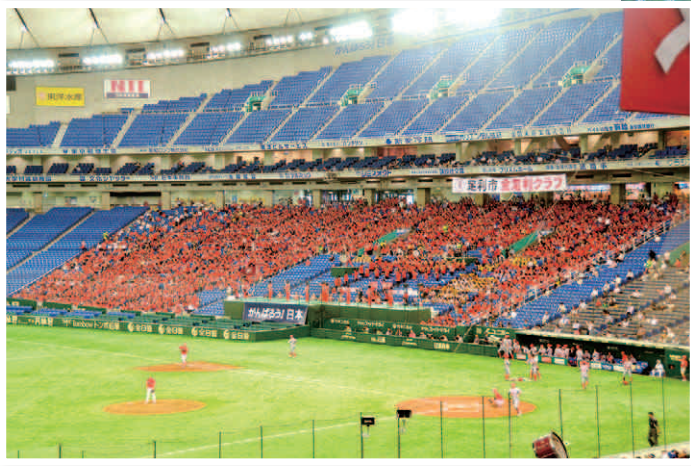
- ・久野保育所を梁田保育所に統合した。
- ・福居保育所を民営化した。
- ・東日本大震災の電力不足への配慮から中止していた中橋のイルミネーションが3年ぶりに再開した。
- ・新しい学校給食共同調理場が稼働を始めた。
- ・足利市立美術館の開館20周年を記念し、特別展『相田みつを 入江泰吉一書と写真の世界』を開催した。
- ・小俣地区の山林火災で40世帯に避難勧告を出した。足利の山林72ヘクタールが焼失した。



◀▼平成26年3月・今福町に完成した学校給食共同調理場。



▼▶平成26年・全足利クラブが都市対抗野球大会北関東予選を突破し、36年ぶりに本選に出場した。



◀▼▶平成26年・北仲通りの七夕飾りと100回を迎えた花火大会。



- ・新産業団地の候補地を県駅南側に選定した。

5月

- ・道路を日常的に利用する企業や業界団体と、市道の危険箇所の情報提供協力に関する協定を結んだ。
- ・史跡足利学校が社団法人世界孔子協会から『孔子伝播賞』を受賞した。

6月

- ・記録的大雨で県道の山川アンダーパスが冠水した。
- ・全足利クラブが都市対抗野球大会北関東予選を突破し、36年ぶりに本選に出場した。

7月

- ・足利織姫神社が『恋人の聖地』に選ばれ、『日本夜景遺産』に認定された。
- ・観光大使制度を見直し、より幅広い分野で活躍している個人・団体を委嘱する『あしかが輝き大使』制度を創設した。
- ・本市出身の歌手・真氣さんと、地元の社会人硬式野球クラブチーム・全足利クラブを『あしかが輝き大使』に委嘱した。
- ・歌舞伎俳優の市川猿之助さん、市川笑也さんをお招きし『足利歌舞伎』を公演した。
- ・花火大会前夜祭で北仲通りが歩行者天国となり、七夕飾りと夜店で賑わった。

8月

- ・足利花火大会が100回目を迎え、2万発の花火が45万人の観客を魅了した。
- ・日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先を選ぶ2014年度の『日本留学アワーズ』で、足利工業大学が東日本理工系大学部門で初の大賞を受賞した。
- ・市内全小学校普通教室にエアコンを設置した。

9月

- ・本城三丁目の行基平山頂古墳で、県内でも珍しい人物埴輪などが複数出土した。
- ・市内小・中学生による『こども釋奠』を初開催した。

10月

- ・生活路線バス『あしバスアッシー』の運行を開始した。
- ・ねんりんピック栃木ソフトボール交流大会を開催した。全国各地から参加した約1千名の選手を、市民一丸となってもてなした。
- ・3年ぶりに鏝阿寺境内で足利薪能を開催した。
- ・鏝阿寺境内で『声明コンサート』を開催した。

11月

- ・プロ野球千葉ロッテマリーンズ(当時)の岡田幸文さ

ん、エコノミストの永濱利廣さん、ケーナ奏者のRenさんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

- ・松江市の中村元記念館と史跡足利学校が交流協定を締結した(故中村元さんは復原後の足利学校初代座主)。
- ・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結30周年記念式典・祝賀会を開催した。

12月

- ・屋内子ども遊び場『キッズピアあしかが』がオープンした。

2015年(平成27年)

1月

- ・2014年の人口動態で23年ぶりの転入超過となった。

2月

- ・節分鎧年越が大正4年創始以来100周年を迎えた。
- ・戦後70年、百頭空襲の慰霊祭が30年ぶりに行われた。
- ・足利商工会議所が中心となって、足利、栃木、桐生、伊勢崎の着物文化を生かした観光連携のあり方を探る『足利道楽シンポジウム』を開催した。
- ・足利の食と芸術・音楽、伝統芸などを融合させたイベント『足利風土祭』が初開催された。
- ・2012年の火災で全焼した緑町の八雲神社が、伊勢神宮内の社の古材を譲り受け再建することを発表した。
- ・教育に関する施設の世界遺産登録を目指す足利市、茨城県水戸市、大分県日田市の協議会に、岡山県備前市が加わることが決定した。

4月

- ・史跡足利学校が復元以来、参観者500万人を達成した。
- ・史跡足利学校が『近世日本の教育遺産群』として茨城県水戸市、大分県日田市、岡山県備前市とともに『日本遺産』に認定された。
- ・たかうじ君テーマソングCD『ちはっ!たかうじ君』を発売。歌に合わせて行う『たかうじ君体操』も完成した。

5月

- ・北仲通りで『第1回ワインウォーク』が開催された。

6月

- ・藤田 正さんが八木節宗家六代目堀込源太を襲名した。

7月

- ・ハンドボール女子日本代表『おりひめジャパン』が足利織姫神社で必勝を祈願した。
- ・歌手の森高千里さんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。また、JR足利駅と東武足利市駅の発着メロディが『渡良瀬橋』となった。

▼▶平成26年10月・ねんりんピック栃木
ソフトボール交流大会の様子。



▶平成26年12月・キッズピアオープン初日の様子。



▼平成27年2月・100周年を迎えた鎧年越



▶平成27年10月・市立美術館で開催した
田崎草雲生誕200年記念企画展。



▼平成27年7月・両駅で流れるメロディが森高千里さんの『渡良瀬橋』になった。▼



・『恋人の聖地』足利織姫神社に『愛の鐘』が完成した。

8月

・映像関係者で組織する『第1回足利銀幕会議』を開催した。

・大相撲足利場所を開催した(市内での巡業は約20年ぶり)。

・本市出身陸上選手・菅井洋平さんが世界陸上北京大会に走り幅跳びで日本代表として出場した。

・公立全中学校普通教室にエアコンの設置が完了した。

9月

・歌手の加藤登紀子さんが鑿阿寺境内でコンサートをを行い、1千人を超える観客を魅了した。

・構想実現に向けて語り合う『映像のまちフォーラム』を初開催した。

・足利工業大学と市が、中心市街地の活性化を目指した包括連携協定を結んだ。

10月

・全国の貴重な土木構造物を顕彰している公益社団法人土木学会が、市内の近代水道施設群を『推奨土木遺産』に認定した。

・市立美術館で画家・田崎草雲生誕200年記念企画展を開催した。

・スプリングフィールド市(米国)と姉妹都市締結25周年を迎え、両市長が改めて姉妹都市提携を宣言する協定書に調印した。

11月

・足利の織物産業を支えた足利工業高校創立120周年を記念し、同校所蔵の貴重な織物資料を収蔵・展示する足利工業高校資料館が開館した。

・史跡足利学校復元25周年記念特別講演会、日本遺産サミットを開催した。

・大日東土地区画整理事業が竣工した。

・山下町の新藤氏庭園が国の登録記念物に指定された。

・足利織物伝承館がリニューアルオープンした。

12月

・市が浅草の商業施設『まるごとにつぼん』に出展した。

2016年(平成28年)

2月

・足利の食や芸術文化をアピールする冬のイベント『足利冬物語』がスタートし、足利銘仙柄のあんどん『足利銘仙灯り』が石畳通りを彩った。

・国内外で活躍するパティシエ・江森宏之さんを『あ

しかが輝き大使』に委嘱した。

3月

・大月町の商業施設・アシコタウンあしかが内に映画館『ユナイテッド・シネマ』が開館した。

・行政、地域住民、団体、民間事業所が連携して高齢者の見守りを行う協定を結んだ。

・キッズピアあしかがに『子ども映像メディアアートブース』が新設された。

・東武伊勢崎線の福居駅に新駅舎が完成した。

4月

・県立足利図書館が市に移管され、足利市立図書館として開館した。

・日本とイタリアの国交樹立150周年を記念し、ローマ市内の日本文化会館で足利銘仙を紹介する企画展を開催した。

・健康で幸せな生活ができる『健幸(けんこう)』をキーワードとした事業『スマートウェルネスあしかが』がスタートした。

5月

・広報『あしかがみ』が1500号を発行した。

7月

・選挙権年齢が18歳以上になって初めての選挙が行われ、市内でも高校生が投票に訪れた。

8月

・マンホールカードに足利市が県内で初参加し、好評を博した。

・リオ五輪が開幕し、協和中出身の杉町マハウさんが男子400mハードルにブラジル代表として出場した。

・JR東日本と市が連携協定を締結。JR東日本では3例目で、まちづくりや観光客の回遊性向上などで連携を図ることとなった。

10月

・足利学校が所蔵する4種の国宝書籍を一堂に公開する『足利 学校国宝展』を初開催した。

・夜景鑑賞士が選んだ2016『第4回イルミネーションアワード』で、あしかがフラワーパークが全国1位に選ばれた。

・北仲通りにある銭湯で撮影を行った『湯を沸かすほどの熱い愛』など、市内で撮影された映画の公開が相次いだ。

11月

・足利まちなか遊学館がリニューアルオープンし、銘仙を中心とした着物などの着付け体験を開始した。



▼平成28年2月・足利銘仙柄のあんどん『足利銘仙灯り』が石畳通りを彩った。



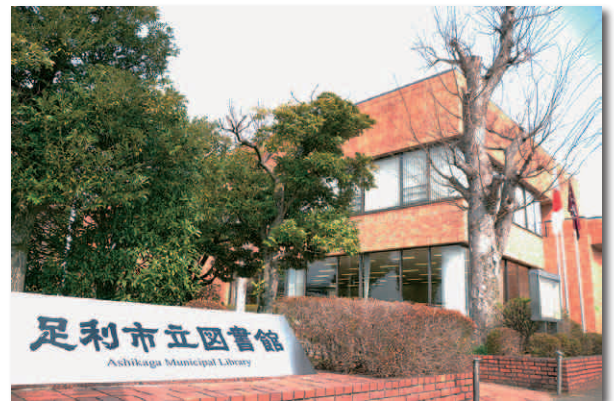
▼平成29年3月・山姥切国広展の様子。



◀▼平成27年12月・まるごとにつぼんに出展したときの様子。



▲平成28年12月・足利市のご当地ナンバープレート



▲平成28年4月・市立図書館が開館した。

▼平成29年1月・『足利歩き愛(め)です』のために鑢阿寺に集まった参加者。



・世界的なヴァイオリン奏者の古澤 巖さん、DJで音楽プロデューサーの須永辰緒さん、ご当地アイドルの渡良瀬橋43、歌手の堀優衣さんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

12月

・足利市のご当地ナンバープレートが決定した。

2017年(平成29年)

1月

・『素通り禁止！足利』プロジェクトが始動した。
・七福神を巡るウォーキングイベント『足利歩き愛(め)です』に約1,500人が参加した。

2月

・足利織姫神社から望む月が『日本百名月』に認定された。

3月

・『山姥切国広展』を開催し、市立美術館は過去最多の来館者(37,820人)を記録し、商店街も刀剣にちなんだメニューなどでもてなし、まちなかはファンで溢れ返った。

・ロードバイクレース『ツール・ド・とちぎ』が開催され、足利市が初日のゴールになった。

・第16分団の詰所(葉鹿町)が完成した。

4月

・遷宮80年を記念して足利織姫神社の社殿が20年ぶりに鮮やかな朱色に塗り直された。

・鎌倉市と姉妹都市締結35周年を迎えた。

6月

・足利市初となる『地域おこし協力隊』が着任した。

・地球温暖化対策に関する『クールチョイス宣言』を行った。

7月

・『葉鹿祇園祭』で市指定文化財である葉鹿仲町の屋台が2年間の修復を終え、60年ぶりに巡行した。

・新農業委員会制度(委員の公選制を任命制に見直し等)に基づく第23期農業委員会がスタートした。

8月

・足利市が県内で初めて『文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)』を受賞した。

9月

・カスリーン台風による水害から70年を迎え、防災講演会などが行われた。

10月

・『夜景サミット』が開催され、あしかがフラワーパークが『日本三大イルミネーション』に認定された。

・足利市の魅力を市内外へ発信する『足利ミス織姫』が10年ぶりに誕生した。

・『足利市女性の職業生活における活躍の推進に関する計画』を策定した。

11月

・足利高校、足利女子高校の統合が決定された。

・松田川ダムふれあい広場で『星空とダムの映画館』を初開催し、200人超の観客が映画を楽しんだ。

12月

・6月に足利市と足利工業大学が覚書を取り交わした人工芝サッカー場の建設が着工された。

・伊勢神宮の社殿の一つを移築し、緑町の八雲神社が再建された。

2018年(平成30年)

1月

・公設地方卸売市場が民営化され『足利丸足地方卸売市場』がスタートした。

2月

◆冬季オリンピック・パラリンピック平昌大会でフィギュアスケート・羽生結弦さんが連覇を達成した。

・都市計画マスタープランを10年ぶりに見直した。

・観光都市を宣言した。

3月

・おしゃれな家具、雑貨などが並ぶ『門前マルシェ』を初開催した。

4月

・JR両毛線新駅『あしかがフラワーパーク駅』が開業した。

・足利赤十字病院跡地に足利大学本城キャンパスが開設された。

・栃木デスティネーションキャンペーンがスタートし、6月までの期間中に180万人の観光客が訪れた。

5月

・栃木デスティネーションキャンペーンの一環でJR両毛線にSLが走った。

・『あしかがアートクロス』を開催し、19の会場で芸術作品の展示会を実施した。

・草雲美術館で刀剣展『草雲と刀工たち』を開催し、草雲が愛でた刀『冬廣』など、ゆかりの刀を草雲作品と共に展示した。



◀平成29年7月・60年ぶりに巡行した葉鹿仲町
祇園祭の屋台。

▼平成30年4月・栃木DESTINATIONキャン
ペーンに向け、SLが試験走行したときの様子。



▼平成29年9月・カスリーン台風慰霊祭



▼平成30年4月・あしががフラワーパーク駅開業式典。



▲平成30年3月・門前マルシェ。



▼平成30年6月・人工芝の西部多目的運動場
『あしスタ』が開場した。

▼平成29年12月・再建された緑町の八雲神社。



6月

- ・人工芝の西部多目的運動場『あしスタ』が開場した。
- ・空き家空き地バンクを開設した。

◆サッカー・ワールドカップロシア大会が開催され、日本はベスト8を逃すも、試合内容は高い評価を得た。

- ・姉妹都市のスプリングフィールド市長が足利市を訪問し、市議会本会議場で本市以外の市長として初めてスピーチを行った。

7月

- ・プロモーション動画『ありのままの足利を。』を公開した。
- ・市内で11日連続猛暑日を記録した。

10月

- ・足利灯り物語『夜の足利☆ナイトウォーク』を開催した。
- ・史跡足利学校で企画展『元号』を開催し、期間中に3万2,000人を超える入場者があった。
- ・『足利学び舎観光ロゲイニング』を初開催した。
- ・あしかが映像まつり『聖地！西高学園祭』を開催し、3,200人が来場した。

11月

- ・わたらせテレビが開局20周年を迎えた。
- ・史跡足利学校 大成殿の改修工事が始まった。
- ・白旗橋の架け替え工事が完了した。

12月

- ・市議会のインターネット中継が始まった。
- ・「ひと」と「ひと」が輝くまちを宣言した。

2019年(平成31年、令和元年)

1月

- ・市が大型公共施設更新に向けた財政指針を公表した。

2月

- ・あしかが映像まつり『まちなかシネマDAYS』が開催され、3日間で延べ約1,250人が来場した。
- ・商工会議所友愛会館で刀剣展『堀川國廣とその高弟』が開催された。
- ・『あしかが輝き大使』に中華料理シェフ・藪崎友宏さんを委嘱した。
- ・NHKホールで行われた『第19回地域伝統芸能まつり』に八木節が出演した。

3月

- ・小俣最終処分場の訴訟が和解した。
- ・新医師会館が建設され、同建物に保健センターが移転した。

5月

◆改元し『令和』となった。

- ・改元日の5月1日の婚姻届提出が50件を超えた。
- ・40年ぶりに国・県・市合同で利根川水系連合・総合水防演習が実施された。

- ・旧足利西高校で撮影した作品が100作を超えた。

6月

- ・足利夏まつり(足利織姫神社ナイトウェディング・七夕まつり)が『第一回恋人の聖地地域活性化大賞 審査員特別賞』を受賞した。
- ・未来を担う子どもたちのために『足利市こども夢基金』を創設した。

7月

- ・2022いちご一会とちぎ国体の会場となるビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

8月

- ・足利高校、足利女子高校統合に際し、市民会館用地を提供することを発表した。
- ・市議会がタブレット端末を導入した。

9月

- ・友好都市の済寧市(中国)と友好都市締結35周年を迎えた。
- ・五十部町競馬場跡地に渋谷スクランブル交差点のオープンセットが建設された。
- ・35回目の節目を迎えた薪能が記念事業として足利薪能と足利薪狂言を2夜連続で開催された。
- ・あがた駅南産業団地の造成が完了した。

10月

- ・朝倉・福富緑地『わたらせ健幸緑地』の供用を開始した。
- ・令和元年東日本台風が各地を襲い、本市も甚大な被害を受けた(被害総額88億円超、死者1名、中等症2名、住家被害845件)。
- ・水道庁舎が県庁足利庁舎に移転した。
- ・『全国足利氏ゆかりの会』総会が足利義兼公没後820年記念として開催された。

2020年(令和2年)

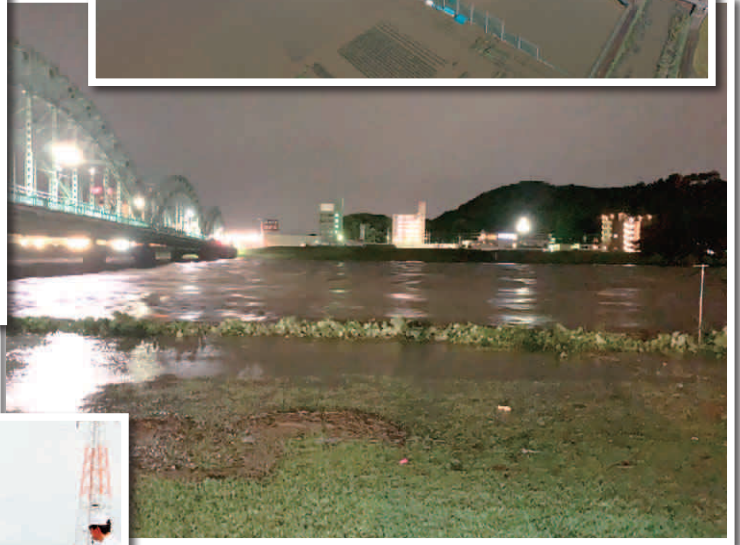
1月

- ・市民会館を取り壊し、跡地を足利高等学校・足利女子高等学校新校舎整備用地とすることで県と基本合意を締結した。
- ・第10回ロケーションジャパン大賞でドラマ『今日から俺は!!』と本市の取り組みが特別賞を受賞した。



◀ 令和2年10月撮影・あがた駅南産業団地。

▼ 令和元年東日本台風の被害の様子。



◀ 令和元年7月・ビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

▼ 令和元年9月・足利薪能、足利薪狂言▼



2月

◆全世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振り始めた。

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。
- ・プレミアム刀剣展『冬の國廣と一門』を開催した。

3月

- ・総合運動場陸上競技場の改修工事が完了した。
- ・県道名草小俣線小俣立体の供用を開始した。

4月

◆新型インフルエンザ等対策特別措置法(いわゆる新型コロナウイルス特措法)に基づく緊急事態宣言が発令された。

- ・スマートフォンアプリを活用した健幸マイレージ事業『足すと』が始動した。
- ・市民活動センターが生涯学習センターへ移転した。

5月

- ・市道鹿島山下通り(山前アンダー)が開通した。

6月

- ・足利市医師会によるPCR検査センターが開設された。

7月

- ・総合運動場硬式野球場の改修工事が竣工した。
- ・中橋の架け替え方針が決定された。

8月

- ・史跡足利学校大成殿『平成・令和の大修理』が完了した。

10月

- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結30周年記念式典をオンラインで開催した。

11月

- ・足利市自治会長連絡協議会が『設立60周年記念式』を開催した。
- ・県知事選挙で、コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)に期日前投票所を初開設した。

2021年(令和3年)

1月

◆国の新型コロナウイルス特別措置法に基づく2回目の緊急事態宣言が発出され、栃木県も対象区域に追加された。

- ・史跡足利学校庠主に五味文彦さんが就任した。
- ・市に『新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム』が設置された。
- ・成人式が新型コロナウイルス感染予防のため中止され、10月31日に延期された。
- ・市制100周年記念NHKのど自慢が新型コロナウイルス

感染予防のため中止された。

・地元の歴史を盛り込んだ市制100周年記念『歴史すてろく』が全戸配布された。

・市制100周年記念企画展『足利市の軌跡』が小俣町ふるさと学習・資料館で開催された。

・市制100周年記念『みんなの両毛線フェスタ!』がJR足利駅構内で開催された。

・中橋架け替えに向けた都市計画法に基づく公聴会が開催された。

・鎧年越が新型コロナウイルス感染予防のため中止された。

2月

・新型コロナウイルスに感染し自宅療養となった市民を支援するため、市が日用品を自宅に届ける取り組みを開始した。

・松田川の水質改善値が全国2,572地点中第1位となった。

・新型コロナウイルスのワクチン保管用の超低温冷凍庫が国から市に2台配置された。

・市が令和元年に発生した台風19号の被災状況や今後の取り組み等をまとめた『令和元年東日本台風 足利市の記録』を発行した。

・新型コロナウイルスの影響でテレワークが推奨される中、市の『足利市宿泊施設活用テレワーク促進実証事業』がスタートした。

・足利市民会館での最後のNHK交響楽団(N響)の定期演奏会が開催された。

・西宮林野火災が発生し、県内外の消防職員や自衛隊ヘリコプター、県防災ヘリコプターと連携し消火活動を行ったが、167ヘクタールを焼失した(避難勧告305世帯、被害総額約3,700万円)。

・東幸楽荘で新型コロナワクチン接種の実地演習を行った。

3月

・水道供給90周年記念『足利の自然水』を販売した。

・医療従事者を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種が開始された。

・コロナ禍で苦しむ市内飲食店を支援するため、足利清風高校の生徒が発案し、キッチンカー4店舗を校内に招待し、生徒400人と教職員が丼物やデザートなどを購入した。

・キッズピアあしかがの来場者が100万人を超えた。

・消防本部の新庁舎が完成した。

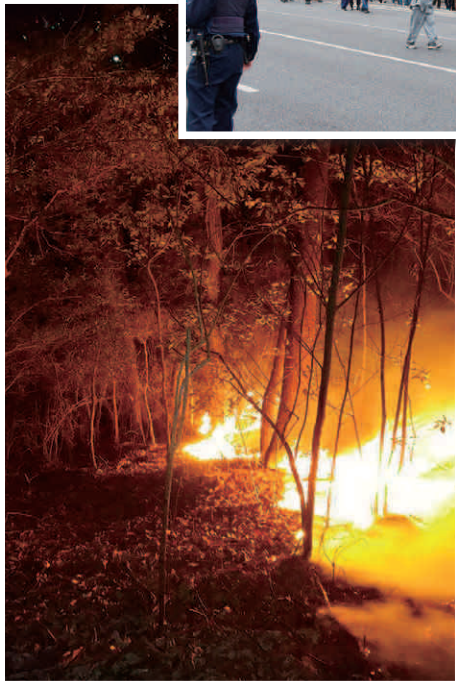
▼令和3年3月・聖火リレーの様子。



▼令和3年1月・文化財防火デーにともない、史跡足利学校で放水訓練を行った。



▲令和3年2月・新型コロナワクチン接種実地演習の様子。



◀令和3年2月・西宮林野火災の様子。



◀▲令和3年4月・足利灯り物語。



・県内の東京2020オリンピック聖火リレーが本市を皮切りに開催された。

4月

- ・名草保育所をきた保育所に統合した。
- ・市が行政手続1,803件の押印を廃止した。
- ・市が無料通信アプリ『LINE』の公式アカウントを運用した市政情報の発信を開始した。
- ・あしかがフラワーパークの『大藤まつり』が2年ぶりに開催された。
- ・高齢者施設入所者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種を開始した。

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う3回目の緊急事態宣言が発令された。

5月

- ・75歳以上の方向けの新型コロナウイルスのワクチン集団接種を開始した。
- ・歌手の森高千里さんのコンサートが8年ぶりに市民会館で開催された。

6月

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、足利花火大会が2年連続で中止となった。
- ・全足利が社会人野球日本選手権大会に初出場した。
- ・市民会館が55年の歴史に幕を閉じた。

7月

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う4回目の緊急事態宣言が発令された。

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。



▲令和3年5月撮影・新消防庁舎・中央消防署。



▲令和3年6月・監督を胴上げする全足利の選手たち。



▲市民会館大ホールと緞帳。

▼令和3年1月・足利の街並みを撮影した航空写真。





歴代市長



初代市長 川島 平五郎
大正 10.4.16 ~ 大正 14.4.15



2代市長 山口 甚四郎
大正 14. 5. 1 ~ 大正 14. 9. 9



3代市長 大給 新
大正 14.10. 8 ~ 昭和 6. 3.17



4代市長 久保 種一
昭和 6. 3.17 ~ 昭和 12. 2. 4



5代市長 赤土 正強
昭和 12. 7. 8 ~ 昭和 19. 1. 8



6代市長 真鍋 安次
昭和 19. 2.22 ~ 昭和 20.11.10



7代市長 木村 浅七
昭和 20.12. 6 ~ 昭和 42. 4.29



8代市長 長竹 寅治
昭和 42. 4.30 ~ 昭和 54. 4.29



9代市長 町田 幸久
昭和 54. 4.30 ~ 平成 3. 4.29



10代市長 早川 一夫
平成 3. 4.30 ~ 平成 13.3.19



11代市長 吉谷 宗夫
平成 13.5.13 ~ 平成 21.5.12



12代市長 大豆生田 実
平成 21.5.13 ~ 平成 25.5.12



13代市長 和泉 聡
平成 25.5.13 ~ 令和 3.5.12



14代市長 早川 尚秀
令和 3.5.13 ~ 現在

歴代助役(副市長)

	氏名	就任	退任
1	久保 種一	大正 10. 7.23	大正 14.10.10
2	大貫 権一郎	大正 14.11.21	昭和 4. 4.16
3	久保 種一	昭和 4. 5.29	昭和 6. 3.17
4	久保 奨衛	昭和 6. 5. 9	昭和 10. 5. 8
5	上原 猪一郎	昭和 10.12.10	昭和 13.12. 9
6	松山 藤太郎	昭和 14. 3. 3	昭和 16.10.11
7	真鍋 安次	昭和 16.10.31	昭和 19. 2.22
8	篠崎 傳	昭和 19. 4. 8	昭和 20.12. 8
9	速水 宇吉	昭和 20.12.19	昭和 22. 5.13
〃	〃	昭和 22.12.26	昭和 26.12.25
10	松村 義雄	昭和 27. 1.14	昭和 35. 1.13
11	日下部 松雄	昭和 35. 4. 1	昭和 42. 7.31
12	町田 幸久	昭和 42. 8. 1	昭和 53.12. 4
13	岩本 重造	昭和 53.12.20	昭和 56. 1.31
14	岩川 開平	昭和 56. 4. 1	昭和 60. 3.31
15	田部井 市介	昭和 60. 4. 1	平成 5. 3.31
16	箕輪 將	平成 5. 4. 1	平成 13. 3.31
17	久保田 進	平成 13. 6. 8	平成 18. 3.31
18	西田 喜之	平成 18. 4. 1	平成 21. 5.15
19	飯野 健一	平成 19. 4. 1	平成 21. 2.20
20	松澤 一廣	平成 21. 9.24	平成 25. 9.23
21	池澤 昭	平成 25. 9.24	令和 3. 5.12
22	塚原 達哉	令和 3. 5.28	～現在

※地方自治法の改正により平成 19.4.1 から助役から副市長に名称変更。

歴代収入役

	氏名	就任	退任
1	丸山 昇平	大正 10. 4.27	昭和 16. 4. 25
〃	〃	昭和 16. 4.29	昭和 25.11. 1
2	春山 重次郎	昭和 25.11. 1	昭和 41.10.31
3	相場 道雄	昭和 42. 8. 1	昭和 46. 7.31
4	小菅 善吉	昭和 46. 8. 1	昭和 52. 7.17
5	岩川 開平	昭和 52.12. 1	昭和 56. 3.31
6	高橋 哲雄	昭和 56. 4. 1	昭和 60. 3.31
7	岡崎 三郎	昭和 60. 4. 1	平成 5. 3.31
8	松葉 幸藏	平成 5. 4. 1	平成 13. 3.31
9	鈴木 勝雄	平成 13. 6. 8	平成 18. 3.31
10	飯野 健一	平成 18. 4. 1	平成 19. 3.31

※地方自治法の改正により平成 19.4.1 から収入役は廃止。

名誉市民



木村 浅七
昭和 42 年 9 月 20 日推挙
昭和 57 年 3 月 3 日没
元足利市長



新居 善太郎
昭和 57 年 2 月 16 日推挙
昭和 59 年 1 月 12 日没
元社会福祉法人
恩賜財団母子愛育会会長

歴代市議会議長



初代議長 荻野 萬太郎
大正10.3.19～昭和8.3.11



2・4代議長 殿岡 利助
昭和 8.3.27～12.3.11
昭和 20.12.14～22.4.29



3代議長 木村 浅七
昭和 12.3.22～20.12.1



5代議長 桜井 計一郎
昭和 22.5.26～26.4.29



6代議長 原田 金三郎
昭和 26.5.21～28.6.8



7代議長 石川 多助
昭和 28.6.8～29.6.14



8・9・11代議長 藤沼 弥一
昭和 29.6.14～30.4.30
昭和 30.5.23～31.8.11
昭和 33.10.3～34.4.30



10・22代議長 中島 保市
昭和 31.8.11～33.10.3
昭和 48.6.11～49.12.20



12代議長 小倉 徳太郎
昭和 34.5.18～35.12.3



13代議長 栗原 林次郎
昭和 35.12.23～36.7.3



14代議長 木暮 謹司
昭和 36.7.3～37.6.14



15代議長 加持 喜蔵
昭和 37.6.14～38.4.30



16代議長 三田 庄三郎
昭和 38.5.16～39.6.10



17代議長 塚原 徳治郎
昭和 39.6.10～40.6.14



18代議長 麻野 晋三
昭和 40.6.14～42.4.30



19代議長 降矢 俊一
昭和42.5.18～44.9.26



20代議長 小松原 健吉
昭和 44.9.26～46.4.30



21・24代議長 土金 二郎
昭和 46.5.17～48.6.11
昭和 50.5.19～54.4.30



23代議長 田中 徳平
昭和 49.12.20～50.4.30



25代議長 山田 義市
昭和 54.5.16～55.12.16



26代議長 原田 実
昭和55.12.16～57.12.21



27代議長 浅香 定次
昭和 57.12.21～58.4.30



28代議長 菊池 靖
昭和 58.5.18～59.12.18



29代議長 源田 利雄
昭和 59.12.18～60.12.19



30代議長 本間 和雄
昭和 60.12.19～61.12.18



31代議長 岡田 光郎
昭和 61.12.18 ~ 62.4.30



32代議長 石原 弁治
昭和 62. 5.18 ~ 63. 6.21



33代議長 荻原 健一
昭和 63. 6.21~平成元. 6.22



34代議長 田中 福美
平成元. 6.22 ~ 3. 4 30



35・41代議長 長竹 正平
平成 3. 5.17 ~ 4. 6.23
平成 9. 7. 3 ~ 10. 6.23



36代議長 長 一成
平成 4. 6.23 ~ 5. 6.22



37代議長 町田 行男
平成 5. 6.22 ~ 5.10.12



38代議長 染谷 正
平成 5.10.12 ~ 7. 4.30



39代議長 秋山 積一郎
平成 7. 5.18 ~ 8. 6.25



40代議長 中島 保市
平成 8. 6.25 ~ 9. 7. 3



42代議長 山口 与市
平成 10. 6.23 ~ 11. 4.30



43代議長 嶋田 政芳
平成 11. 5.20 ~ 13.6.26



44代議長 石川 博康
平成 13.6.26 ~ 15.4.30



45代議長 松崎 友一
平成 15.5.20 ~ 17.6.21



46代議長 帆足 章
平成 17.6.21 ~ 19.4.30



47代議長 西田 智男
平成 19.5.18 ~ 21.6.23



48代議長 中山 富夫
平成 21.6.23 ~ 23.4.30



49代議長 河内 利雄
平成 23.5.20 ~ 25.5.30



50代議長 藤生 智弘
平成 25.5.30 ~ 27.4.30



51代議長 黒川 貫男
平成 27.5.20 ~ 29.6.5



52代議長 渡辺 悟
平成 29.6.5 ~ 31.4.30



53代議長 柳 収一郎
令和元 .5.16 ~ 3.5.27



54代議長 栗原 収
令和 3.5.27 ~ 現在

歴代副議長

歴順	氏名	就任	退任
1	岡崎 惣太郎	大正 10. 3.19	大正 14. 3.11
2	小林 鄰三	大正 14. 3.20	昭和 6. 9. 2
3	木村 浅七	昭和 6.11.10	昭和 8. 3.11
4	綿貫 操	昭和 8. 3.27	昭和 12. 3.11
5	大竹 藤三郎	昭和 12. 3.22	昭和 17. 4. 8
6	茂木 富二	昭和 17. 6.22	昭和 20.12. 6
7	石川 多助	昭和 20.12.14	昭和 22. 4.29
8	秋間 正二	昭和 22. 5.21	昭和 23. 6.24
9	原田 金三郎	昭和 23. 6.25	昭和 24. 6.24
10	大山 岩次郎	昭和 24. 6.24	昭和 26. 4.25
11	栗原 林次郎	昭和 26. 5.21	昭和 28. 6. 8
12	藤沼 弥一	昭和 28. 6. 8	昭和 29. 6.14
13	小倉 徳太郎	昭和 29. 6.14	昭和 30. 4.30
14	松崎 英作	昭和 30. 5.23	昭和 31. 8.29
15	木暮 謹司	昭和 31. 8.29	昭和 33.10. 3
16	相馬 皆治	昭和 33.10. 3	昭和 34. 4.30
17	加持 喜蔵	昭和 34. 5.18	昭和 35. 6.24
18	三田 庄三郎	昭和 35. 6.24	昭和 36. 7. 3
19	塚原 徳治郎	昭和 36. 7. 3	昭和 37. 6.14
20	土金 二郎	昭和 37. 6.14	昭和 38. 4.30
21	麻野 晋三	昭和 38. 5.16	昭和 39. 6.10
22	降矢 俊一	昭和 39. 6.10	昭和 40. 6.14
23	中島 滝造	昭和 40. 6.14	昭和 42. 4.30
24	永沢 貞蔵	昭和 42. 5.18	昭和 43. 6.15
25	小松原 健吉	昭和 43. 6.15	昭和 44. 9.26
26	楨田 定次郎	昭和 44. 9.26	昭和 46. 2.13
27	板橋 儀市郎	昭和 46. 3. 4	昭和 46. 4.30
28	南雲 銀三	昭和 46. 5.17	昭和 47.12.22
29	世取山 芳郎	昭和 47.12.22	昭和 48.12.14
30	佐藤 権平	昭和 48.12.14	昭和 49.12.20
31	山田 義市	昭和 49.12.20	昭和 50. 4.30
32	山田 義市	昭和 50. 5.19	昭和 51. 6.11
33	岡 善四郎	昭和 51. 6.11	昭和 54. 4.30
34	原田 実	昭和 54. 5.16	昭和 55.12.16
35	浅香 定次	昭和 55.12.16	昭和 57. 3.25
36	菊池 靖	昭和 57. 3.25	昭和 58. 4.30

歴順	氏名	就任	退任
37	本間 和雄	昭和 58. 5.18	昭和 59. 6.12
38	石原 弁治	昭和 59. 6.12	昭和 60. 6.13
39	田中 福美	昭和 60. 6.13	昭和 60.12.19
40	斉藤 具秀	昭和 60.12.19	昭和 61. 9.22
41	荻原 健一	昭和 61. 9.22	昭和 62. 4.30
42	松村 照三	昭和 62. 5.18	昭和 63. 6.21
43	石原 弘行	昭和 63. 6.21	平成 1. 6.22
44	長 一成	平成 1. 6.22	平成 2. 6.19
45	木村 好文	平成 2. 6.19	平成 3. 3.29
46	町田 行男	平成 3. 5.17	平成 4. 6.23
47	染谷 正	平成 4. 6.23	平成 5. 6.22
48	秋山 積一郎	平成 5. 6.22	平成 6. 6.21
49	中島 保市	平成 6. 6.21	平成 7. 4.30
50	源田 栄司	平成 7. 5.18	平成 8. 6.25
51	嶋田 政芳	平成 8. 6.25	平成 9. 7. 3
52	石川 博康	平成 9. 7. 3	平成 11. 4.30
53	帆足 章	平成 11. 5.20	平成 12. 6.20
54	松崎 友一	平成 12. 6.20	平成 13. 6.26
55	斎藤 昭一	平成 13. 6.26	平成 14. 6.25
56	酉田 智男	平成 14. 6.25	平成 15. 4.30
57	常見 登	平成 15. 5.20	平成 16. 6.21
58	中山 富夫	平成 16. 6.22	平成 17. 6.21
59	河内 利雄	平成 17. 6.21	平成 18. 6.26
60	佐川 宗男	平成 18. 6.26	平成 19. 4.30
61	松村 和久	平成 19. 5.18	平成 20. 6.23
62	黒川 貫男	平成 20. 6.23	平成 21. 6.23
63	藤生 智弘	平成 21. 6.23	平成 22. 6.22
64	渋沢 克博	平成 22. 6.22	平成 23. 4.30
65	渡辺 悟	平成 23. 5.20	平成 24. 6.21
66	平塚 茂	平成 24. 6.21	平成 25. 5.30
67	柳 収一郎	平成 25. 5.30	平成 26. 5.30
68	荻原 久雄	平成 26. 5.30	平成 27. 4.30
69	栗原 収	平成 27. 5.20	平成 29. 6. 5
70	斎藤 昌之	平成 29. 6. 5	平成 31. 4.30
71	横山 育男	令和元. 5.16	令和 3. 5.27
72	小林 貴浩	令和 3. 5.27	現在

市議会議員

議席順、途中就任者は末尾

第1期 大正 10.3.12 日就任

富永金吉 原田政七
山口甚四郎 岡崎惣太郎
初谷豊作 小林鄰三
今尾弥平 岡崎治三郎
八下田幸三郎 荻野萬太郎
齋藤与左衛門 田村彦七
勝倉茂吉 大島芳三郎
岩下金四郎 植木彦四郎
殿岡利助 初谷定吉
丸山嘉平 川田吉兵衛
今泉英又 藤沼竹次郎
影山弁吉 杉山唯四郎
大木峰八 細田吉之助
黒田市五郎 小泉改平
新居倉造 福田英助

第2期 大正 14.3.12 就任

小泉改平 酒卷仁兵衛
福田健治 松崎元吉
石川道之助 影山弁吉
栗崎隆輔 柳田市郎右衛門
川島久三郎 藤沼宗三郎
小山与三郎 林 鷲五郎
金井国蔵 小林鄰三
山口甚四郎 杉田玉蔵
木村浅七 初谷豊作
原田政七 石関郡造
岩下金四郎 殿岡利助
廣田 又 小松原林左衛門
西村佐吉 今泉英又
荻野萬太郎 齋藤与左衛門
牛窪忠七 富永金吉

第3期 昭和 4.3.12 就任

福田健治 藤沼宗三郎
綿貫 操 吉田孫三郎
初谷嘉十郎 初谷定吉
峰岸善七 川田伸造
岡崎弥市 大山季治郎
木村浅七 杉田玉蔵
相場周一郎 松崎元吉
川島藤左衛門 荻野萬太郎
菊地菊次郎 廣田 又
勝倉秋太郎 石川道之助
大竹藤三郎 齋藤与左衛門
殿岡利助 岩根歳光
原田政七 堀越滝三郎
山藤勝四郎 小林鄰三
堀越喜三 田部井文四郎

第4期 昭和8.3.12 就任

堀越喜三	藤田章四郎
菊地菊次郎	川島平一郎
長谷定吉	堀越滝三郎
初石道之助	石川多助七郎
西川覺次郎	牛窪忠太郎
峰岸愛次郎	大殿岡利助
木村儀三郎	綿貫良操助
岩根歳光	野本村義三郎
増田宇次郎	今竹藤三郎
野倉秋太郎	酒卷仁兵衛
柚木勘五郎	速水宇吉郎
平井亀吉	相場周一郎
松崎元吉	廣田又

第7期 昭和22.4.30 就任

大島弥吉	小林光太郎
中島保市	福田忠次郎
松崎盛一	福箕輪幸造
相馬皆治	桜井計一郎
湯澤東郎	島田大助
小堀清太郎	村岡清己
春山重次郎	木暮謹又司
加持喜藏	秋山金三郎
大山岩次郎	名淵富土之助
采澤信光	原田金三郎
秋間正二	谷源吉郎
松崎英太郎	山藤勝四郎
藤沼弥藏	廣田又
眞尾勘藏	昭和25.9.1 就任
上武重太郎	石川多助

第10期 昭和34.5.1 就任

加持喜藏	半田武雄
田部喜一郎	堀越般藏
麻野晋三	森山高三郎
都筑千良	三田庄三郎
安斎藤男	藤沼弥一郎
菊地倉造	板橋儀市郎
原田清三郎	土金二郎
渡辺弥五郎	早川賢市
中島滝造	相馬和夫
長谷川政吉	塩田修一郎
石川元次郎	栗原林次郎
塚原徳治郎	中島保市
小沢利吉	飯島秀雄
伊藤勝美	山田保太郎
岡善四郎	小倉徳太郎
長山茂次	昭和37.8.6 就任
大貫吉次	田代英司
木板橋弘治	降矢重太郎
大網健一	榎田定次郎
小松原健吉	永沢貞藏

第5期 昭和12.3.12 就任

清水巖	土井秀助
小山辰藏	篤内伴次
小勝秋太郎	野谷定茂
大竹藤三郎	初沼茂八
木村浅七郎	浅水宇吉
原田金三郎	速今村義郎
永井莊吾	川田仲造
西村覺次	篠崎長三
石津美矯	本島恭太郎
石川多助	堀越利助
堀岡利助	加持喜藏
柚木勘五郎	廣田又
木野清太郎	昭和12.11.1 就任
大島理太郎	小林光太郎
松崎元吉	昭和12.12.2 就任
地菊次郎	木村定八

第8期 昭和26.4.30 就任

松崎英作	原田金三郎
原田清三郎	松崎傳四郎
采澤信光	稲葉米吉
富田富吉	大網健一
長谷川政吉	龜山勝太郎
相馬皆治	中島保市
桜井計一郎	眞尾勘一
石川多助	今泉謹司
榎田定次郎	木暮林次郎
田島龜之助	栗原又一郎
藤沼弥一	秋山嘉次郎
山本友吉	眞尾岩太郎
上武重太郎	小倉徳三郎
家富定吉	三田庄三郎
降矢俊一	木村誠二
麻野晋三	高久保要
加持喜藏	廣田又
山藤勝四郎	

第11期 昭和38.5.1 就任

麻野晋三	浅海友司
榎田定次郎	森山高七司
板橋弘治	田代英忠
橋本常太郎	富澤俊一
堀江徳次郎	塚原徳治
辺見忠太郎	小松原健
阿部林太郎	中島滝郎
田中徳平	佐藤権平
永沢貞藏	柳田清作
伏島忠一郎	大川仁
岡善四郎	土金二郎
土金二郎	藤沼弥一
筑井勅太郎	木暮謹司
小泉清	昭和40.10.15 就任
	岡ノ谷市藏

第6期 昭和17.6.5 就任

殿岡利助	佐藤久八郎
谷源吉	吉澤邦多
土井秀孝	石川守太郎
松崎三郎	大谷昇七
原田金三郎	阿部木富
春山重次郎	茂原三市
木村浅七郎	桑原宇吉
浅沼茂八郎	速水憲一
小島重太郎	尾崎昇一郎
小山泰治	斎藤市太郎
和久井善雄	小林忠藏
松村義次郎	中島保市
菊地菊次郎	廣田又
小山辰藏	昭和17.9.28 就任
綿貫幸助	秋山又藏
菅居幸助	

第9期 昭和30.5.1 就任

大貫吉次	松崎英作
麻野晋三	須永太市
塚原徳治	早川賢市
森山高七郎	中島滝造
半田武雄	渡辺弥五郎
戸叶勝雪	原田清三郎
上武重太郎	眞尾嘉一
石川多助	木暮謹司
小倉徳太郎	田部井喜一郎
山田定吉	武藤滝象
三田庄三郎	飯橋儀市
三村利一郎	須藤常太郎
刀川秀男	藤沼弥一
大島般藏	相馬皆治
堀越喜藏	上武耕又
加富定吉	廣田又
家中保市	昭和32.11.21 就任
降矢俊一	塩田修一郎

第12期 昭和42.5.1 就任

河野栄三	板橋儀市
伏島道衛	岡ノ谷市藏
須永三与四	板橋弘治
橋本常太郎	新井貞寿
堀江徳次郎	大川仁
関口正義	岡善四郎
中村金四郎	伏島忠一郎
藤井久雄	土金二郎
糸井亀吉	田中徳平
加持長正	永沢貞藏
根岸善三	世取山芳郎
山口善太郎	小松原健吉
辺見忠太郎	佐藤権平
長島栄太	榎田定次郎
生形貞雄	中島保市
橋本豊作	南雲銀三
高橋梅一	山田義市
川勝一良	降矢俊

市議会議員

議席順、途中就任者は末尾

第13期 昭和46.5.1 就任

菊池 靖 伏島道衛
 浅香 定次 高橋梅治
 堀江 忠治 藤井久雄
 田村 正一郎 関口文三
 辺見 忠次郎 蓼沼沼貞四
 長島 栄太郎 新井善四
 河内 富角 根岸井亀
 関谷 藤一 糸井ノ谷市
 磯田 利一 岡ノ取山芳
 相場 実郎 世小松原健
 原田 光郎 佐藤中島雲田金
 岡田 徳次郎 田中南山土
 堀本 常正 持長善四
 加口 持善
 山中 村金四郎

第14期 昭和50.5.1 就任

中島保市 杉田茂久
 新高藤勝一郎 石原間弁治
 高山田昌介 本原田香定
 山田村正与 浅田香定
 進藤初健 西赤坂井善
 荻原具秀 藤田利雄
 芥藤具秀 田中福美
 芥藤具秀 田中福美
 源田中藤武夫
 田近関口昭一
 関穴橋本徳次
 橋本徳次
 菊池靖功
 豊山根良吉

第15期 昭和54.5.1 就任

中島保市 齐藤具秀
 新藤勝一郎 源田中利雄
 田村正恵 本間福美
 中田西子 石原和
 町田好男 関北正
 木村弘文 橋本常
 石原一行 岡善四
 長村照三 山山善四
 松竹正幸 山山善四
 長岡昭一郎 山山善四
 穴原昌介 原菊池
 高田貞光 原浅香
 新井田光 高高山
 岡谷藤初 岡小松
 進藤原健 荻原金二

第16期 昭和58.5.1 就任

中野島保市 齐藤具秀
 赤坂村彦 荻原健一
 宮本光雄 田中福和
 武藤勝勇 岡田光郎
 持斎有智 新高田昌介
 秋山積一 高井善四
 染谷行好 岡口根良
 町田村一 山山土源
 木沢桂二 山山土源
 北山昭一 山口根良
 青原正弘 石原池
 穴関石長 竹村照

第17期 昭和62.5.1 就任

佐川宗男 石原弘行
 河内見政 長松岡正
 常嶋田智 山岡良吉
 嶋生川田積一 山岡善四
 藤石源秋山積一 谷善四
 源秋山積一 谷善四
 染北沢口昭一 保行好一
 関穴原島田村

第18期 平成3.5.1 就任

平塚茂 源田栄司
 河内克博 秋山積一
 帆内三章 染谷正幸
 杉浦辰昭 穴原昭一
 斎藤はるひ 中山島田
 丸山友太郎 山口田
 松崎源卓 高町長竹
 浅海川宗 見田中
 井佐常藤 近嶋生川
 嶋藤石川

第19期 平成7.5.1 就任

斎藤好江 藤生智弘
 大山富田 石源川博
 中内利智 源岡田栄
 河西田智 長岡正一
 大川足昭 常原昭一
 帆足藤昭 中島保
 斎山はる 町田行
 丸山塚一 秋山積
 平沢川 沢川一
 洪佐松 海源太
 近嶋田政

第20期 平成11.5.1 就任

須藤昭夫 斎藤藤
 加藤正一 松近斎
 小尾稔 林近斎
 尾稔 林近斎
 斎藤林 松近斎
 加藤正一 松近斎
 尾稔 林近斎
 尾稔 林近斎

第21期 平成15.5.1 就任

中飯島由美子 西田智男
 飯織原一弘 大川好江
 塩田義明 斎藤宗昭
 小田林克 平佐斎
 杉田林田 佐斎松嶋
 黒須川川 貫昭石
 尾藤関藤 石洪常
 加藤藤 边村石
 渡松山内

第22期 平成 19.5.1 就任

久江 夫雄 男 弘 茂 博 章 芳 登 康 幸 治
 和好 富 利 智 智 克 政 博 正 弁
 村 藤 山 内 田 生 塚 沢 足 田 見 川 岡 原
 松 齋 中 河 西 藤 平 波 帆 嶋 常 石 長 石
 綾 収 雄 郎 明 等 子 之 勉 一 悟 子 男
 島 原 久 賀 一 義 由 美 克 正 栄 貫
 大 栗 荻 大 柳 織 塩 中 島 林 田 藤 辺 関 川

第23期 平成 23.5.1 就任

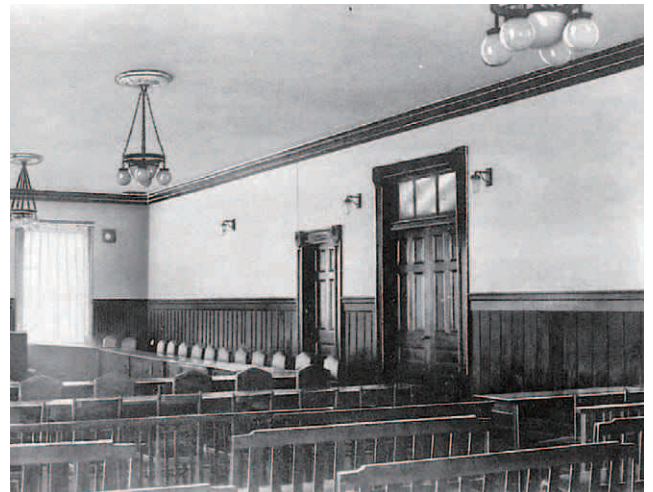
子 之 悟 子 男 夫 雄 男 弘 茂 登 康
 美 克 栄 貫 富 利 智 智 塚 見 川 博
 由 林 辺 関 川 山 内 田 生 塚 見 川 博
 島 林 辺 関 川 山 内 田 生 塚 見 川 博
 中 小 渡 尾 黒 中 河 西 藤 平 常 石
 光 美 明 浩 男 信 子 綾 収 雄 郎 等
 裕 雅 貴 育 晴 悦 久 一
 田 子 林 山 田 永 島 原 収 田
 杉 金 小 小 横 吉 富 大 栗 荻 柳 塩

第24期 平成 27.5.1 就任

郎 子 之 悟 子 男 夫 雄 男 弘 茂 弓 祐
 一 美 克 栄 貫 富 智 智 真 大
 収 由 林 辺 関 川 山 田 生 塚 島 貝
 柳 中 小 渡 尾 黒 中 西 藤 平 中 鶴
 啓 穂 生 光 美 浩 男 信 子 雄 之 綾 収 雄
 利 瑞 弥 裕 貴 育 晴 悦 幸 昌
 吉 田 谷 田 子 林 山 田 永 須 賀 藤 島 原 久
 末 須 大 杉 金 小 横 吉 富 大 斎 大 栗 荻

第25期 令和 1.5.1 就任

子 雄 之 収 雄 郎 悟 子 男 夫 男 茂
 悦 幸 昌 久 一 栄 貫 富 智
 永 賀 藤 原 収 辺 関 川 山 田 塚
 富 大 齋 栗 荻 柳 渡 尾 黒 中 西 平
 樹 子 弓 祐 啓 穂 生 光 美 浩 男 信
 秀 康 真 大 利 瑞 弥 裕 貴 育 晴
 本 井 島 貝 吉 田 谷 田 子 林 山 田
 藤 鳥 中 鶴 末 須 大 杉 金 小 横 吉



大正10年 市議会議場(旧市庁舎2階)



昭和46年 市議会議場(現在の市役所別館3階)



令和3年 市議会議場(市役所本庁舎 3階)

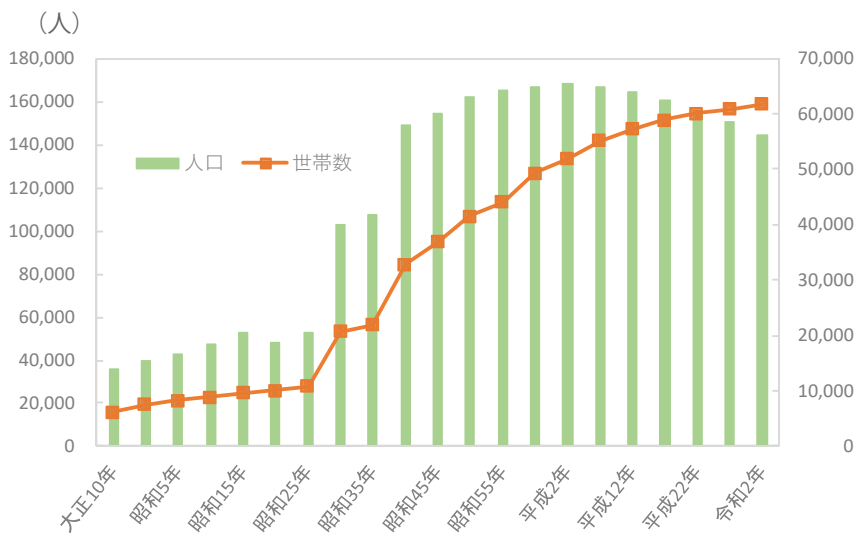
足利市の四季 春



①史跡足利学校②松田川ダムふれあい広場③あしかがフラワーパークの大藤④ペタンコ祭り
⑤名草川の鯉のぼり⑥織姫公園のつつじ⑦ハナミズキ⑧田んぼの学校⑨灯り物語⑩鏝阿寺

数字で見る足利市

人口と世帯数



年	人口(人)	世帯数
大正 10年	35,632	6,225
大正 15年	39,456	7,605
昭和 5年	42,802	8,282
昭和 10年	47,564	8,905
昭和 15年	52,775	9,693
昭和 20年	48,176	10,046
昭和 25年	52,453	10,893
昭和 30年	103,112	20,705
昭和 35年	107,547	21,954
昭和 40年	148,608	32,801
昭和 45年	154,525	36,838
昭和 50年	161,862	41,573
昭和 55年	165,177	44,070
昭和 60年	166,938	49,368
平成 2年	168,217	51,865
平成 7年	166,858	55,169
平成 12年	164,106	57,318
平成 17年	160,617	58,888
平成 22年	155,734	60,128
平成 27年	150,239	60,805
令和 2年	144,518	61,724

※1月1日現在推計人口

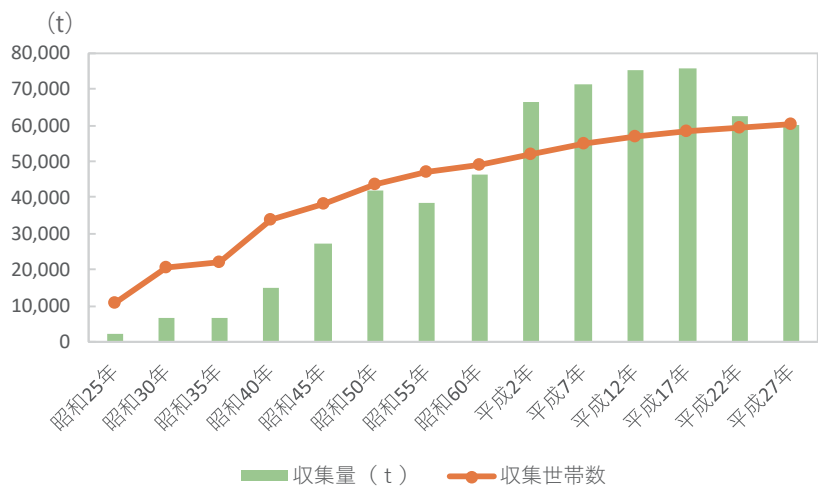
財政の推移

年	歳出(千円)	市税	
		収入額(千円)	1人当たり(円)
大正 10年	366	267	7
大正 15年	355	263	7
昭和 5年	349	229	5
昭和 10年	1,153	291	6
昭和 15年	678	393	8
昭和 22年	1,556	878	18
昭和 25年	167,993	92,271	1,747
昭和 30年	378,127	235,051	2,303
昭和 35年	765,358	434,012	2,968
昭和 40年	2,185,521	968,853	6,435
昭和 45年	5,240,246	2,063,067	13,188

年	歳出(千円)	市税	
		収入額(千円)	1人当たり(円)
昭和 50年	16,305,957	5,128,089	31,565
昭和 55年	28,072,766	10,107,908	61,051
昭和 60年	32,225,079	15,495,652	92,490
平成 2年	41,583,819	19,902,732	118,913
平成 7年	50,564,530	21,693,934	130,822
平成 12年	50,853,966	20,917,070	128,215
平成 17年	47,109,779	19,775,735	124,344
平成 22年	49,127,551	19,686,597	127,897
平成 27年	51,781,872	19,393,417	130,888
令和 元年	53,172,552	19,962,551	140,621

ごみの収集状況

年	収集量(t)	収集世帯数
昭和 25年	2,397	10,893
昭和 30年	6,726	20,705
昭和 35年	6,661	21,954
昭和 40年	15,144	33,854
昭和 45年	27,034	38,273
昭和 50年	41,766	43,455
昭和 55年	38,256	47,152
昭和 60年	46,258	49,106
平成 2年	66,507	52,175
平成 7年	71,359	54,960
平成 12年	75,118	57,119
平成 17年	75,568	58,399
平成 22年	62,680	59,134
平成 27年	60,195	60,186



足利市の四季 夏



①七夕まつり②麦秋③渡良瀬川のアユ釣り④吉祥寺のあじさい⑤石尊山の梵天まつり
⑥灯ろう流し⑦陸奥部屋名草合宿⑧八木節のふるさと祭り⑨足利花火大会

数字で見る足利市

工業の推移

年	事業所数 (4人以上)	従業者数(人)	製造品 出荷額等(万円)
昭和 55年	1,470	23,474	38,455,098
昭和 60年	1,589	25,553	50,611,846
平成 2年	1,493	24,303	54,252,319
平成 7年	1,347	23,274	54,111,521
平成 12年	1,110	19,835	46,970,777
平成 17年	917	17,467	40,201,250
平成 22年	674	16,048	34,605,345
平成 26年	585	14,956	35,066,525
平成 30年	510	16,140	39,893,005

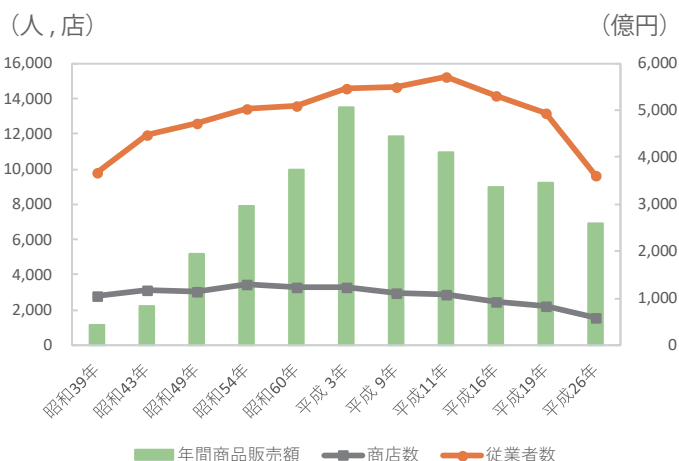
※平成30年の事業所数、従業者数は令和元年6月1日現在の数値



商業の推移

年	商店数	従業者数(人)	年間商品 販売額(万円)
昭和 39年	2,774	9,778	4,164,855
昭和 43年	3,128	11,899	8,287,289
昭和 49年	3,055	12,568	19,412,191
昭和 54年	3,431	13,429	29,597,480
昭和 60年	3,314	13,587	37,349,514
平成 3年	3,299	14,596	50,675,306
平成 9年	2,940	14,650	44,365,184
平成 11年	2,843	15,236	41,145,374
平成 16年	2,472	14,145	33,618,324
平成 19年	2,222	13,143	34,516,387
平成 26年	1,560	9,641	25,856,892

※商業統計調査は平成26年を最後に廃止



農業の推移

年	農家戸数 (戸)	経営耕地面積 (ha)
昭和 35年	7,463	4,558
昭和 40年	7,272	4,459
昭和 45年	6,849	4,142
昭和 50年	6,218	3,569
昭和 55年	5,773	3,300
昭和 60年	5,074	3,040
平成 2年	4,503	2,856
平成 7年	3,896	2,565
平成 12年	3,430	2,345
平成 17年	2,869	2,012
平成 22年	2,547	1,908
平成 27年	1,987	1,757
令和 2年	1,525	1,613



足利市の四季 秋



①鑿阿寺②行道山浄因寺の清心亭③曝書④草雲美術館の白石山房⑤渡良瀬橋と足利織姫神社
⑥ココ・ファーム・ワイナリー収穫祭⑦釋奠⑧足利尊氏公マラソン大会⑨織姫公園もみじ谷
⑩足利薪能

数字で見る足利市

上水道の推移

年度	配水量 (m ³)	給水人口 (人)
昭和 25 年	3,766,070	36,275
昭和 30 年	3,791,020	41,479
昭和 35 年	5,209,585	63,845
昭和 40 年	8,956,884	94,632
昭和 45 年	15,015,503	118,069
昭和 50 年	19,755,332	146,648
昭和 55 年	20,077,858	150,672
昭和 60 年	21,845,590	155,679
平成 2 年	24,756,320	159,052
平成 7 年	25,813,904	159,892
平成 12 年	25,037,212	158,577
平成 17 年	23,540,063	158,041
平成 22 年	21,803,471	153,091
平成 27 年	21,038,809	148,197
令和 元年	22,412,398	143,588



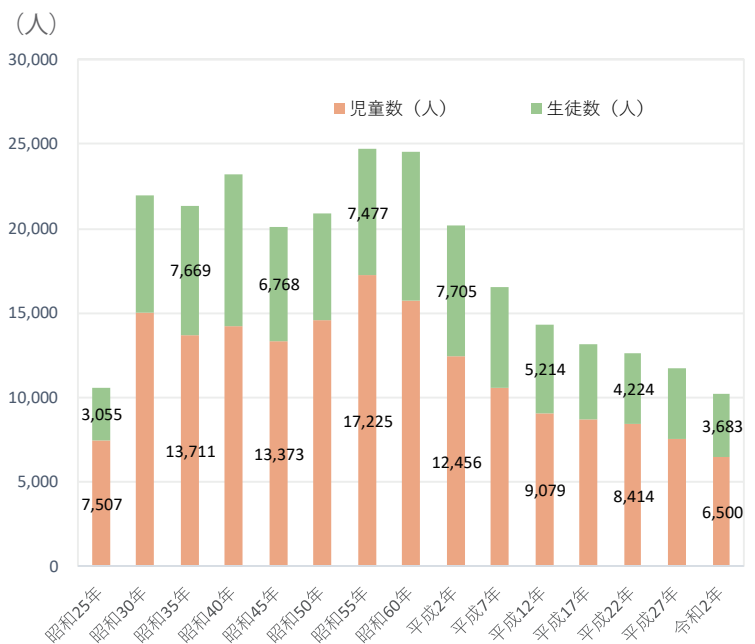
下水道の普及率

年	処理区域内人口	処理区域面積 (ha)	普及率 (%)
昭和 55 年	21,500	224	13
昭和 60 年	27,906	369	16.7
平成 2 年	40,192	609	24
平成 7 年	52,184	932	31.6
平成 12 年	74,591	1,907	45.9
平成 17 年	103,824	2,563	65.3
平成 22 年	113,437	2,777	73.7
平成 27 年	115,153	2,833	75.8
令和 元年	113,926	2,863	77.5
令和 2 年	113,287	2,865	77.9



小中学校の推移

年	小学校数	児童数	中学校数	生徒数
昭和 25 年	5	7,507	3	3,055
昭和 30 年	16	15,001	9	6,986
昭和 35 年	17	13,711	10	7,669
昭和 40 年	27	14,222	13	9,012
昭和 45 年	27	13,373	12	6,768
昭和 50 年	28	14,577	12	6,400
昭和 55 年	30	17,225	13	7,477
昭和 60 年	29	15,776	12	8,808
平成 2 年	29	12,456	12	7,705
平成 7 年	29	10,569	12	5,994
平成 12 年	24	9,079	12	5,214
平成 17 年	22	8,674	12	4,526
平成 22 年	22	8,414	12	4,224
平成 27 年	22	7,556	12	4,146
令和 2 年	22	6,500	12	3,683



足利市の四季 冬



①西宮神社の恵比寿講②節分鉦年越③消防出初式での連合放水④まゆ玉市⑤足利織姫神社からの初日の出⑥悪口まつり⑦ふいご祭り⑧龍泉寺のガラマキ⑨足利っ子凧あげフェスティバル⑩雪の鑱阿寺⑪雪の足利織姫神社⑫史跡足利学校での書初め



ライトアップされた足利織姫神社



銘仙灯りで彩られた鰻阿寺本堂



まちに架かる虹



夕日と渡良瀬橋

足利市制100周年記念誌

発行日 2021年(令和3年)11月1日

編集・発行 足利市秘書広報課

☎0284-20-2107

✉office@city.ashikaga.lg.jp

デザイン協力 足利商工会議所

印刷 足利印刷株式会社

本誌の中国語訳文および英語訳文は市民の皆さまに翻訳のご協力をいただき掲載しております。

A100
One for A, A for One.